

平成29年度

昼間・土曜スクーリング(前期)の手引

スクーリング受講手続日程			保健体育講義Ⅰ・体育実技のみ
①	受講手続説明会	4／6(木)	4／6(木)
②	受講申込開始日 (ポータルサイト)	4／6(木)	6／29(木)
③	履修登録締切日 受講申込締切日	4／20(木) ポータルサイト【24:00まで】 窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】 郵送の場合【必着】	7／12(水)
④	受講資格審査 通知予定日		
	5／12(金) ※受講届提出者のみ通知郵送します。		
⑤	振込用紙発送予定日		
	5／12(金) 発送予定日から5日経過しても通知が届かない場合は会計課に連絡してください。		
⑥	受講辞退手続締切日		
	5／19(金) 窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】 郵送の場合【必着】		
⑦	受講料納入期限		
	5／26(金) 銀行窓口にて【厳守】		
⑧	結果通知予定		
	8月下旬 ポータルサイトに掲載します。		

開講日程

昼間開講日程	4／11(火)～7／28(金)
土曜開講日程	【4月】15 【5月】6・27 【6月】3・10・24 【7月】1・8
補講予定日	7／15(土), 7／24(月)
体育実技開講日程	9／4(月)～9／6(水)
保健体育講義Ⅰ開講日程	9／7(木), 9／8(金)

日本大学通信教育部

開講日程

開講日程

年	月	日	月	火	水	木	金	土
平成29年	4月							1
		2	3	4	5	6	受講手続説明会	7
		9	10	11 前期 厄 1	12 前期 厄 1	13 前期 厄 1	14 前期 厄 1	15 前期 土曜厄 1・2
		16	17	18 前期 厄 2	19 前期 厄 2	20 前期 厄 2	21 前期 厄 2	22
		23	24	25 前期 厄 3	26 前期 厄 3	27 前期 厄 3	28 前期 厄 3	29 昭和の日
		30	1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 前期 土曜厄 3・4
	5月	7	8	9 前期 厄 4	10 前期 厄 4	11 前期 厄 4	12 前期 厄 4	13
		14	15	16 前期 厄 5	17 前期 厄 5	18 前期 厄 5	19 前期 厄 5	20
		21	22	23 前期 厄 6	24 前期 厄 6	25 前期 厄 6	26 前期 厄 6	27 前期 土曜厄 5・6
		28	29	30 前期 厄 7	31 前期 厄 7	1 前期 厄 7	2 前期 厄 7	3 前期 土曜厄 7・8
	6月	4	5	6 前期 厄 8	7 前期 厄 8	8 前期 厄 8	9 前期 厄 8	10 前期 土曜厄 9・10
		11	12	13 前期 厄 9	14 前期 厄 9	15 前期 厄 9	16 前期 厄 9	17
		18	19	20 前期 厄 10	21 前期 厄 10	22 前期 厄 10	23 前期 厄 10	24 前期 土曜厄 11・12
		25	26	27 前期 厄 11	28 前期 厄 11	29 前期 厄 11	30 前期 厄 11	1 前期 土曜厄 13・14
	7月	2	3	4 前期 厄 12	5 前期 厄 12	6 前期 厄 12	7 前期 厄 12	8 前期 土曜厄 15・試験
		9	10	11 前期 厄 13	12 前期 厄 13	13 前期 厄 13	14 前期 厄 13	15 前期 補講日
		16	17 海の日	18 前期 厄 14	19 前期 厄 14	20 前期 厄 14	21 前期 厄 14	22
		23	24 前期 補講日	25 前期 厄 15	26 前期 厄 15	27 前期 厄 15	28 前期 厄 15	29
		31		1	2	3	4	5

夏 休 み

27			29		30			1	
9月	3		4 体育実技	5 体育実技	6 体育実技	7 保健体育講義 I	8 保健体育講義 I	9	
	10		11	12	13	14	15	16	
	17		18 敬老の日	19	20	21	22	23 秋分の日	
	24		25	26	27	28	29	30	

…授業日及び補講日

補講は7月15日(土), 7月24日(月)の2日間だけでなく, その他の曜日にも実施することがあります。補講が行われる場合, 指定された補講日に出席する必要があります。

また, 補講を行う时限は他講座の補講日程の関係上, 必ずしも通常と同じ时限で開講されるものとは限りません。以上のことと承知した上で申込みをしてください。

はじめに

面接授業（スクーリング）とは、教員による直接の講義・演習・実技を受講することをいいます。その目的は、教材による在宅学修では十分に学修効果を上げることが困難な科目の一面を補い、教育効果を高めることにあります。このような主旨・目的から、スクーリングは卒業のための必修となっています。

本学の通信教育部では、学生に多くの受講機会が得られるよう、多種多様なスクーリングを開講しています。この『手引』は、その実施要領などをとりまとめて掲載しています。

スクーリングを受講希望する場合には、手続きの前にこの『手引』をよく読み、その指示に従って受講してください。

昼間・土曜スクーリングの特色

昼間・土曜スクーリングが他のスクーリングと異なる点は、通学課程と同形態の授業を行うことにあります。また、前期・後期と連続して受講することで、より学修効果が高まります。

なお、大学では適正規模の授業を実施し、かつ多くの学生が等しく受講機会を得られるように一人（受講者）当たりの受講制限を設けていますが、このスクーリングもその例外ではありません。

さらにこのスクーリングでは、2年生以上の学生を対象に卒業論文指導講座を設け、その指導の強化充実を図り、より優れた卒業論文を期待しています。

【受講の調整について】

スクーリングには、十分な教育効果を得るために適正な受講者数の基準が設定されています。

受講申込者数が、適正受講者数でない場合、大学側で受講の調整を行うことがあります。

調整にあたっては、「受講機会の均等」の観点から、各申込者の受講調整履歴、スクーリング受講状況、単位修得状況、在学年数等を総合的に判断し、対象者を確定しますので、あらかじめご了承ください。

なお、講座の適正人数は、おおよそ下表の人数を目安としますが、講座の特性、スクーリングの形態、スクーリング会場の試験時定員数、パソコン台数及び受講学生の履修要件等により、下表によらない場合もあります。

講 座	受講者数の上限	受講者数の下限
外国語科目講座	65名	5名
演 習 講 座	30名	5名
上記以外の講座	100名	10名

〔調整方法等〕

- 希望した講座が受講者数の上限を超えた場合、同じ曜日に開講されている同じ科目の講座に振り分けることがあります。
- 超過人数の状況により新たに講座を増設（分割）して開講する場合があります。
- 上記①・②の方法で対応できない場合、調整対象者は当該講座の受講ができません。
- 受講申込者数が下限に満たない場合、開講を取りやめることができます。
- 受講許可講座以外の講座の受講は、認められません。また、一度決定した受講許可講座の追加・変更はできません。

目次

I 受講申込から受講料納入までの流れ	2	VIII 受講料等の納入 103
II 講座の選定		IX 受講準備
1 受講講座の選定 4		1 使用教材の入手 104
2 「教職に関する科目」における新・旧科目について 6		2 通学定期券の購入手続 106
3 「英語」科目のレベル標記について 6		
III 時間割		X 保健体育講義Ⅰ、体育実技の受講について 108
1 時間割 8		
2 卒業論文指導時間割 10		
IV 開講講座表及び講座内容（シラバス）		XI オープン受講 114
1 「開講講座表」の見方 12		
2 開講講座表・シラバスと使用教材 【曜日・時限順】 13		XII 胸部X線検査 115
V 受講及び試験		
1 講座受講時の注意点 90		XIII 各種用紙
2 スクーリング結果の確認 91		
VI 受講手続		履修届 119
1 履修登録をする 92		昼間・土曜スクーリング（前期）受講届 121
2 講座を申し込む 95		昼間・土曜スクーリング（前期）保健体育講義Ⅰ・体育実技受講届 123
3 受講講座の変更・追加 99		オープン受講届（在学生用） 125
VII 申込講座の許可と不許可		オープン受講届（社会人等（卒業生用）） 127
1 受講許可を確認する 100		スクーリング受講講座変更届 129
2 講座振り分け及び受講不許可について 101		受講申込辞退願 131
3 許可講座を辞退する 102		保健体育講義Ⅰ・体育実技受講申込辞退願 133
		教材配本申請書 135
		教材購入用紙（丸沼書店用） 137
		教材購入願（通信教育教材用） 139
		通学定期乗車券発行控 141
		XIV 付録 143

I | 受講申込から受講料納入までの流れ

①受講手続説明会 4月6日（木）	『昼間・土曜スクーリング（前期）の手引』を読み、受講手続方法から試験までの流れを確認。受講制限・時間割を確認し、受講講座を選択する。
---------------------	--



②授業開始までの準備	授業期間は15週にわたります。シラバスや時間割をよく読み、受講講座を選択。特に下記の項目を事前に確認すること。 ①開講日程及び時間割 ②使用教材（教科書）の有無 ③準備学修 ④成績評価基準 【要確認】授業期間に出席可能であること。
------------	--



③授業開始 第1週 4月11日（火） ～4月15日（土）	各授業の第1週目は、ガイダンスを行うことが多く、今後の授業の方法、授業計画、準備学修、テキスト及び成績評価基準等についての説明がある。 ※選択した講座を受講するか確認してください。 ○受講講座決定の学生 履修届・受講届に必要事項を記入し、4月20日（木）までに教務課へ提出。 ●受講講座再度検討の学生 別の講座を選択し、第2週から受講する。 ※その際、第1週を受講していなかった旨を担当講師に伝えること。 ※受講申込締切日の関係から、以下の曜日の講座を申し込む場合は注意が必要です。 ・金・土曜日…2週目を受講してから申し込むことはできませんので、1週目の授業により、受講を検討してください。
---------------------------------------	--

受講希望者が多い講座や少ない講座は、大学側で受講の調整を行うことがあります（「受講の調整について」参照）。特に「情報概論」（パソコン台数制限有）、外国語科目・演習科目（受講者数上限有）については、受講希望者多数の場合、受講調整を行います。あらかじめ了承の上検討してください。



④授業 第2週 4月18日（火） ～4月21日（金）	各授業の第2週目は、本格的な授業に入ります。 第1週の授業を受講したが、受講講座が未決定の学生はスクーリング第2週目を受講し、4月20日（木）までに履修届・受講届を提出。 ※受講申込締切日の関係から、以下の曜日の講座を申し込む場合は注意が必要です。 ・金・土曜日…2週目を受講してから申し込むことはできませんので、1週目の授業により、受講を検討してください。
----------------------------------	--

⑤履修登録・
受講申込締切

申込締切：4月20日（木）
(窓口提出) 18時00分（事務取扱時間）まで
(ポータルサイト) 締切日 24時00分まで
提出先：(郵送) 提出締切日 必着
(窓口) 教務課窓口提出 事務取扱時間内厳守
※1 受講届で申し込んだ講座がわかるように必ず申込内容の控えを取り各自で保管してください。
※2 提出期限を過ぎてからの追加・変更はできません。4月20日(木)までに受講予定の全ての講座を決定した上で提出してください。



⑥受講許可の確認

ポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて申し込んだ講座が「申請許可」になっているか確認。
※受講届提出者には、「スクーリング受講資格審査結果通知書」を送付しますので、そちらで確認してください。

届き次第、必ず以下の記載内容を確認すること。

※1 申込講座・時間割の確認及び担当講師

※2 充當科目コード

特に外国語科目、各種演習科目は注意（後掲12ページ参照）。



⑦受講料の振込用紙発送

受講許可者には、スクーリング受講料の振込用紙を郵送します。

発送予定日：5月12日（金）

発送予定日から5日経過しても振込用紙が届かない場合は会計課へ連絡してください。



許可講座の辞退

受講を許可された講座を受講しない場合(全講座、一部の講座とも)、5月19日（金）までに辞退手続をする。
詳細は102ページ参照



⑧受講料の納入

ポータルサイト（又はスクーリング受講資格審査結果）及び「振込用紙」に記載された事項を確認の上、受講料を下記の納入期限までに納入してください。

受講料納入期限：5月26日（金）
銀行窓口のみ ※当日取扱時間まで

※受講料（1講座 10,000円、情報概論は13,000円）



⑨昼間・土曜スクーリング
(前期) の手続完了

昼間・土曜スクーリング（前期）の手続は完了です。
領収書は、スクーリング受講中は必ず携行してください。

II 講座の選定

1 受講講座の選定

① 受講対象者及び受講条件

昼間・土曜スクーリング（前期）の受講者は、以下の受講条件を必ず守り、申込みをしてください。

1 受講申込対象者 (申込時点において右記の条件を満たすこと)	①年度授業料を納入していること、または所定の締切日までに納入することができること。 ②昼間・土曜スクーリング（前期）受講料を納入期日までに納入することができること。 ③昼間・土曜スクーリング（前期）の授業日程に出席できること。
------------------------------------	---

2 受講講座数	<p>【申込講座の上限】 14 講座まで</p> <p>火曜日から土曜日までの各時限から 1 謲座ずつ、最多で 14 講座まで申し込むことができます。</p> <p>※履修登録がされている科目のみ申し込みできます。</p> <p>※保健体育講義 I ・ 体育実技は上限に含みません。</p>
---------	---

3 受講制限	上記 1、2 の条件を満たしていても、全ての講座を申し込めるわけではありません。下記の制限により申し込めない講座がありますので、項目を確認し、受講講座を選定してください。
--------	---

② 受講制限について

すべての方がすべての講座を申し込めるのではありません。自分の学年・学科（専攻）、カリキュラム及びその他の理由により申し込むことができない講座があります。以下、それぞれの受講制限を掲載しますので、必ず確認の上、申込みをしてください。

（1）配当学年による受講制限

ア 1学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」と記載されている講座のみ受講可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

イ 2学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」又は「2年」と記載されている講座の受講が可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

ウ 3・4学年生

配当学年による受講の制限はありませんが、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

(2) 科目履修生の受講制限

入学時の「履修申請書」で履修登録した科目に該当する講座のみ受講できます。

(3) シラバスによる受講制限

シラバスに、他のスクーリングと積み重ね不可の記載がある場合、受講できません。また、記載がなくても、以下に該当する場合は、受講できません。

過去に受講し、合格した科目（充当科目）と同一担当講師の科目（充当科目）で授業内容も同一である講座の受講

次のa～cのすべてに該当する講座は申込みできません。

- a 科目名（充当科目名）が同じである（「講座名」ではなく、「科目名（充当科目名）」です）。
- b 担当講師が同一である。
- c 講義内容が全く同一である。

※講義内容を参照し、授業計画等が全く同一の場合は申込みできません。

(4) その他の理由による受講制限

以下のいずれかに該当する場合、その講座は受講できません。

ア 既に所定単位を修得している科目及び単位修得方式が確定している科目を充当科目とする講座の受講

イ 履修登録をしていない科目を充当科目とする1講座の受講

ウ 受講の調整による受講制限

一部の講座については、申込希望者が講座の適正人員を超える場合があり、この場合、大学側で受講の調整を行います。

調整により、受講申込講座と異なる講座での受講を許可する場合や、受講不許可となる場合があります。

そのため、必ずポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて、許可された講座を受講してください（受講許可講座と異なる講座の受講は、認められません）。

※受講届提出者は、「受講資格審査結果通知」を確認してください。

(3) 他のスクーリングとの日程重複や会場移動に伴う講座受講に関する注意点について

昼間・土曜スクーリング（前期）土曜日の授業と東京スクーリング（6月期）もしくは東京スクーリング（7月期）の授業を受講する場合、講座の受講に支障がでる場合がございますので、ご自身で確認の上、受講申込を行ってください。

2 「教職に関する科目」における新・旧科目について

平成 23 年度に下表の「教職に関する科目」4 科目については、科目名称が変更となり、平成 23 年度 1 学年入学者から学年進行により順次、新科目名での履修となります。

スクーリングの開講にあたっては、同一講座で新・旧両方の科目を充当科目として開講しますので、下表により適用となる充当科目を確認の上、受講申込みをしてください。

旧科目名	新科目名	
T10300 教育の思想	T10200	教育原論
T21400 道徳教育の研究	T21300	道徳教育の理論と方法
T21600 特別活動の研究	T21500	特別活動論
T30700 教育カウンセリング論	T30600	教育相談
旧科目名での履修対象者	新科目名での履修対象者	
右記以外の学生	入学年度	入学形態
	平成 23 年度	1 学年入学生
	平成 24 年度	1 学年入学生 2 学年編入・再入学生 科目履修生
	平成 25 年度	1 学年入学生 2 学年編入・再入学生 3 学年編入・再入学生 科目履修生
	平成 26 年度以降	全入学生

3 「英語」科目のレベル標記について

昼間・土曜スクーリングの「英語」では、受講講座選択の参考として、新たに授業内容のレベル（目安）を★で標記しています。受講講座の参考にしてください。

<レベル>★の数が増えるほど、難易度が上がります。

【★☆☆】 ⇄ 【★☆☆】 ⇄ 【★★☆】 ⇄ 【★★★】
基礎 初級 中級 上級

※レベル標記はあくまで「目安」です。レベルの感じ方には、個人差があります。

また同一レベル標記でも講座により、難易度が多少異なる場合もあります。

必ずシラバス全体をよく読んだ上で、各自で判断してください。

※講座受講者の状況により、担当講師の判断で適宜調整を図りますので、あらかじめご了承ください。

MEMO

III 時間割

1 時間割

時限	火曜日		水曜日	
	講座名	担当講師名	講座名	担当講師名
1 時限目 9:00 ↓ 10:30	政治学	関根 二三夫	経済学	田村 和彦
	心理学 A	白川 真裕	英語 C	青木 克憲
	西洋史入門	高草木 邦人	商法 II	大久保 拓也
	経営学	山田 敏之	簿記論 I	山元 俊一
2 時限目 10:40 ↓ 12:10	心理学 B	白川 真裕	英語 D	森 晴代
	ドイツ語 I・II	中島 伸	英語学演習 I～III	真野 一雄
	民法 III	根本 晋一	考古学概説	野中 和夫
	国文学基礎講義	野口 恵子	広告論	雨宮 史卓
	日本史入門	鍋本 由徳		
	中国経済論	斎 中凌		
	商学総論	雨宮 史卓		
3 時限目 13:00 ↓ 14:30	英語 A	アレックス ブラウン	文学	木村 一
	法学 A	根本 晋一	法学 B	武田 茂樹
	イギリス文学史 II	猪野 恵也	英語 E	北原 安治
	史学概論	高綱 博文	政治学特殊講義 I・II	秋山 和宏
	金融論	谷川 孝美	英語音声学	森 晴代
	マーケティング	雨宮 史卓	東洋史特講 II	堀井 弘一郎
	卒業論文指導	近藤 健史		
4 時限目 14:40 ↓ 16:10	哲学 A	江川 晃	歴史学 A	渡邊 浩史
	TOEIC A	八木 茂那子	国語学概論	保科 恵
	民法 I	根本 晋一	国文学講義V(近代)	永岡 健右
	国文学特殊講義 I・II	近藤 健史	日本思想史 I	島田 健太郎
	スピーチコミュニケーション I	アレックス ブラウン	日本史概説/日本史概論	横山 則孝
	英米文学演習 I～III	猪野 恵也		
	日本史特講 II	八馬 朱代		
	卒業論文指導	高綱 博文		
	卒業論文指導	雨宮 史卓		
5 時限目 16:20 ↓ 17:50	英語 B	飯野 朝世	歴史学 B	堀井 弘一郎
	中国語 I・II	稻葉 明子	文化史	渡邊 浩史
	国際政治学/国際政治論/国際政治学概論	横田 将志	英語 F	石川 勝
	哲学特殊講義	江川 晃	国文学基礎演習	木村 一
	東洋史演習 I・II	高綱 博文		
	卒業論文指導	根本 晋一		

開講日程

前期	4/11～7/28	補講予定日	7/15, 7/24
----	-----------	-------	------------

木曜日		金曜日		土曜日	
講座名	担当講師名	講座名	担当講師名	講座名	担当講師名
英語 G	鈴木 ふさ子	英語 J	大庭 香江	総合科目 I ~ VI	通信教育部専任教員
行政学	関根 二三夫	TOEIC B	町田 純子		
東洋史入門	綿貫 哲郎	刑事訴訟法	船山 泰範		
情報概論 A	中村 典裕	東洋思想史 I	本間 直人		
商業政策	松本 龍一				
英語 H	岡田 善明	英語 K	大庭 香江	土曜スクーリング日程	
憲法	名雪 健二	フランス語 I・II	大庭 克夫	授業時間 9:00~12:10 【前期】 4月 15日 5月 6日・27日 6月 3日・10日・24日 7月 1日・8日	
国文学演習 I ~ VI	近藤 健史	日本政治史	石川 徳幸		
英米文学概説	鈴木 ふさ子	哲学演習 I・II	中澤 瞳		
経済学概論	陸 亦群	西洋史特講 I	池本 今日子		
商業史	横山 則孝	アメリカ経済論	小林 通		
卒業論文指導	関根 二三夫				
卒業論文指導	真野 一雄				
卒業論文指導	中澤 瞳				
英語史	真野 一雄	英語 L	中村 則子	保健体育講義 I・体育実技	
東洋史概説／東洋史概論	高綱 博文	政治学原論	吉野 篤	講座名	教員名
日本史演習 I・II	鍋本 由徳	英作文 II	大庭 香江	体育実技	高橋 正則
経済原論／経済学原論	陸 亦群	哲学基礎講読	石井 友人	保健体育講義 I	高橋 正則
現代教職論	古賀 徹	市場調査論	最上 健児	体育実技	
				【日程】9月 4日～9月 6日	
卒業論文指導	小澤 賢司			【授業時間】9:00～17:30	
英語基礎 A	小澤 賢司	社会学	服部 慶亘	保健体育講義 I	
西洋思想史 II	中澤 瞳	英語基礎 B	中村 則子	【日程】9月 7日・8日	
日本経済史	飯島 正義	国文学概論	山崎 泉	【授業時間】10:00～16:30	
教育原論／教育の思想	古賀 徹	宗教学概論	合田 秀行		
卒業論文指導	猪野 恵也				
卒業論文指導	陸 亦群				
卒業論文指導	鍋本 由徳				
哲学 B	中澤 瞳	情報概論 B	一島 力男		
西洋史演習 I・II	藤井 信行				
国際経済論	陸 亦群				
社会科・地理歴史科教育法 II	古賀 徹				
英語科教育法 III	小澤 賢司				

2 卒業論文指導時間割

- ① 昼間・土曜スクリーリング（前期）開講期間中、下表の時間帯で開講されます。
なお、補講日及び試験期間中は開講しませんので注意してください。
- ② 実施場所等は、通信教育部1号館1階掲示板にてお知らせします。
- ③ 事前予約等は不要です。指導開始時間になりましたら、実施場所にて待機してください。
※開始時間に希望学生がいない場合には、指導を取止める場合がありますので、ご了承ください。
- ④ 以下の担当教員の「個別」、「専門」指導は、当該担当教員の指導分野に限っての指導となります。

時限	火曜日			水曜日	木曜日			金曜日	土曜日																																																										
1 時限目 9:00 ↓ 10:30																																																																			
2 時限目 10:40 ↓ 12:10					<p>講師 関根 二三夫 〔政治経済学科〕</p> <table border="1"> <tr> <td>指導区分</td> <td>一般</td> <td>卒論作成に関する一般事項</td> <td>一般</td> <td>卒論作成に関する一般事項</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個別</td> <td>政治学</td> <td>個別</td> <td>英語学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>専門</td> <td>行政学</td> <td>専門</td> <td></td> </tr> </table> <p>講師 中澤 瞳 〔哲学専攻〕</p> <table border="1"> <tr> <td>指導区分</td> <td>一般</td> <td>卒論作成に関する一般事項</td> <td>一般</td> <td>卒論作成に関する一般事項</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個別</td> <td></td> <td>個別</td> <td>哲学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>専門</td> <td></td> <td>専門</td> <td></td> </tr> </table>	指導区分	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項		個別	政治学	個別	英語学		専門	行政学	専門		指導区分	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項		個別		個別	哲学		専門		専門																																	
指導区分	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項																																																															
	個別	政治学	個別	英語学																																																															
	専門	行政学	専門																																																																
指導区分	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項																																																															
	個別		個別	哲学																																																															
	専門		専門																																																																
3 時限目 13:00 ↓ 14:30	<p>講師 近藤 健史 〔文学専攻（国文学）〕</p> <table border="1"> <tr> <td>指導区分</td> <td>一般</td> <td>卒論作成に関する一般事項</td> <td>一般</td> <td>卒論作成に関する一般事項</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個別</td> <td>日本古典文学</td> <td>個別</td> <td>英語学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>専門</td> <td>上代文学</td> <td>専門</td> <td>英語教育</td> </tr> </table>	指導区分	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項		個別	日本古典文学	個別	英語学		専門	上代文学	専門	英語教育			<p>講師 小澤 賢司 〔文学専攻（英文学）〕</p> <table border="1"> <tr> <td>指導区分</td> <td>一般</td> <td>卒論作成に関する一般事項</td> <td>一般</td> <td>卒論作成に関する一般事項</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個別</td> <td></td> <td>個別</td> <td>英語学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>専門</td> <td></td> <td>専門</td> <td>英語教育</td> </tr> </table>	指導区分	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項		個別		個別	英語学		専門		専門	英語教育																																	
指導区分	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項																																																															
	個別	日本古典文学	個別	英語学																																																															
	専門	上代文学	専門	英語教育																																																															
指導区分	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項																																																															
	個別		個別	英語学																																																															
	専門		専門	英語教育																																																															
4 時限目 14:40 ↓ 16:10	<p>講師 高綱 博文 〔史学専攻〕</p> <table border="1"> <tr> <td>指導区分</td> <td>一般</td> <td>卒論作成に関する一般事項</td> <td>一般</td> <td>卒論作成に関する一般事項</td> <td>一般</td> <td>卒論作成に関する一般事項</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個別</td> <td>外国史</td> <td>個別</td> <td>マーケティング戦略、広告戦略、消費者行動など</td> <td>個別</td> <td>日本史</td> <td>個別</td> <td>日本考古</td> </tr> <tr> <td></td> <td>専門</td> <td>アジア近現代史</td> <td>専門</td> <td>ブランド戦略、広告コミュニケーションなど</td> <td>専門</td> <td>指導担当学生のみ</td> <td>専門</td> <td>イギリス文学</td> </tr> </table>	指導区分	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項		個別	外国史	個別	マーケティング戦略、広告戦略、消費者行動など	個別	日本史	個別	日本考古		専門	アジア近現代史	専門	ブランド戦略、広告コミュニケーションなど	専門	指導担当学生のみ	専門	イギリス文学			<p>講師 鍋本 由徳 〔史学専攻〕</p> <table border="1"> <tr> <td>指導区分</td> <td>一般</td> <td>卒論作成に関する一般事項</td> <td>一般</td> <td>卒論作成に関する一般事項</td> <td>一般</td> <td>卒論作成に関する一般事項</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個別</td> <td></td> <td>個別</td> <td>日本史</td> <td>個別</td> <td>日本考古</td> </tr> <tr> <td></td> <td>専門</td> <td></td> <td>専門</td> <td>指導担当学生のみ</td> <td>専門</td> <td>イギリス文学</td> </tr> </table> <p>講師 陸 亦群 〔経済学科〕</p> <table border="1"> <tr> <td>指導区分</td> <td>一般</td> <td>卒論作成に関する一般事項</td> <td>一般</td> <td>卒論作成に関する一般事項</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個別</td> <td></td> <td>個別</td> <td>国際経済論</td> </tr> <tr> <td></td> <td>専門</td> <td></td> <td>専門</td> <td>経済開発論</td> </tr> </table>	指導区分	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項		個別		個別	日本史	個別	日本考古		専門		専門	指導担当学生のみ	専門	イギリス文学	指導区分	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項		個別		個別	国際経済論		専門		専門	経済開発論		
指導区分	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項																																																													
	個別	外国史	個別	マーケティング戦略、広告戦略、消費者行動など	個別	日本史	個別	日本考古																																																											
	専門	アジア近現代史	専門	ブランド戦略、広告コミュニケーションなど	専門	指導担当学生のみ	専門	イギリス文学																																																											
指導区分	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項																																																													
	個別		個別	日本史	個別	日本考古																																																													
	専門		専門	指導担当学生のみ	専門	イギリス文学																																																													
指導区分	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項																																																															
	個別		個別	国際経済論																																																															
	専門		専門	経済開発論																																																															
5 時限目 16:20 ↓ 17:50	<p>講師 根本 晋一 〔法律学科〕</p> <table border="1"> <tr> <td>指導区分</td> <td>一般</td> <td>卒論作成に関する一般事項</td> <td>一般</td> <td>卒論作成に関する一般事項</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個別</td> <td></td> <td>個別</td> <td>国際経済論</td> </tr> <tr> <td></td> <td>専門</td> <td>民法</td> <td>専門</td> <td>経済開発論</td> </tr> </table>	指導区分	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項		個別		個別	国際経済論		専門	民法	専門	経済開発論																																																			
指導区分	一般	卒論作成に関する一般事項	一般	卒論作成に関する一般事項																																																															
	個別		個別	国際経済論																																																															
	専門	民法	専門	経済開発論																																																															

MEMO

IV 開講講座表及び講座内容（シラバス）

1 「開講講座表」の見方

「開講講座表」の見方

1	講座コード	スクーリング開講講座を識別するために講座ごとに付された固有のコード番号です。 「受講届」の「講座コード」欄（4桁）には、この講座コードを記入してください。
2	開講講座名	講座の名称です。原則、科目名と同一ですが、「英語」等のように複数開講される講座については、講座名の後ろにアルファベット等の記号を付して各講座を識別します。
3	担当講師名	当該講座を担当する教員の氏名です。
4	開講単位数	受講講座の合格により修得できる単位数です。
5	充当科目（科目コード、科目名）	受講講座の合格により成績評価の対象となる科目コードと科目名です。 スクーリングの開講単位は「講座」であり、その「講座」に対してどの「科目（科目コード）」で受講するか（充当させるのか）を申告します。 多くの講座の充当科目は1講座につき1科目ですが、「英語」や「演習科目」のように受講者の単位修得状況により充当科目の選択が必要な講座もあるので、充当科目の選定は慎重に行ってください。 「受講届」の「充当科目コード」欄（6桁）には、この科目コードを記入してください。
6	併用	「スクーリング併用試験方式」による受講の対象講座か否を記載しています。「スクーリング併用試験方式」による受講ができない講座には、「 <u>×印</u> 」が記載されています。 昼間・土曜スクーリングは「スクーリング併用試験方式」による受講ができないため、全て「 <u>×印</u> 」が記載されています。
7	制限・注意	配 当 学 年 ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。 受 講 条 件 その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。
8	オーブン受講	オーブン受講ができない講座には「 <u>×印</u> 」が記載されています。 記載がない講座はオーブン受講申込可です。

2 開講講座表・シラバスと使用教材【曜日・時限順】

【火曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 才 一 ブ 講 ン
					科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
1 時限	AB11	政 治 学	関根 二三夫	2	B11700	政 治 学	×	1 年		
	AB12	心 理 学 A	白川 真裕	2	B12100	心 理 学	×	1 年		
	AB13	西 洋 史 入 門	高草木 邦人	2	Q20300	西 洋 史 入 門	×	条件 参 照	・史学専攻のみ 1 学年以上申込可。 ・上記以外は 2 学年以上申込可。	
	AB14	経 営 学	山田 敏之	2	S20200	経 営 学	×	条件 参 照	・商学部のみ 1 学年以上申込可。 ・上記以外は 2 学年以上申込可。	
2 時限	AB21	心 理 学 B	白川 真裕	2	B12100	心 理 学	×	1 年		
	AB22	ドイツ語 I・II	中島 伸	1	D10100	ドイツ語 I	×	1 年	・I, II のどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
					D10200	ドイツ語 II				
	AB23	民 法 Ⅲ	根本 晋一	2	K30200	民 法 Ⅲ	×	2 年		×
	AB24	国文学基礎講義	野口 恵子	2	M20100	国文学基礎講義	×	条件 参 照	・国文学専攻のみ 1 学年以上申込可。 ・上記以外は 2 学年以上申込可。	
	AB25	日本史入門	鍋本 由徳	2	Q20100	日本史入門	×	条件 参 照	・史学専攻のみ 1 学年以上申込可。 ・上記以外は 2 学年以上申込可。	
	AB26	中国経済論	斎 中凌	2	R313S0	中国経済論	×	2 年		
	AB27	商 学 総 論	雨宮 史卓	2	S20100	商 学 総 論	×	条件 参 照	・商学部のみ 1 学年以上申込可。 ・上記以外は 2 学年以上申込可。	

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

【火曜日】

時限	講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ ー プ 講ン		
					科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配当 学 年	受 講 条 件			
3 時 限	AB31	英 語 A	アレックス ブラウン	1	C10100	英 語 I	×	1 年	・ I ~ IV のいずれに該当さ せるのか充當科目コード を必ず記入してください。			
					C10200	英 語 II						
					C10300	英 語 III	×	2 年				
					C10400	英 語 IV						
	AB32	法 学 A	根本 晋一	2	B11500	法 学 (日本国憲法2単位を含む)	×	1 年		×		
	AB33	イギリス文学史II	猪野 恵也	2	N30100	イギリス文学史II	×	2 年				
4 時 限	AB34	史 学 概 論	高綱 博文	2	Q30100	史 学 概 論	×	2 年				
	AB35	金 融 論	谷川 孝美	2	R31800	金 融 論	×	2 年				
	AB36	マーケティング	雨宮 史卓	2	S30500	マーケティング	×	2 年				
	AB41	哲 学 A	江川 晃	2	B10700	哲 学	×	1 年				
	AB42	TOEIC A	八木 茂那子	1	C108S0	TOEIC	×	1 年				
	AB43	民 法 I	根本 晋一	2	K20200	民 法 I	×	条件 参 照	・ 法律学科のみ 1 学年以 上申込可。 ・ 上記以外は 2 学年以 上申 込可。	×		
	AB44	国文学特殊講義 I・II	近藤 健史	2	M311S0	国文学特殊講義 I	×					
	AB45	スピーチコミュニケーションI	アレックス ブラウン	1	N30900	スピーチコミュニケーションI	×	2 年				
	AB46	英米文学演習 I ~ III	猪野 恵也	1	N404S0	英米文学演習 I	×	3 年	・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ I ~ III のいずれに該当さ せるのか充當科目コード を必ず記入してください。			
					N405S0	英米文学演習 II						
					N406S0	英米文学演習 III						
	AB47	日本史特講 II	八馬 朱代	2	Q30900	日本史特講 II	×	2 年				

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

【火曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ ー ン 講		
					科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件			
5 時 限	AB51	英 語 B	飯野 朝世	1	C10100	英 語 I	×	1 年	・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
					C10200	英 語 II						
					C10300	英 語 III	×	2 年				
					C10400	英 語 IV						
	AB52	中国語 I・II	稻葉 明子	1	F10100	中 国 語 I	×	1 年	・ I, II のどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
					F10200	中 国 語 II						
	AB53	国際政治学 国際政治論 国際政治学概論	横田 将志	2	L30200	国際政治学	×	2 年	・法・文理学部のみ申込可。			
					R32700	国際政治論	×	2 年	・経済学部のみ申込可。			
					S33200	国際政治学概論	×	2 年	・商学部のみ申込可。			
	AB54	哲学特殊講義	江川 晃	2	P31000	哲学特殊講義	×	2 年				
	AB55	東洋史演習 I・II	高綱 博文	1	Q403S0	東洋史演習 I	×	3 年	・史学専攻のみ申込可。 ・ I, II のどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
					Q404S0	東洋史演習 II						

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

シラバスと使用教材

申込講座の許可と不許可
受講料等の納入
受講準備

健 康 体 育 講 義 I
オーブン受講
胸部X線検査

各 種 用 紙
付 錄

講座内容（シラバス）

◆政治制度を基礎から学びましょう

〔政治学〕

火曜日 1 時限

担当者：関根 二三夫

◆学修到達目標 基礎教育としての講義を行います。議会や大統領若しくは内閣の動きを見ますと、政治が難しい現象のように思われます。しかし、法律や予算の制定や執行は、国家や社会及び個人の発展に寄与するために役立ちます。この講義においては、政治が我々の生活に大きな影響を及ぼすと同時に、我々にとって身近な現象であることを学びます。

◆授業方法 講義形式で行います。講義においては、政治に関する受講生の問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては、予習や復習が必要になります。

◆準備学修 政治学は社会科学のカテゴリーに入り、人間社会を対象にする学問です。社会における問題点を把握し、あるべき社会を考える必要があります。学修の準備として、メディアの情報に関心を持ち、テキストを熟読するなど、それぞれの単元につき2時間程度の予習をし、また同様に2時間程度の復習が必要です。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目	講義全体の概要説明 ※講義の内容について、項目ごとに説明します。	9回目	国家機関 ※国家と国家機関との関係を説明します。
2回目	政治学の変遷 ※古代、中世、近世、近代等について説明します。	10回目	議会政治 ※議会政治の原理を説明します。
3回目	政治の概念 ※現実の政治について説明します。	11回目	議会の構成 ※一院制や二院制を説明します。
4回目	政治の本質 ※あるべき政治について説明します。	12回目	立法部と行政部 ※議院内閣制を説明します。
5回目	政治権力 ※政治権力の概念や構造について説明します。	13回目	立法部と行政部 ※大統領制を説明します。
6回目	政治権力 ※支配の手段について説明します。	14回目	大統領拒否権 ※意義や内容を説明します。
7回目	国家 ※国家成立の要素について説明します。	15回目	議会拒否権 ※意義や内容を説明します。
8回目	国家 ※国家を一定の基準により分類します。		

◆教科書 通材『政治学 B11700』 通信教育教材（教材コード 000279）1,850 円（送料込）

※議会、内閣、裁判所の統治機構に関する解説、選挙、政党、圧力団体などの政治過程に関する解説に重点が置かれています。

◆参考書 丸沼『教養政治学』 岩井奉信・黒川貢三郎・関根二三夫他 南窓社 3,132 円（税込）（送料 350 円）

※政治学の変遷、政治の概念、統治機構、政治過程などの解説に重点が置かれています。

◆成績評価基準 試験 70%，平常点 30% ※試験同様、質問や理解度テストへの解答等平常点も重視しますので、受講に際しては欠席をしないように注意して下さい。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆心の働きを科学する

〔心理学 A〕

火曜日 1時限

担当者：白川 真裕

◆学修到達目標 人間はありのままに世界をとらえ、気をつけてさえすれば重要な情報を落とさず、大切なことは正確に記憶し、冷静なときは論理的に考えることができる、という生き物ではない。では、人間はどのように外界をとらえ、記憶し、思考しているのか。この授業では人間の基礎的な心の働きに関する知識を学んでいく。こうした知識を習得することで科学的な人間理解を目指す。

◆授業方法 授業は主として講義形式で行う。講義内容を必ずノートにとること。また、授業中に教員から質問をしたり、意見を求めることがある。ただ漫然と授業を聴くのではなく、考えながら聴講し、意見を求められたときは積極的に発言して欲しい。なお、出席は毎回確認する。

◆準備学修 心理学が扱う問題は全て関連している。こうした「話の流れ」というものを重視して授業を行うので、前回授業の内容（ノート）を読み返してから毎回の授業に臨んで欲しい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 心理学とはどのような学問か	9回目 人間の注意の特性について
2回目 心の働きを支える体のしくみについて	10回目 注意のメカニズムについて
3回目 脳の働きとメカニズムについて	11回目 記憶の過程とメカニズム
4回目 感覚の種類とそのメカニズム	12回目 人間の記憶の特徴について
5回目 刺激と感覚の関係について	13回目 思考の素材、知識について
6回目 人間の知覚の諸特性	14回目 人間の思考の特徴
7回目 物理的世界と知覚世界の関係	15回目 前期まとめ（理解度の確認）
8回目 意味をとらえるということ	

◆教科書 通材『心理学 B12100』通信教育教材（教材コード 000483）2,900 円（送料込）
〈この教材は市販の「新しい心理学ゼミナール」藤田主一他著（福村出版）と同一です〉

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 成績は試験結果を重視し、これに平常点（授業時の発言など）を鑑みて総合的に評価する。

◆「西洋の歴史学」に触れてみよう！

〔西洋史入門〕

火曜日 1 時限

担当者：高草木 邦人

◆学修到達目標 本講義は、西洋史を学ぶ上で必要とされる知識と技術の基礎を学習します。本講義の学習により、受講生は自立的に西洋史を研究するためのスタート地点に立つことができます。前期においては、近代西洋において発展してきた「歴史学」の特質とこの学問への接近方法について学習します。なお、前期と後期は内容が異なりますので、半期のみの受講も可能ですが、学習効果をあげるためにには、前期・後期の連続受講が望ましいです。

◆授業方法 本講義は、基本的に講義形式をとりますが、演習的な要素も盛り込んでいきます。具体的には、研究文献や史料の講読、授業内のレポート作成、学習した知識・技術の実践などを予定しています。なお、受講者の人数とその理解度に応じて、下記の授業計画を若干修正することがあります。

◆準備学修 準備学習として、指定したテキストの授業に関連した箇所を熟読しておいてください。熟読すべき箇所については、授業中に適時指示します。なお、本講義の受講前までに高等学校の教科書を必ず読んでおいてください。本講義は古代史から近現代までを扱う通史ではないので、高等学校の世界史Aの教科書などを事前に読んで、歴史の知識を蓄えながら、世界史の大まかな流れを把握しておいて下さい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 ガイダンス	9回目 歴史学における事実と解釈
2回目 ヘロドトスと歴史の語り	10回目 【実践編】歴史的事実を確定する実践
3回目 歴史学と歴史小説との違い	11回目 大塚史学と戦後日本
4回目 【実践編】歴史を叙述する実践	12回目 日本における西洋史学の発展
5回目 ランケと実証史学	13回目 西洋史の近年の研究動向
6回目 歴史学における史料の意義	14回目 【実践編】研究テーマに関する実践
7回目 【実践編】実証史学に関する実践	15回目 前学期のまとめと確認
8回目 E. H. カーと歴史的事実	

◆教科書 丸沼『歴史学「外」論—いかに考え、どう書くか』 下田淳 青木書店 2005 年
1,944 円（税込）（送料 300 円）

※本テキストは準備学習用のテキストです。講義では、プリントを配布します。

◆参考書 丸沼『歴史学ってなんだ?』 小田中直樹 PHP 研究所 2004 年 734 円（税込）（送料 215 円）

丸沼『歴史を冒険するために』 中谷功治 関西学院大学出版会 2008 年

2,160 円（税込）（送料 300 円）

丸沼『新しい史学概論』(新版) 望月幸男・芝井敬司・末川清 昭和堂 2002 年

2,376 円（税込）（送料 300 円）

◆成績評価基準 成績の評価基準は、試験（50%）、平常点（50%）です。平常点は、授業中に配布するリアクション・ペーパー、授業中におこなうレポート、そして授業態度などを参考に評価します。なお、毎回出席していることを前提として評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆経営学の基本を理論と事例で学ぶ

〔経営学〕

火曜日 1 時限

担当者：山田 敏之

◆学修到達目標 本講義では、現代企業の本質及び直面する問題を明らかにしつつ、経営学の基礎的な考え方について理解を深めることを目標とします。現実の企業行動を、経営学の理論によって説明できることが到達点となります。前期は企業の本質、現代企業が直面する課題、経営学の歴史的変遷、経営トップの意思決定、経営戦略の問題を扱います。前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業方法 概ね指定したテキストに従い、黒板での板書を基本とした講義形式の授業を行います。具体的な企業経営のケース（事例）やグラフ等の関連資料については配布資料、パワーポイントを使用します。理論の説明とケース（事例）を組み合わせることで、より実践性の高い内容にしていきたいと思います。なお、講義の終了前に、その日の講義の内容あるいは企業経営に関する時事的な問題に関する小テストを毎回実施します。

◆準備学修 毎回の授業の課題に沿って指定したテキストの該当部分をあらかじめ読んでおいてください。授業計画で示された経営学の諸概念について、分からぬ言葉や用語等があれば事前に経営学辞典、経済学辞典あるいは参考書を用いて調べてください。経営学はきわめて現実性の高い学問領域ですので、日本経済新聞、日経産業新聞等の新聞や日経ビジネス、東洋経済、エコノミストといった経済雑誌にも絶えず目を通すようにしておいてください。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 イントロダクション	9回目 経営戦略の基礎概念
2回目 企業の概念と本質的活動について	10回目 アンゾフの戦略論とシナジー概念
3回目 経営学の歴史的変遷Ⅰ：経営学の誕生	11回目 経験曲線と製品ライフサイクル
4回目 経営学の歴史的変遷Ⅱ：近代経営学の考え方	12回目 PPM の枠組みと資源配分
5回目 現代企業が直面する課題Ⅰ：グローバル化と技術革新	13回目 業界構造分析の基礎
6回目 現代企業が直面する課題Ⅱ：組織の肥大化	14回目 ポーターの競争戦略論：3つの基本戦略
7回目 トップ組織の構造とガバナンス	15回目 まとめ
8回目 経営トップの役割と意思決定	

◆教科書 丸沼『経営学イノベーション1 経営学入門 第2版』 十川廣國 中央経済社
2,592円（税込）（送料300円）

◆参考書 丸沼『マネジメント力の養成』 コーポレート・マネジメント研究会 財経詳報社
1,620円（税込）（送料300円）

丸沼『人と組織を活かす経営管理論』 青木幹喜編著 八千代出版 3,024円（税込）（送料300円）
丸沼『経営学イノベーション2 経営戦略論 第2版』 十川廣國編著 中央経済社
2,592円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 平常点（毎回の小テスト）（20%）、試験（80%）。毎回出席することを前提として評価します。

◆心の働きを科学する

〔心理学 B〕

火曜日2時限

担当者：白川 真裕

◆学修到達目標 人間はありのままに世界をとらえ、気をつけてさえすれば重要な情報を見落とさず、大切なことは正確に記憶し、冷静なときは論理的に考えることができる、という生き物ではない。では、人間はどのように外界をとらえ、記憶し、思考しているのか。この授業では人間の基礎的な心の働きに関する知見を学んでいく。こうした知識を習得することで科学的な人間理解を目指す。

◆授業方法 授業は主として講義形式で行う。講義内容を必ずノートにとること。また、授業中に教員から質問をしたり、意見を求めることがある。ただ漫然と授業を聞くのではなく、考えながら聴講し、意見を求められたときは積極的に発言して欲しい。なお、出席は毎回確認する。

◆準備学修 心理学が扱う問題は全て関連している。こうした「話の流れ」というものを重視して授業を行うので、前回授業の内容（ノート）を読み返してから毎回の授業に臨んで欲しい。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 心理学とはどのような学問か	9回目 人間の注意の特性について
2回目 心の働きを支える体のしくみについて	10回目 注意のメカニズムについて
3回目 脳の働きとメカニズムについて	11回目 記憶の過程とメカニズム
4回目 感覚の種類とそのメカニズム	12回目 人間の記憶の特徴について
5回目 刺激と感覚の関係について	13回目 思考の素材、知識について
6回目 人間の知覚の諸特性	14回目 人間の思考の特徴
7回目 物理的世界と知覚世界の関係	15回目 前期まとめ（理解度の確認）
8回目 意味をとらえるということ	

◆教科書 通材『心理学 B12100』 通信教育教材（教材コード 000483）2,900円（送料込）
〈この教材は市販の「新しい心理学ゼミナール」藤田主一他著（福村出版）と同一です〉

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 成績は試験結果を重視し、これに平常点（授業時の発言など）を鑑みて総合的に評価する。

◆初級レベルのドイツ語を学びましょう

〔ドイツ語I・II〕

火曜日2時限

担当者：中島 伸

◆学修到達目標 ドイツ語を読み書きするために必要な初級レベルのドイツ語文法と語順の習得を目指します。ドイツ語は英語に比べると馴染みの薄い言語ですが、ドイツ語の語順は日本語とよく似ているため、皆様にとってドイツ語は英語よりも学びやすい言語です。英語を6年以上学んで身に付かなかった方は、これを機にドイツ語に転換しましょう。前期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるために、前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業方法 以下の授業計画で挙げられている文法事項の説明後、練習問題（文法中心）で定着させていきます。更に、スクーリング時に2回小テストを行い、間違った箇所と確認のために個別に解説を添えて答案を返却します。

◆準備学修 回を追うごとに説明する文法事項は既に習った文法事項の知識が無いと理解できませんので、既習の文法事項の復習をするようにして下さい。特に、動詞の現在人称変化と名詞の性、そして冠詞の格変化はほぼ全ての文法事項で必要な知識となります。冠詞の格変化を紙に書いて覚える等の自己学習を日頃から行うようにして下さい。反復練習こそが言語習得への近道です。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 ガイダンス・つづり字と発音（1）	9回目 話法の助動詞（2）・配語法（2）
2回目 つづり字と発音（2）・動詞の基本形	10回目 人称代名詞
3回目 動詞の現在人称変化（1）・配語法（1）	11回目 再帰代名詞と再帰動詞
4回目 名詞の性と複数形	12回目 非人称動詞
5回目 冠詞の格変化（1）	13回目 形容詞（1）
6回目 冠詞の格変化（2）	14回目 形容詞（2）
7回目 前置詞	15回目 まとめ・試験
8回目 動詞の現在人称変化（2）・話法の助動詞（1）	

◆教科書 丸沼『岡田・岩崎 ドイツ文法』 岡田朝雄・岩崎英二郎著 朝日出版社 2,376円（税込）（送料300円）

◆参考書 独和辞典が必要となります。推奨独和辞典は初回スクーリング時に紹介します。

◆成績評価基準 平常点（20%）・小テスト（30%）・試験（50%）。毎回出席することを前提として評価します。なお、独和辞典は必ず持参のこと（独和辞典の忘れは欠席扱いとします）。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆債権総論（前半）

〔民法Ⅲ〕

火曜日 2 時限

オープン受講：不可 担当者：根本 晋一

◆学修到達目標 民法学における債権法と債権総論の位置づけ、債権総論の意義と体系、主要な論点を理解することを目標とする。

◆授業方法 1 受講者数が多いので、担当教員がイニシアチブをとる講義形式を採用する。
2 法改正や新判例の追加等により、シラバス（授業計画）どおりに進まないことがあり得る。

◆準備学修 前回講義時における板書事項を、しっかりと読み直してください。なお、本講義は板書事項が多いことを、ご承知おきいただきたい。

◆履修条件 根本担当「民法Ⅲ」については、債権総論（後半）との積み重ねのみ可。なお、他教員の「民法Ⅲ」との積み重ねは可

◆授業計画（各 90 分）

※民法典の編別、および標準的な基本書の編別に準拠して説明をする。 GD、民法の概念・沿革・体系等①		9回目 ③
2回目 ②		10回目 債権の発生・債権の目的①
3回目 ③		11回目 ②
4回目 債権法の体系、総論と各論の関係①		12回目 ③
5回目 ②		13回目 債権の効力①
6回目 ③		14回目 ②
7回目 債権の意義、物権との関係など①		15回目（前半）まとめ
8回目 ②		

◆教科書 指定しない

◆参考書 授業中、適宜紹介します。

◆成績評価基準 全回出席を原則として、筆記試験または本講義終了後に提出するレポートの評価点 80%，授業態度 20%

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆大学での古典の学び方

〔国文学基礎講義〕

火曜日2時限

担当者：野口 恵子

◆学修到達目標 大学で学ぶ古典は、高等学校で学んだ古典とは全く異なる。まずはその違いを知ることを目標とし、大学では何を学ぶべきかを考えてもいい。そこで授業内では、『万葉集』の作品を取り上げながら、いかに両者が違っているのかを具体的に示す。同時に、大学の学修で必要とされる文献の調査方法や読み方、レポートの書き方についても修得してもらう。

◆授業方法 講義形式で行う。板書はメモ程度しかしないので、自分にとって必要な情報はノートに書き、「自分」のノートを作成すること。なお学生自らの思考を促すために、不定期で「復習テスト」を実施する。

◆準備学修 毎時間の授業終了後、「自分」のノートを整理しながら、復習しておくこと。なお、授業中は作品の内容については言及するが口語訳はしないので、必要に応じて参考書で確認しておくこと。

◆履修条件 なし。(学修効果を向上させるためには、前期後期連続受講が望ましい。)

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 ガイダンス	9回目 教材化された万葉歌の問題点を探る ⑦教育出版国総 309を取り上げる。
2回目 『万葉集』とはどのような歌集か	10回目 教材化された万葉歌の問題点を探る ⑧教育出版国総 310を取り上げる。
3回目 教材化された万葉歌の問題点を探る ①東京書籍国総 301を取り上げる。	11回目 教材化された万葉歌の問題点を探る ⑨大修館書店国総 312を取り上げる。
4回目 教材化された万葉歌の問題点を探る ②東京書籍国総 302を取り上げる。	12回目 教材化された万葉歌の問題点を探る ⑩大修館書店国総 313を取り上げる。
5回目 教材化された万葉歌の問題点を探る ③東京書籍国総 304を取り上げる。	13回目 教材化された万葉歌の問題点を探る ⑪大修館書店国総 314を取り上げる。
6回目 教材化された万葉歌の問題点を探る ④三省堂国総 306を取り上げる。	14回目 教材化された万葉歌のあり方を考える。
7回目 教材化された万葉歌の問題点を探る ⑤三省堂国総 307を取り上げる。	15回目 まとめ
8回目 教材化された万葉歌の問題点を探る ⑥三省堂国総 308を取り上げる。	

◆教科書 **丸沼『訳文 万葉集』 森淳司編 笠間書院 1,944 円（税込）（送料 350 円）**
[当日資料配付]

◆参考書 **丸沼『おかしいぞ！国語教科書』 梶川信行編 笠間書院 2,700 円（税込）（送料 300 円）**
『新編日本古典文学全集』萬葉集①～④ 小島憲之他校注・訳者 小学館
〈上記の本は品切れのため図書館等を利用してください〉

◆成績評価基準 復習テストの評価を含む平常点（30%）・レポート試験（70%）
※毎回出席することを前提としており、遅刻は認めない。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆日常的な体験から研究テーマへ

〔日本史入門〕

火曜日 2 時限

担当者：鍋本 由徳

◆学修到達目標 本科目は、主に入学（編入）直後の学生を対象にした基礎科目です。ここでいう「入門」とは「平易である」ことを意味しません。日本史を学修するために必要な基礎知識・検索技能・学修態度の獲得、今後に活かすべき能力の向上を目指します。学修効果を高めるために後期の受講を推奨します。前期のみの受講も可能です。

◆授業方法 原則として教科書に沿った講義形式です。適宜、文献の調べ方や基礎的参考文献などを紹介します。教科書とは異なる事例を使うこともあるため、プリント、スクリーンなどを併用しながら要点を説明します。

◆準備学修 事前学修のシートを用いて、教科書内容の概要を把握することが前提です。教科書を読むだけでも記入できます。自分のレベルに合わせて書いてきてください（提出不要）

◆履修条件 平成 29 年度東京スクーリング（6 月期）「日本史入門」との積み重ね不可

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 日本史を学ぶための基礎道具	9回目 中世の村と近世の村
2回目 豊かな感性を文学で育てる	10回目 「伝統」の根拠はどこにあるのか
3回目 歴史映画による刷り込み	11回目 書斎と台所から考える日本近代史
4回目 勧善懲惡の時代劇と明治維新	12回目 災害を「ユーモア」した時代
5回目 近世にみる祭と外国人	13回目 俗曲や世相を示す音楽と近代教育
6回目 浅草・新宿・新京極の成立事情	14回目 ゆりかごから墓場まで
7回目 都市開発・観光と鉄道事情	15回目 日本史の学修と研究視点
8回目 売買したものを取り返す常識	

◆教科書 通材『日本史入門 Q20100』通信教育教材（教材コード 000484）3,550 円（送料込）
 〈この教材は市販の『方法教養の日本史』竹内誠他著（東京大学出版会）と同一です〉
 [当日資料配付] 当日参考プリントを 1~2 枚配布

◆参考書 因沼『史料 教養の日本史』 竹内誠他編 東京大学出版会 2,592 円（税込）（送料 300 円）
 ※購入義務はありません

◆成績評価基準 授業内提出レポート（70%）、授業内小テスト（30%）の総合評価 ※全回出席を前提とした評価です。

◆中国経済の実態を学びましょう

〔中国経済論〕

火曜日 2 時限

担当者：斎 中凌

◆学修到達目標 日本と中国の経済関係はこの 30 年間で大きく拡大したが、一方で近年は政治的な緊張関係も強まっている。我々は、中国という国の仕組みや経済建設の経緯が日本と大きく異なることを認識した上で、現在起きている事象の本質を理解し、直面する事態と向き合っていかなければならぬ。この講義では、中国経済の各部門の特徴について基礎となる知識を習得し、中国経済に対する理解を深めることを目指す。

◆授業方法 講義は、配布資料とパワーポイントに沿って進める。授業時間内に、出欠を兼ねて、筆記課題やクイズへの回答を提出してもらうこともある。中国を身近に感じられるように、可能な限り写真や映像なども取り入れて講義を進めたいと考えている。また、足下の中国の経済・社会動向や世界経済・国際金融情勢との関係など時事問題についても、講義の中で解説を加える。

◆準備学修 テキストの第 2 部と第 3 部を事前に予習していただきたい。なお、中国は変化のペースが非常に速いため、参考資料などは授業中に適宜紹介する。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 講義内容の概観	9回目 人民元の為替相場、金利と資本取引（1）
2回目 GDP 大国における人々の生活（1）	10回目 人民元の為替相場、金利と資本取引（2）
3回目 GDP 大国における人々の生活（2）	11回目 一人っ子政策と労働力市場の変容
4回目 中国の GDP の構成と特徴（1）	12回目 経済発展とともに強くなる財政力
5回目 中国の GDP の構成と特徴（2）	13回目 中国の土地政策と不動産バブル
6回目 経済を支える対外貿易（1）	14回目 国進民退といわれている中国企業
7回目 経済を支える対外貿易（2）	15回目 前期のまとめ
8回目 中国の銀行システムと金融政策の概要	

◆教科書 因沼『現代中国経済論』 加藤弘之・上原一慶 ミネルヴァ書房 2011 年 4 月
 3,456 円（税込）（送料 350 円）

◆参考書 特になし

◆成績評価基準 授業中の質疑応答、出席、期末テストの成績を総合して評価する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆商業学の基本構造の理解

【商学総論】

火曜日2時限

担当者：雨宮 史卓

◆学修到達目標 本講義では、社会情勢の推移、学会動向の進展を折り込んだ、アップ・トゥ・デートの内容を心がける。そのため、商業の体系だけでなく、その研究対象となる流通・マーケティング分野を広く取り入れる。全体的には、なるべく取りつきやすく、理解しやすいように具体的なケースを交えて解説し、商業の役割・機能といった幅広い知識の習得を目指す。

◆授業方法 ターム前半はテキストに沿いながら、商業とは何か、商業の多様な概念、商業学説について学ぶ。ターム後半はマーケティングを中心とした広範な知識習得を目指す。必要に応じて資料を配布する。また、その日の授業の後半で、主要なテーマについてのリアクションペーパー（小論文）の提出を求める。

◆準備学修 前もって指定のテキストを熟読してくることが望ましい。ノートを必ず持参すること。

◆履修条件 後期商学総論との継続受講が望ましい。

◆授業計画【各90分】

1回目 ガイダンス 授業の進め方 商学を学ぶことの意義 商業とは何か	9回目 価格設定とその戦略
2回目 商業の起源と発展	10回目 販売促進
3回目 商業学、経営学、及びマーケティングの関係	11回目 商流と物流
4回目 日本型商業・流通構造の特質	12回目 現代の流通特性、流通の変革
5回目 マーケティングの誕生と4P	13回目 時間の概念と商業
6回目 無形財と有形財 商品調達	14回目 授業の総復習
7回目 製品戦略	15回目 まとめ
8回目 流通政策	

◆教科書 通材『商学総論 S20100』 通信教育教材（教材コード 000356）3,300円（送料込）
【当日資料配付】必要に応じて資料を配布する

◆参考書 なし

◆成績評価基準 テスト（40%）、小論文（40%）、平常点（20%） 授業の取り組み、小論文、テストにより総合的に評価します。

◆English Communication Skills

★★★【英語 A】

火曜日3時限

担当者：アレックス ブラウン

◆学修到達目標 In this course we will study, comprehend and use natural English dialogue from scenes of a popular movie, Notting Hill, starring Julia Roberts and Hugh Grant.

◆授業方法 We will use the scenes from the movie for listening comprehension, vocabulary usage and expansion with further practice of idioms and expressions used in the dialogue of the movie.

◆準備学修 Prepare to discuss comprehension questions provided by the teacher in a group format.

◆授業計画【各90分】

1回目 Introduction, Movie viewing Scene 1 vocabulary study	9回目 7&8 Continued
2回目 Scenes 1&2 comprehension questions and role play	10回目 Scenes 9&10 vocab, comprehension questions and role play
3回目 Scenes 3&4 vocabulary study	11回目 9&10 Continued
4回目 Scenes 3&4 comprehension questions and role play	12回目 9&10 Continued
5回目 Movie viewing Scenes 5&6 vocabulary study	13回目 Vocabulary quiz #2
6回目 Comprehension questions and role play	14回目 Review for Final
7回目 Vocabulary quiz	15回目 Final Test
8回目 Scenes 7&8 vocab, comprehension questions and role play	

◆教科書 No text will be required. Students will be provided with handouts.

◆参考書 None.

◆成績評価基準 Grades will be based on attendance, a final exam and a speaking test. Students will be graded on their efforts given during their time in the course.

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆法学（前半）

〔法学 A〕

火曜日 3 時限

オープン受講：不可

担当者：根本 晋一

◆学修到達目標 大学に学び、学士の称号を取得する者に相応しい法的教養の涵養をめざす。

◆授業方法 1 受講者数が多いので、担当教員がイニシアチブをとる講義形式を採用する。

2 法改正や新判例の追加等により、シラバス（授業計画）どおりに進まないことがあり得る。

◆準備学修 前回講義時における板書事項を、しっかりと読み直してくること。なお、本講義は板書事項が多いことを、ご承知おきいただきたい。

◆履修条件 根本担当「法学」については、法学（後半）との積み重ねのみ可。なお、他教員の「法学」との積み重ねは可

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 GD、法（灘）の概念①	9回目 ③
2回目 ②	10回目 法の適用（法的三段論法）①
3回目 ③	11回目 ②
4回目 法の機能（紛争解決規範、行為規範と裁判規範）①	12回目 ③
5回目 ②	13回目 国法体系、法の分類方法など①
6回目 ③	14回目 ②
7回目 法解釈の手法①	15回目（前半）まとめ
8回目 ②	

◆教科書 指定しない

◆参考書 授業中、適宜紹介します。

◆成績評価基準 全回出席を原則として、筆記試験または本講義終了後に提出するレポートの評価点 80%，授業態度 20%

◆ロマン派からヴィクトリア朝時代まで

〔イギリス文学史 II〕

火曜日 3 時限

担当者：猪野 恵也

◆学修到達目標 英文学における様々な作家と作品を知り、それらをきっかけに各作品を実際に読み、鑑賞できるようにする。

◆授業方法 プリントを用い、それらを基にすすめていく。

◆準備学修 英文学史を授業計画を基にして読んでおくとよい。

◆履修条件 前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 18世紀の英文学概観	9回目 George Eliot <i>Middlemarch</i>
2回目 Wordsworth と Coleridge	10回目 George Meredith <i>The Egoist</i>
3回目 John Keats について	11回目 Thomas Hardy <i>Tess</i>
4回目 Jane Austen <i>Pride and Prejudice</i>	12回目 Henry James <i>The Portrait of a Lady</i>
5回目 Charlotte Bronte <i>Jane Eyre</i>	13回目 Joseph Conrad <i>Heart of Darkness</i>
6回目 Emily Bronte <i>Wuthering Heights</i>	14回目 Oscar Wilde <i>The Picture of Dorian Gray</i>
7回目 Charles Dickens <i>Oliver Twist</i>	15回目 試験
8回目 Thackeray <i>Vanity Fair</i>	

◆教科書 [当日資料配付]

◆参考書 授業中指示する

◆成績評価基準 試験（70%）平常点（30%）皆出席を前提にして評価する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆歴史学の論文を書くために

〔史学概論〕

火曜日3時限

担当者：高綱 博文

◆学修到達目標 歴史学という学問の性格及び目的を明らかにし、また歴史学を学んでいく上で必要不可欠な基礎的・技術的な知識を学習する。さらに激動する現代世界に対応するために現在進行しつつある歴史学の革新について学び、「新しい歴史学」のあり方について考える。

◆授業方法 歴史学の目的・成立及び展開について論述し、授業中に配布した資料を解説しながら行う。

◆準備学修 下記の参考文献を予め学習しておくことが望ましい。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 ガイダンス	9回目 近代歴史学の成立（3）
2回目 歴史学とは何か（1）	10回目 近代歴史学の成立（4）
3回目 歴史学とは何か（2）	11回目 現代歴史学の展開（1）
4回目 歴史学とは何か（3）	12回目 現代歴史学の展開（2）
5回目 歴史学とは何か（4）	13回目 現代歴史学の展開（3）
6回目 歴史学とは何か（5）	14回目 現代歴史学の展開（4）
7回目 近代歴史学の成立（1）	15回目 前期のまとめ
8回目 近代歴史学の成立（2）	

◆教科書 指定しない。

◆参考書 丸沼『歴史学ってなんだ?』 小田中直樹 PHP新書 734円(税込)(送料215円)
丸沼『歴史学入門』 福井憲彦 岩波書店 1,836円(税込)(送料300円)

◆成績評価基準 試験(50%)、リポート(50%)。毎回出席することを前提として評価します。

◆金融の基礎を学ぶ

〔金融論〕

火曜日3時限

担当者：谷川 孝美

◆学修到達目標 この講義では、①オカネとは何か、また、そのオカネの貸し借りとは何かなど、金融に関する基本的な事柄。②銀行などの金融機関が果たしている役割。③日本の金融制度、仕組み。これらに関する基礎的知識・理論を学び、現在の経済問題を考える基礎を養うことを目的とします。

◆授業方法 授業計画にしたがって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では、基本的な事柄を中心に、全体的かつ平易な解説をする予定です。講義の進行状況によっては授業計画が前後することもあります。なお、この講義では中央銀行、金融政策の詳細は取り扱いません。

◆準備学修 金融理論を理解するためには、経済学の基礎が重要になります。受講前準備として、マクロ経済学、ミクロ経済学の基本的な事柄を確認しておくこと。また、理解をより深めるために、授業計画にあるトピックスや専門用語などを参考書等で事前に調べること。

◆履修条件 平成29年度東京スクーリング(5月期)「金融論」との積み重ね不可。また、前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果をあげるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 ガイダンス、金融とは何か	9回目 情報の非対称性とは何か
2回目 貨幣の歴史	10回目 金融機関と情報の非対称性問題
3回目 貨幣とは何か、貨幣の定義	11回目 資金循環と金融制度
4回目 金利とは何か	12回目 日本の金融システム—競争制限的規制
5回目 名目金利と実質金利	13回目 日本の金融システム—金融の自由化
6回目 短期金利と長期金利、現在割引価値	14回目 日本の金融システム—日本版ビッグバン
7回目 リスクのない金融資産	15回目 まとめ、試験
8回目 リスクのある金融資産	

◆教科書 指定しない。

〔当日資料配付〕当日プリント配布。

◆参考書 通材『金融論 R31800』 通信教育教材(教材コード000540) 1,700円(税込)
丸沼『ベーシックプラス 金融論』 家森信善 中央経済社 2,376円(税込)(送料300円)
丸沼『現代の金融入門【新版】』 池尾和人 筑摩書房 928円(税込)(送料215円)

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に、レポートや課題の提出、平常点などにより総合的に評価します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ TOEIC Listening & Reading test で 500 点突破を目指す [TOEIC A]

火曜日 4 時限

担当者：八木 茂那子

◆学修到達目標 本講座では TOEIC(R) Listening & Reading (R&L) test 500 点突破を目指します。初めてあるいは test を受けながらステップアップを目指そうとする人を対象に必要な基本的トレーニング方法を体得し、継続、習慣化することを目指します。前期のみ、後期のみの受講も可能ですが前後期の連続受講が望ましいと考えます。

◆授業方法 授業は Listening の Unit と Reading の Unit の演習を交互に行い、Listening, Speaking, Reading, Writing の four skills を満遍なく取り込みながら、楽しくトレーニングをしていく予定です。但しクラス分けはされていませんので受講者のレベルや理解度などにより、授業内容を変更することがあります。

◆準備学修 授業前の準備学習としては指定された unit を自宅にて 2 度解いて来てください。：1 回目は時間を計り、参照物無しで答えをノートに書く。2 回目 1 回目と答えが違う場合はペンの色を変え、参照物（辞書、文法書、その他参考書等）を参照しながら、解いて来て下さい。授業中に 3 回目を解くことになります。（このように同じ問題を繰り返し解くことで学習内容の定着が図られます。）

◆授業計画 [各 90 分]

1回目 Guidance sample 問題 他	9回目 Unit 7 (Listening practice)
2回目 Unit 1 (Listening practice)	10回目 Unit 8 (Reading Practice) Quiz 4 (Unit 7&8)
3回目 Unit 2 (Reading practice) Quiz 1 (Unit 1&2)	11回目 Unit 9 (Listening practice)
4回目 Unit 3 (Listening practice)	12回目 Unit 10 (Reading practice) Quiz 5 (Unit 9&10)
5回目 Unit 4 (Reading practice) Quiz 2 (Unit 3&4)	13回目 Unit 11 (Listening practice)
6回目 Unit 5 (Listening practice)	14回目 Unit 12 (Reading practice) Quiz 6 (Unit 11&12)
7回目 Unit 6 (Reading practice) Quiz 3 (Unit 5&6)	15回目 Mini test (2) 解答・解説
8回目 Mini test (1) 解答・解説	

◆教科書 丸沼『Simply 500: Acing the TOEIC®』 Terry O' Brien 他共著 1,728 円（税込）（送料 300 円）
他プリント

◆参考書 丸沼『公式 TOEIC® Listening & Reading 問題集 1』 国際ビジネスコミュニケーション協会
Educational Testing Service 著 3,024 円（税込）（送料 350 円）

◆成績評価基準 筆記試験小テスト（各 Unit の Warm Up Check A&B より 2 units ごとに全 6 回）30% + Mini test (2 回) 50% による総合評価（クラスのレベルにより一定の基準になるよう調整を加えることがあります。）

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆民法総則（前半）

〔民法 I〕

火曜日 4 時限

オープン受講：不可 担当者：根本 晋一

◆学修到達目標 民法学における民法総則の位置づけ、民法総則の意義と体系、主要な論点を理解することを目標とする。

◆授業方法 1 受講者数が多いので、担当教員がイニシアチブをとる講義形式を採用する。
2 法改正や新判例の追加等により、シラバス（授業計画）どおりに進まないことがあり得る。

◆準備学修 前回講義時における板書事項を、しっかりと読み直していくこと。なお、本講義は板書事項が多いことを、ご承知おきいただきたい。

◆履修条件 根本担当「民法 I」については、民法総則（後半）との積み重ねのみ可。なお、他教員の「民法 I」との積み重ねは可

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目	※民法典の編別、および標準的な基本書の編別に準拠して説明をする。GD、民法の概念・沿革・体系等①	9回目	③
2回目	②	10回目	④
3回目	③	11回目	⑤
4回目	民法の基本原理①	12回目	私権の客体①
5回目	②	13回目	②
6回目	③	14回目	③
7回目	私権の主体①	15回目	（前半）まとめ
8回目	②		

◆教科書 指定しない

◆参考書 授業中、適宜紹介します。

◆成績評価基準 全回出席を原則として、筆記試験または本講義終了後に提出するレポートの評価点 80%、授業態度 20%

◆「折口信夫」を読む

〔国文学特殊講義 I・II〕

火曜日 4 時限

担当者：近藤 健史

◆学修到達目標 折口信夫は、民俗学者・国文学学者であり、釈迢空と号した詩人・歌人でもあった。日本文学・古典芸能を民俗学の観点から研究し、その学問は「折口学」と称されている。今回は『万葉集』に関する研究を読む。そして古代から現代に至る日本人の心の伝承を捉え、理解する力を養うこと目標とする。

◆授業方法 受講生をグループに分け、テキストを読んだ後に各グループでテーマを決定する。研究、話し合い、まとめを経て、報告する。質疑応答、全体討論により、理解を深めるという方法をとる。

◆準備学修 折口信夫について調べること。テキストを読んでくること。

◆履修条件 なし

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目	授業計画の説明	9回目	学生の報告
2回目	グループの分担	10回目	学生の報告
3回目	折口信夫入門	11回目	学生の報告
4回目	映像で学ぶ折口信夫（1）	12回目	学生の報告
5回目	映像で学ぶ折口信夫（2）	13回目	学生の報告
6回目	学問と情熱の折口信夫	14回目	学生の報告
7回目	各グループ・テーマ発表	15回目	まとめ、リポート提出
8回目	学生の報告		

◆教科書 『折口信夫全集 第九巻 国文学篇3』 中公文庫 昭和51年
<上記の本は品切れのため、図書館等を利用して下さい。>◆参考書 因沼『古代から来た未来人 折口信夫』 中沢新一 ちくまプリマ－新書 2008年
756円（税込）（送料215円）
因沼『現代思想 折口信夫』 青土社 2014年（2014年5月臨時増刊号総特集）
1,944円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 リポート試験 60%、報告 30%、質疑応答 10%

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ Speech Communication I

〔スピーチコミュニケーション I〕

火曜日4時限

担当者：アレックス ブラウン

◆学修到達目標 This course is aimed at improving communication skills with a focus on speaking and listening. Efforts will be directed at using English in a natural context and to develop fluency. Grades will be based on attendance and written and speaking tests for each term.

◆授業方法 This course will be based on a topic-based syllabus where students will learn vocabulary. Language structures and functions commonly used related to the topics. Students will then perform activities which incorporate the language covered in the section such as group tasks or role plays. This course is open to all students; however, the language and activities are set for pre-intermediate to intermediate level language ability.

◆準備学修 Students are expected to bring a notebook, dictionary and a folder for notes.

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 Introductions and Classroom Language.	9回目 Group presentations.
2回目 Orientation, Introductions/Icebreakers.	10回目 Topic Review. Introduce Topic 5
3回目 Topic 1: relevant vocabulary: language structures: tasks and role-plays.	11回目 Topic 5: work through the assigned activities.
4回目 Topic 1 and 2 vocab. structures, activities.	12回目 Topic 6: language structures and task orientated activities.
5回目 Topic 2: group activities: tasks and role-plays.	13回目 Complete Topic activities: tasks and role-plays.
6回目 Topic 3: language structures group activities:	14回目 Preparation for tests
7回目 Topic 3 and 4 vocab. structures and grammar points	15回目 Written and oral tests (group format).
8回目 Prepare content for a group presentation.	

◆教科書 No text will be required. Students will be provided with handouts.

◆参考書 None.

◆成績評価基準 Grades will be based on attendance, a final exam and a speaking test. Students will be graded on their efforts given during their time in the course.

◆ Alice's Adventures in Wonderland に挑戦

〔英米文学演習 I ~ III〕

火曜日4時限

担当者：猪野 恵也

◆学修到達目標 この作品は子供向けの作品だと思われるが、よく読むと言葉遊び、ナンセンスなど精読するとかなり難しい本である。様々なレファレンスを参考にして何とか読みたいと思う。

◆授業方法 学生による和訳発表、言葉遊びなどに着目して読む。

◆準備学修 よく予習された上で授業に臨むこと。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 I Down the Rabbit-Hole	9回目 V Alice From A Caterpillar
2回目 I Down the Rabbit-Hole	10回目 VI Pig and Pepper
3回目 II The Pool of Tears	11回目 VII A Mad Tea-Party
4回目 II The Pool of Tears	12回目 VIII The Queen's croquet ground
5回目 III A Caucus-race and a long tale	13回目 IX The Mock Turtle's Story
6回目 III A Caucus-race and a long tale	14回目 X The Lobster Quadrille
7回目 IV The Rabbit sends in a Little Bill	15回目 試験
8回目 IV The Rabbit sends in a Little Bill	

◆教科書 **〔当日資料配付〕**プリントを配布する

◆参考書 授業中指示する。

◆成績評価基準 試験 (60%) 発表 (30%) 平常点 (10%) 皆出席を前提する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆平安時代の人々と宗教について

〔日本史特講Ⅱ〕

火曜日 4時限

担当者：八馬 朱代

◆学修到達目標 平安時代において都に住む人々は様々な災害（風水害や疫病など）に見舞われ、いつ疫病や地震などの災害に遭うかわからないという恐れを抱いて生活しており、人々は災害や疫病を防ぐために神仏に加護を求める、都では様々な祭祀が営まれていました。平安時代の祭祀と民衆について考えていくことにより、古代の人々と宗教との関わりについて、説明できることを目標とします。

◆授業方法 配布したプリントを使用して講義を行います。適宜、授業内で史料を読むので、史料の読み方を学んでもらいたい。また、授業で参考文献や史料を紹介するので、各自、図書館で手にとってみるように心がけてください。

◆準備学修 『日本の歴史』や『日本の時代史』など概説書を事前に読んで、平安時代の政治、社会情勢について理解を深めておくようにしてください。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 古代の神祇信仰について	9回目 石清水八幡宮について（1）
2回目 神仏習合について	10回目 石清水八幡宮について（2）
3回目 平安京の境界	11回目 神功皇后と八幡信仰
4回目 平安時代の民衆と災害	12回目 地震災害と朝廷の対応
5回目 疫病の流行と御靈信仰	13回目 八幡神と地震災害
6回目 放生会について	14回目 鳴動と軒廊御トについて
7回目 八幡新宮破却事件について	15回目 まとめ
8回目 志多羅神入京について	

◆教科書 【当日資料配付】当日、プリントを配布します。

◆参考書 授業中、適宜紹介します。

◆成績評価基準 最終試験 70% 平常点・小テスト 30% ※毎回出席することを前提として、総合的に評価します。

◆ TOEIC Test SW に向けて

★★★〔英語 B〕

火曜日 5時限

担当者：飯野 朝世

◆学修到達目標 ①写真や短文で提示された情報に基づいて自分の考えや意見を英語で論理的にまとめて発表できるようになる。②作家になったつもりで物語を作ることができる。③公式な email に適切に返信できる。

◆授業方法 ①いろいろなテーマについて音読、口頭発表、記述練習を行う。

◆準備学修 ①目の前の現実を正確に表現し、自分の考えや意見を英語で論理的にまとめる練習をしてください。
②写真、漫画、映画などに表現された事象を細かく確認できるように練習してください。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 ガイダンス：授業の進め方、成績評価の仕方	9回目 About Editing
2回目 Before you start	10回目 Self-introduction
3回目 Describing a picture	11回目 Self-introduction
4回目 Making a story	12回目 What you see in the movie (Q&A)
5回目 Emails (reading)	13回目 Film study (prediction)
6回目 Emails (2) (responding)	14回目 Review
7回目 About Paragraphs	15回目 Final Exam
8回目 About Essays	

◆教科書 なし。教材は当日にスクリーンでのみ表示。

◆参考書 特に指定しませんが、準備学習のために様々なメディアで写真などをチェックし、観察してください。

◆成績評価基準 ①期末テスト：50%、②授業内活動（発言回数、提出物など）：30%、③平常点：（積極性、クラス貢献度、また遅刻、早退、私語、居眠りなどは減点します）：20%。全回出席を前提に①～③により総合的に評価します。【注】授業数の2/3以上出席した場合に単位を認定します。

◆漢字に頼らないリスニング力

〔中国語Ⅰ・Ⅱ〕

火曜日5時限

担当者：稻葉 明子

◆学修到達目標 漢字の意味がわかることは大きな強みでもあります。初期の関門を越えるためには足枷になります。対面式授業の利点を発揮して中国語の発音を完全に理解し、漢字に頼らない中国語吸収の素地を作ります。

◆授業方法 冒頭5回で発音体系を機械的に把握し、教科書本文に入ってからは新出単語を用いて大量の発音練習することによって、漢字を見ても日本語の音読み訓読みではなく中国語の音がでてくるまでもっていきます。発音体系と、中国語音声による発想は必須ですので、先入観をもたず、柔軟な姿勢で臨んでください。各課本文と文法体系の把握も、毎回学習者自らの耳で探る展開で行い、自立的な言語習得に繋げます。

◆準備学修 ある程度の基礎ができるまでは、敢えて予習はせず、指示通りの復習を必ず行ってください。教科書本文に入ってからは、毎回教科書本文についてディクテーション小テストを行います。この対策を毎回こなすことで、着実に実力がついていきます。教材音声に手軽に親しめる工夫をしてください。(付属CDをプレーヤーに取り込む、HPをお気に入りに登録する、など。)

◆授業計画〔各90分〕

1回目 ガイダンス・発音1（声調）	9回目 第2課1 是・助詞「的」
2回目 発音2（单母音）	10回目 第2課2 時刻
3回目 発音3（子音1）	11回目 第3課1 有・方位詞
4回目 発音4（子音2・総合）	12回目 第3課2 時点と時量
5回目 数字	13回目 第4課1 形容詞述語文・様態補語
6回目 プレ第1課：発音総合	14回目 第4課2
7回目 第1課1 人称代名詞・動詞述語文	15回目 教場試験
8回目 第1課2 数字	

◆教科書 丸沼『どうちがう？似たもの中国語』 相原茂・蘇紅 朝日出版 2,592円（税込）（送料300円）

◆参考書 WEB上に様々なトレーニング用コンテンツをUPします。音声を用いた復習が必要になります。
発音記号学習時に、鉛筆と同じ太さに書ける赤・青・黄のペンがあると便利です。

◆成績評価基準 授業への取り組み、小テストなどにより総合的に評価します。試験は、リスニングを中心となります。受講前に予想できる内容ではなく、柔軟な発想が必要ですが、指示通りに取り組めば、難しいものではありません。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆国際政治の特徴・歴史・現在を学ぶ (国際政治学/国際政治論/国際政治学概論)

火曜日 5時限

担当者: 横田 将志

◆学修到達目標 ①国際政治学の特徴や基本的な考え方を身につけ、現実の国際政治を理解できるようになること。

② 20世紀の国際政治の展開を踏まえたうえで、現在の国際政治を理解し、説明できるようになること。

③日本が抱える国際政治上の課題を理解し、説明できるようになること。

◆授業方法 基本的に、講義形式で行う。理解の促進を図るために、資料を活用したり、ディスカッションを行ったりする場合もある。

◆準備学修 教科書の該当箇所を事前に読んでおくことが望ましい。また、日頃から、国際情勢に関する新聞記事を読んだりニュース番組を観たりすることを勧める。

◆履修条件 前期・後期の連続受講が望ましい(前期のみの受講も可能)。

◆授業計画 (各 90 分)

1回目 ガイダンス	9回目 現代の安全保障をどう読むのか(1)
2回目 国際政治学はどのような学問なのか	10回目 現代の安全保障をどう読むのか(2)
3回目 20世紀の国際関係をどう理解するのか(1)	11回目 北東アジアの政治と国際関係をどう読むのか(1)
4回目 20世紀の国際関係をどう理解するのか(2)	12回目 北東アジアの政治と国際関係をどう読むのか(2)
5回目 今日の国際関係をどう読むのか(1)	13回目 国際社会における日本の位置づけをどう読むのか(1)
6回目 今日の国際関係をどう読むのか(2)	14回目 国際社会における日本の位置づけをどう読むのか(2)
7回目 グローバリゼーションの時代をどう読むのか(1)	15回目 前期のまとめ
8回目 グローバリゼーションの時代をどう読むのか(2)	

◆教科書 通材 『国際政治学 L30200 / 国際政治論 R32700 / 国際政治学概論 S33200』

通信教育教材 (教材コード 000501) 2,900円 (送料込)

〈この教材は市販の『Next 教科書シリーズ 国際関係論』佐渡友哲・信夫隆司共著(弘文堂)と同一です〉

◆参考書 授業のなかで適宜、紹介する。

◆成績評価基準 授業への取り組み方(授業内レポートや発言)とテストの結果を総合的に判断します。

◆プラグマティズム入門

〔哲学特殊講義〕

火曜日 5時限

担当者: 江川 晃

◆学修到達目標 「プラグマティズム」という言葉は、現在、「結果さえよければよい」という「実用主義」を指す場合によく使われる。しかし、このプラグマティズムは、19世紀後半、アメリカ合衆国においてパースにより提唱された哲学に由来する。この授業の目標は、現代アメリカ哲学の中心となったプラグマティズムの本来の意味を理解することにある。そのことにより、アメリカの根本的思想を知ることができるようになる。

◆授業方法 教科書を中心に講義し、討論する。時に、その内容をレポートしていただきます。

◆準備学修 授業内容を事前によく読んでおいてください。

◆授業計画 (各 90 分)

1回目 ガイダンス	9回目 ジェイムズ1
2回目 プラグマティズムとは何か	10回目 ジェイムズ2
3回目 3つの誕生と再生	11回目 ジェイムズ3
4回目 ジェイムズのプラグマティズムの意味	12回目 デューイ1
5回目 古典的プラグマティズム	13回目 デューイ2
6回目 パース1	14回目 デューイ3
7回目 パース2	15回目 試験
8回目 パース3	

◆教科書 因沼『プラグマティズム入門』伊藤邦武 ちくま新書・筑摩書房 2016年 950円(税込)(送料215円)

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 課題レポート(50%)、試験(50%)

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆新聞に読む日本占領下の上海

〔東洋史演習Ⅰ・Ⅱ〕

火曜日5時限

担当者：高綱 博文

◆学修到達目標 日本占領下の上海で刊行された日本語新聞『大陸新報』は、日中戦争下の中国の政治、経済、戦況、時事、さらには文化・社会事情を知るための貴重な史料である。同新聞を講読しながら史料批判などの歴史研究のための基礎力を養成します。

◆授業方法 テキスト『大陸新報』を講読しながら、受講生による研究発表と討論を中心としたゼミナール形式で行います。

◆準備学修 『大陸新報』を読み、研究発表のために参考文献や史料を調べて準備する。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 ガイダンス	9回目 テキスト講読・報告・討論(4)
2回目 『大陸新報』について(講義)	10回目 テキスト講読・報告・討論(5)
3回目 『大陸新報』の利用方法	11回目 テキスト講読・報告・討論(6)
4回目 国会図書館見学	12回目 テキスト講読・報告・討論(7)
5回目 テキスト講読・報告・討論(1)	13回目 テキスト講読・報告・討論(8)
6回目 テキスト講読・報告・討論(2)	14回目 テキスト講読・報告・討論(9)
7回目 テキスト講読・報告・討論(3)	15回目 まとめ
8回目	

◆教科書 テキスト『大陸新報』は日本上海史研究会HP上で閲覧可能。

◆参考書 授業中に適時指示する。

◆成績評価基準 講読・発表(60%)、平常点(20%)、リポート(20%)。毎回出席することを前提として評価します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

MEMO

【水曜日】

時限	講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ ープ 講ン			
					科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配当 学 年	受 講 条 件				
1 時限	AC11	経 済 学	田村 和彦	2	B11800	経 済 学	×	1年		×			
	AC12	英 語 C	青木 克憲	1	C10100	英 語 I	1年	×	・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。	×			
					C10200	英 語 II							
					C10300	英 語 III	2年						
2 時限	AC13	商 法 II	大久保 拓也	2	K30600	商 法 II	×	2年					
	AC14	簿 記 論 I	山元 俊一	2	S20300	簿 記 論 I	×	条件 参 照	・ 商学部は 1 学年以上申込可。 ・ 上記以外は 2 学年以上申込可。				
	AC21	英 語 D	森 晴代	1	C10100	英 語 I	1年	×	・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。	,			
					C10200	英 語 II							
					C10300	英 語 III	2年						
					C10400	英 語 IV							
3 時限	AC22	英語学演習 I ~ III	真野 一雄	1	N401S0	英語学演習 I	3年	×	・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ I ~ III のいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。	,			
					N402S0	英語学演習 II							
					N403S0	英語学演習 III							
	AC23	考 古 学 概 説	野中 和夫	2	Q30500	考 古 学 概 説	×	2年					
3 時限	AC24	広 告 論	雨宮 史卓	2	S30900	広 告 論	×	2年					
	AC31	文 学	木村 一	2	B11300	文 学	×	1年					
	AC32	法 学 B	武田 茂樹	2	B11500	法 学 (日本国憲法2単位を含む)	×	1年					
	AC33	英 語 E	北原 安治	1	C10100	英 語 I	1年	×	・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。	,			
					C10200	英 語 II							
					C10300	英 語 III	2年						
					C10400	英 語 IV							
	AC34	政治学特殊講義 I・II	秋山 和宏	2	L311S0	政治学特殊講義 I	2年	×	・ I, II のどちらに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。	,			
	L312S0	政治学特殊講義 II											
	AC35	英 語 音 声 学	森 晴代	2	N30600	英 語 音 声 学	×	2年					
	AC36	東洋史特講 II	堀井 弘一郎	2	Q31100	東洋史特講 II	×	2年					

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

【水曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数 講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ ー ン 講 座
					科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
4 時 限	AC41	歴 史 学 A	渡邊 浩史	2	B11100	歴 史 学	×	1 年		
	AC42	国 語 学 概 論	保科 恵	2	M20300	国 語 学 概 論	×	条件 参 照	・国文学専攻のみ1学年以 上申込可。 ・上記以外は2学年以上申 込可。	
	AC43	国文学講義V(近代)	永岡 健右	2	M30900	国文学講義V(近代)	×	2 年		
	AC44	日本思想史 I	島田 健太郎	2	P30800	日本思想史 I	×	2 年		
	AC45	日本史概説／ 日本史概論	横山 則孝	2	Q30200 K32200	日本史概説 日本史概論	×	2 年	・文理・経済・商学部のみ 申込可。 ・法学部のみ申込可。	
5 時 限	AC51	歴 史 学 B	堀井 弘一郎	2	B11100	歴 史 学	×	1 年		
	AC52	文 化 史	渡邊 浩史	2	B11200	文 化 史	×	1 年		
	AC53	英 語 F	石川 勝	1	C10100	英 語 I	1 年	2 年	・I～IVのいずれに該当さ せるのか充当科目コード を必ず記入してください。	
					C10200	英 語 II				
					C10300	英 語 III				
					C10400	英 語 IV				
	AC54	国文学基礎演習	木村 一	1	M317S0	国文学基礎演習	×	2 年	・国文学専攻のみ申込可。	×

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座の選定
時間割
シラバスと使用教材 (火曜日)
シラバスと使用教材 (水曜日)
シラバスと使用教材 (木曜日)
シラバスと使用教材 (金曜日)
シラバスと使用教材 (土曜日)
受講及び試験
受講手続き
申込講座の許可と不許可
受講料等の納入
受講準備
健体育講義 I
オーブン受講
胸部X線検査
各種用紙
付録

講座内容（シラバス）

◆少子高齢化時代の経済活動

〔経済学〕

水曜日 1 時限

オープン受講：不可 担当者：田村 和彦

◆学修到達目標 経済諸問題についての理解力・思考力を高めてもらいたい。

◆授業方法 講義方式。

◆準備学修 各自教科書を読み、予習をすること。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 完全競争市場	9回目 国民所得の計算①
2回目 不完全競争市場	10回目 国民所得の計算②
3回目 貨幣経済①	11回目 ケインズ型消費関数
4回目 貨幣経済②	12回目 国民所得の決定・所得・格差
5回目 マクロ経済学の定義	13回目 投資乗数・乗数効果・公共投資
6回目 国民経済の構造と循環	14回目 景気循環
7回目 国民資本と国民所得	15回目 経済の情報化とグローバル化・まとめ
8回目 国民所得の定義	

◆教科書 通材『経済学 B11800』 通信教育教材（教材コード 000450）1,950 円（送料込）

丸沼『経済学』瀬川浩・田村和彦編著 桜門書房 3,024 円（税込）（送料 300 円）

テキストは、上記2冊を必ず持参すること。

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 最終試験。

◆主人公ブラッドのストーリーを追いかけよう

★★☆〔英語 C〕

水曜日 1 時限

オープン受講：不可 担当者：青木 克憲

◆学修到達目標 主人公ブラッドのストーリーが 180 語程度の英文で書かれています。内容を理解しながら文法力、英作文力を練習問題を通して身につけます。

◆授業方法 受講生に発表してもらう形で授業を行なう。本文の英文は 1 行（短い場合は 2 行）ずつ和訳してもらい、その後で、説明・補足などを加えて内容を検討する。練習問題は解答を答えてもらう。

◆準備学修 シラバスを参照して、次回に行なう箇所を辞書を引き、内容をまとめておくこと。問題は自分の解答を用意しておくこと。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 unit 1 Hello, I'm Bradley	9回目 unit 8 Writing a CV
2回目 unit 2 Brad is my friend.	10回目 今までのまとめ (u.5 ~ u.8)
3回目 unit 3 I'd like you to meet Richard	11回目 unit 9 An Interview
4回目 unit 4 A job Advert	12回目 unit 10 A blog
5回目 今までのまとめ (u.1 ~ u.4)	13回目 unit 11 Which one is better?
6回目 unit 5 A New Apartment	14回目 unit 12 Dear Diary
7回目 unit 6 Come in and look at my new Flat	15回目 授業全体のまとめ
8回目 unit 7 My Neighbourhood	

◆教科書 丸沼『Hello, I'm Bradley (ブラッドリーのハッピーライフ)』南雲堂 2,160 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書 授業中に必要に応じて紹介します。

◆成績評価基準 授業への取り組み（予習状況、練習問題）（30%）試験（70%）で評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆会社法の基礎から学ぶ

〔商法Ⅱ〕

水曜日 1時限

担当者：大久保 拓也

◆学修到達目標 この講義では、現代社会で重要な役割を果たしている会社、特に株式会社に関する法知識の習得を目的とします。会社法は、平成26年度に重要な改正がなされました。(平成27年5月1日施行)。実社会に与える影響も大きいため、会社に関する法規制を基本から理解を目的とした講義を行います。会社の概要、株式会社の資金調達、株式会社の機関構造(前半)等を扱います。前期・後期の連動受講が望まれます。

◆授業方法 講義形式で行います。講義は、会社法制度の全体構造を理解し、会社法上の基本問題について、法的に解答できる論理的思考力の習得を目的とします。会社法は複雑な規律が多いので、それを理解できるように継続的に講義に出席することが求められます。また、漫然と授業に出席するだけでは知識が身につかないで、講義時に何度も小テストを行い理解度をチェックすることも予定します。そのため、予習・復習も必要となります。

◆準備学修 指摘の教科書を熟読し、予習を欠かさないことが必要です。会社法は、経済活動に密接に結びついた法分野ですから、常に新しい経済の仕組みを理解していかなければなりません。そのための最適の方法は、日刊新聞(日経新聞等)を読むことです。最近ではどのような経済問題があるのか、どのような新しい企業組織形態が誕生したのか、等について問題意識をもって毎日欠かさず読むことが必要です。

◆授業計画【各90分】

1回目 ガイダンス 会社の意義と会社法の目的	9回目 株式会社の資金調達6：自己株式
2回目 ガイダンス 会社の意義と会社法の目的	10回目 株式会社の資金調達7：株式の分割、併合等
3回目 会社の能力、会社の法人格、法人格否認の法理、株式と有限責任	11回目 株式会社の資金調達8：社債の概要
4回目 株式会社の資金調達1：株主平等の原則とその例外	12回目 株式会社の機関構造1：機関総論、株主総会運営の手続
5回目 株式会社の資金調達2：種類株式	13回目 株式会社の機関構造2：説明義務、株主提案権
6回目 株式会社の資金調達3：新株発行の手続	14回目 株式会社の機関構造3：株主総会決議の瑕疵
7回目 株式会社の資金調達4：新株発行の差止め、無効、不存在	15回目 講義のまとめ
8回目 株式会社の資金調達5：株式譲渡	講義進度に応じ、以上の内容には変更する場合があります。

◆教科書 丸沼『会社法講義30講』松嶋隆弘編著 中央経済社 2015年4月 3,780円(税込)(送料350円)
六法を持参すること(2014(平成26)年以降に限り、最新版(2017(平成29)年版)が望ましい)

◆参考書 丸沼『会社法判例百選(第3版)』岩原紳作ほか編 有斐閣 2016年 2,592円(税込)(送料300円)

◆成績評価基準 ①平常点(授業中に行う「小テスト」も含みます)(20%)、②授業中にふれた重要な事項から出題する「試験」(80%)。毎回出席することを前提として評価します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆初学者のための簿記入門コース

【簿記論Ⅰ】

水曜日 1 時限

担当者：山元 俊一

◆学修到達目標 初めて簿記を勉強する方を対象に、簿記一巡の流れを理解してもらい、最終的には、貸借対照表・損益計算書を作成できるようになることが目標です。そのためには、簿記の仕組みや帳簿記入・決算などの内容を理解することが重要です。前期のみの受講あるいは後期のみの受講も可能です。ただし、簿記検定3級程度の内容を概ね理解されたい方は通年の受講が望ましいと思われます。

◆授業方法 テキストの内容に沿って、内容を解説していきたいと思います。簿記は「習うより慣れろ」と言われています。そこで、講義ばかりではなく、実際に問題を解いてもらい、実践力を見につけてもらいたいと思います。

◆準備学修 簿記の場合は「ローマは1日にしてならず」という言葉がピッタリとあてはまります。継続的に練習を積み重ねていくことによって、身についていくものです。ですので、毎回の復習は欠かさずに行ってください。電卓は必ず持参してください。

◆授業計画【各 90 分】

1回目 簿記の意義と仕組み ①	9回目 現金と預金 ①
2回目 簿記の意義と仕組み ②	10回目 現金と預金 ②
3回目 仕訳と転記 ①	11回目 繰越商品・仕入・売上 ①
4回目 仕訳と転記 ②	12回目 繰越商品・仕入・売上 ②
5回目 仕訳帳と元帳 ①	13回目 売掛金と買掛金
6回目 仕訳帳と元帳 ②	14回目 その他の債権と債務
7回目 決算 ①	15回目 前期のまとめ
8回目 決算 ②	

◆教科書 **丸沼**『新 検定簿記講義 3級商業簿記』 渡部裕亘・片山 哲・北村敬子 中央経済社
756 円（税込）（送料 300 円）

丸沼『新 検定簿記ワークブック 3級商業簿記』 渡部裕亘・片山 哲・北村敬子 中央経済社
756 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書 なし

◆成績評価基準 原則として、授業の出席と試験の結果により総合評価を行います。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆理解言語「読む、聞く」をしっかり勉強しよう

★★★〔英語 D〕

水曜日2時限

担当者：森 晴代

◆学修到達目標 英語の4技能のうち、理解言語である「読む、聞く」を繰り返し練習することにより、英語そのものに慣れ、直聴直解を目指します。表現言語である「話せる、書ける」は、理解言語を相当有していることが前提となります。具体的にはネイティヴスピーカーが日常使用する5000語を身につける、1分間に150語の音読及び内容把握を目標とします。また、前期のみの受講、後期のみの受講も可能ですが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましいです。

◆授業方法 2回の授業で1unit進めます。本文のリスニング、和訳、内容のディスカッション、質疑応答、音読（オーバーラッピング、シャドーイング）をグループワークを取り入れて行います。グループはクラスの人数により変更しますが4~6名で1グループを予定しています。辞典は必ず毎回持参してください。小テストは各unit終了時にそのunitの書き取り、もしくはパッセージの要約のいずれかを行います。

◆準備学修 必ず予習してきてください。専用のノートをご準備ください。自分がどの部分でつまづいているのかを把握してから授業に臨むと理解しやすくなります。1日に少しの時間でよいので音読練習、リスニング練習を行ってください。難しいスペルの単語は練習しておきましょう。

◆授業計画〔各90分〕

1回目	リスニングと音読の関係性の説明 Unit 1 : Sleep and Compliments 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習	9回目	Unit 4 の補足 小テスト Unit 5 : Stonehenge's Deeper Mystery 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習
2回目	Unit 1 : Sleep and Compliments リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング	10回目	Unit 5 : Stonehenge's Deeper Mystery リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング
3回目	Unit 1 の補足 小テスト Unit 2 : Space Junk 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習	11回目	Unit 5 の補足 小テスト Unit 6 : Helping Children in Nepal Get an Education 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習
4回目	Unit 2 : Space Junk リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング	12回目	Unit 6 : Helping Children in Nepal Get an Education リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング
5回目	Unit 2 の補足 小テスト Unit 3 : Teenagers and Digital Media 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習	13回目	Unit 6 の補足 小テスト Unit 7 : Saving Dogs 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習
6回目	Unit 3 : Teenagers and Digital Media リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング	14回目	Unit 7 : Saving Dogs リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング
7回目	Unit 3 の補足 小テスト Unit 4 : A Town Under One Roof 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習	15回目	Unit 7 の補足 小テスト 前期授業のまとめ
8回目	Unit 4 : A Town Under One Roof リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング		

◆教科書 因沼『CNN Student News (5)』 関戸冬彦他4名著 朝日出版社 2,052円（税込）（送料300円）

◆参考書 授業中に紹介します。

◆成績評価基準 平常点(20%) 小テスト(20%) 音読発表(10%) 試験(50%) 毎回出席することを前提として評価します。

◆英語学を基礎から学びましょう

〔英語学演習Ⅰ～Ⅲ〕

水曜日2時限

担当者：真野 一雄

◆学修到達目標 英語という言語がどういう仕組みになっているのか、音、語、文それぞれのレベルで、英文学専攻の学生として必要な知識を修得し、説明できるようになります。

◆授業方法 テキストの解説、補足説明を行い、用例を正しく認識し、理解を深めています。必要に応じて担当講師が用意する練習問題を行います。

◆準備学修 重要語、用例については特に注意して、テキストを読み、理解できるところ、できないところを自覚してください。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 第1章 音韻論 1. 母音と母音体系	9回目 同 5. 複合名詞の意味について
2回目 同 2. 子音と子音体系	10回目 第3章 統語論 生成文法 1. 句構造(1)
3回目 同 3. 形態音素交替 4. 音節とモーラ	11回目 同 2. 句構造(2)
4回目 同 5. アクセント～7. リズム	12回目 同 3. 名詞句
5回目 第2章 形態論 1. 形態論とは	13回目 同 4. 移動(1)
6回目 同 2. 派生形態論の仕組み	14回目 同 3. 移動(2) 4. 生成文法の企て
7回目 同 3. 派生形態論のその他の仕組み	15回目 試験+その解説
8回目 同 4. 派生と複合に課される一般的な条件	

◆教科書 丸沼『日英対照 英語学の基礎』 くろしお出版 1,944円(税込)(送料300円)

◆参考書 通材『英語学概説 N30700』 通信教育教材(教材コード000400) 3,100円(税込)
(この教材は市販の『英語学入門』安藤貞雄・澤田治美編(開拓社)と同一です)
他の英語学入門書、概説書など

◆成績評価基準 受講状況(10%)、試験(90%)で評価の予定。6回以上の欠席者は受験資格を失います。(試験は途中退出なしです)

◆縄文・弥生時代の生活を学びましょう

〔考古学概説〕

水曜日2時限

担当者：野中 和夫

◆学修到達目標 縄文人が豊穴住居に住み、定住生活を送る背景—自然環境、生業、住居と集落、墓制、習俗、交易等々について、発掘された資料を通して、その見方や考え方について学ぶ。同様に、弥生時代になり大陸文化の影響のもと、生活がどのように変化したかを学ぶ。水稻栽培の定着、環濠集落、金属器の生産と埋納についても理解することを目標とする。

◆授業方法 講義形式。近年、発掘された注目される遺跡について、適宜紹介する予定。

◆準備学修 ノート、配布プリント、参考書を利用して復習すること。講義内で遺跡・博物館見学等々をすることができないので、遺跡の見方や注目される展示会を紹介するので、見学し、感想および調べたことをレポートにし、提出すること。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 古資料の特性、遺構・遺物の見方	9回目 青森県三内丸山遺跡を解く
2回目 縄文時代の時期区分と自然環境	10回目 弥生時代の概要と水稻栽培
3回目 縄文時代の生業の概要と狩猟活動	11回目 環濠集落の特性
4回目 植物採集と貯蔵・加工	12回目 弥生時代の葬制
5回目 ムラ貝塚とハマ貝塚	13回目 佐賀県吉野ヶ里遺跡と奈良県纏向遺跡
6回目 縄文時代のイエ・ムラ	14回目 島根県荒神谷遺跡・加茂岩倉遺跡の青銅器埋納
7回目 縄文時代の習俗と埋葬	15回目 縄文時代と弥生時代の比較
8回目 縄文時代の交易と専門集団	

◆教科書 [当日資料配付] 当日プリント配布。

◆参考書 丸沼『縄文時代の考古学』全12巻 同成社、『弥生時代の考古学』全9巻 同成社
(上記の本は品切れのため図書館等を利用して下さい)

◆成績評価基準 平常点15% レポート20% 試験65%

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆広告の基本的機能と役割を理解する

(広告論)

水曜日 2時限

担当者：雨宮 史卓

◆学修到達目標 広告及び宣伝、PR、プロモーション等の意義を理解し、マーケティング戦略の中でいかにこれらが機能しているかを学ぶ。また、広告戦略についても考察し、広告が様々な企業組織や生活者との間に存在するコミュニケーション活動であることを理解する。

◆授業方法 ターム前半はテキストに沿いながら広告の基本機能を解説し、後半は必要に応じて資料を配布して企業の広告戦略を解説する。また、各授業の後半で、その日の主要なテーマに関するリアクション・ペーパー（小論文）の提出を求める。

◆準備学修 指定したテキスト及び配布資料をよく読んでること。

◆履修条件 学修効果を上げるために、前期・後期の継続受講が望ましい。

◆授業計画（各 90 分）

1回目 授業の進め方 広告の定義と種類	9回目 広告会社の役割
2回目 マーケティング戦略の一要素としての広告	10回目 消費者行動と広告
3回目 マーケティング計画と広告	11回目 日常品の広告戦略
4回目 プロモーションにおける広告	12回目 高価格製品の広告戦略
5回目 広告の基本的機能と領域	13回目 広告の文化・社会的要素
6回目 製品・サービスと広告	14回目 前期の総復習
7回目 広告戦略の立案と計画	15回目 まとめ
8回目 広告効果の測定	

◆教科書 **通材**『広告論 S30900』 通信教育教材（教材コード 000538）2,150 円（送料込）※学修指導書付き
【当日資料配付】必要に応じて当日、資料を配布する

◆参考書

◆成績評価基準 テスト（40%）、小論文（40%）、平常点（20%） 授業の取り組み、小論文、テストにより総合的に評価します。

◆古典文学作品から文学を学ぶ

(文学)

水曜日3時限

担当者：木村 一

◆学修到達目標 本講座では平安時代の古典文学作品を対象とします。これまで何となく読まされてきた文学作品を大学レベルの読み方をすることで、当時の人々がどのようなことを考え、どのようなことを感じて生きてきたのか、ということを読み解いていきます。実際に対象するのは、和歌と初期の物語です。そこに表現されている人間模様やものの考え方を知ることにより、次の文学研究への基礎を形成するきっかけとなります。

◆授業方法 講義形式で授業を行います。指定テキストの解説とあわせて、実際に文学作品を読んでいきます。ただし、ただ文学作品の内容を捉えることが目的なのではありません。受講生諸君に積極的に思考・考察してもらうために、授業時間内に複数回にわたって小課題を課すことにします。それは、各セクションにおける各自の理解度・把握度を計る目安となるものです。その課題に対応すべく、各自積極的にノートをとること。

◆準備学修 指定されたテキストの内容と流れとを事前に把握しておくこと。授業範囲の専門用語を事前に把握しておくこと。毎回の授業後、各自の講義ノートと指定テキストを基とし、整理復習をしっかりとこなし、次の講義につなげる努力をすること。次回の予告を聞き逃さず、次回の展開に即した指定テキスト（あるいは資料）の内容の把握と作品内容の読み込みを行うこと。

◆履修条件 前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業計画【各 90 分】

1回目 導入、どう進めるか、諸注意	9回目 和歌から物語へ
2回目 和歌とは	10回目 物語とは
3回目 『古今和歌集』ということ	11回目 物語文学の展開
4回目 『古今和歌集』とその時代	12回目 『伊勢物語』入門
5回目 国風暗黒時代ということ	13回目 虚構と実相
6回目 二つの序文	14回目 物語を物語る
7回目 仮名序とその展開	15回目 試験
8回目 撰者の意識とその意図	

◆教科書 **丸沼**『Next 教科書シリーズ日本古典文学』 近藤健史編 弘文堂 2,376 円（税込）（送料 300 円）
[当日資料配付] 当日プリント配布

◆参考書 電子辞書があると便利（電子端末不可）

◆成績評価基準 毎回出席することを前提とし、講義への取り組み・小課題の成果により総合的に評価する。
受講状況（10%）・小課題（10%）・試験（80%）

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆立憲主義の歴史を学ぼう

〔法学 B〕

水曜日 3時限

担当者：武田 茂樹

◆学修到達目標 立憲主義とは、憲法を最高法規として、一切の政治権力が憲法秩序に従って行われることをいいます。この立憲主義が確立したのは近代という時代で、近代立憲主義といいます。

この立憲主義は、現代の法秩序でも、根源的な要であり、現代立憲主義として基本原理となっています。しかし、日本では、一昨年に立憲主義・憲法違反の疑いのある安保法が強行採決されるなど、政権担当者による日本国憲法の平和主義・立憲主義に対するなし崩し的な違憲の対応が顕著になっています。この問題は、私たちにとって非常に重要なことなので、前期の法学の時間は、立憲主義の歴史を学ぶことを通して、憲法の意義を考えて行きたいと思います。

◆授業方法 基本的に講義を中心に授業を進めますが、学生諸君の疑問点になるべく答えるように、質疑応答を積極的に行いたいと思います。なお、講義の最終段階では、学生諸君を中心とした質疑応答の時間をとりたいと思います。法学Bの講義は、前期と後期を通して行います。前期の立憲主義・憲法の理解を前提に、後期では、現代世界における法的問題を考えて行く予定です。前期・後期全体を通して法システムの全体像を理解していただくつもりです。学生諸君の前期・後期の連続的受講を基本的に期待しております。

◆準備学修 前期は、法の歴史を中心に学びますので、その前提として、世界史の勉強をしておくと分かりやすいと思います。講義の中心が、立憲主義の歴史と憲法の理解となるので、憲法に関する本を読んでおくことも良いと思います。講義の参考文献は、講義中に紹介いたします。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 激動の現代世界で法学をどのように学ぶべきか。	9回目 ③資本主義経済の成立と近代法の体系について考える。
2回目 法を歴史的・文化的視点で考える。	10回目 近代法の体系と「六法」について考える。
3回目 ハムラビ法典とはどのようなものか、法と宗教の関係から考える。	11回目 産業革命と近代法の矛盾の顕在化について考える。
4回目 古代ローマ法こそ今日の法の源流であり、その構造と成立理由を考える。	12回目 ヨーロッパによる植民地支配について考える。
5回目 古代ローマ法とキリスト教の関係を考える。	13回目 近代法から現代法への移行について考える。
6回目 古代ローマ法と封建社会の関係を考える。	14回目 現代法の構造について考える。
7回目 ①近代法精神の形成について、近代啓蒙主義思想の役割を考える。	15回目 講義のまとめ
8回目 ②近代市民革命と近代社会の成立について考える。	

◆教科書 なし。

◆参考書 授業中に提示する。

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、試験 (80%)、平常点 (20%) で評価します。

◆英文の基本構造を理解する

★★☆ [英語 E]

水曜日3時限

担当者：北原 安治

◆学修到達目標 五文型に基づき、英文の構造を把握して初学者でも正しい訳ができるようになることを目標とする。
前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業方法 予習段階で英文を8行ほどの間隔でノートに写す。その英文の下にS（主語）、V（動詞）などを書いてもらい、訳を付ける。細かく板書するので訳が書き取れないということはない。予習の段階で必ず本文をノートに写していくこと。各色のマーカーなど持ってくると良い。受講者の速度に合わせるので、かならずしも授業計画どおりにはならない。本文のみやり練習問題はやらない。ノート検査は抜き打ちで行うのでかならずノートは書いておく。ノートはルーズリーフでもよいが、必ず書いた分は全てのページを毎回持つて来ておくこと。ノート無きものは単位を与えない。および板書事項を正確にすべて写していないノートは不可とし単位を与えない。第2章から始める。

◆準備学修 予習段階で英文を8行ほどの間隔でノートに写す。板書のときは英文の下に訳を書くが、ノートの見開きの左のページに英文を写し、右のページに訳をつけても良い。単語を調べてくること。毎回和訳小テストをするので辞書を持ってくること。教科書を毎回持つてくること。教科書を持って来ているか調べる。

◆授業計画 [各 90 分]

1回目 第2章（独1）の英文構造と和訳	9回目 第2章（独1）の英文構造と和訳
2回目 第2章（独1）の英文構造と和訳	10回目 第2章（独1）の英文構造と和訳
3回目 第2章（独1）の英文構造と和訳	11回目 第2章（独1）の英文構造と和訳
4回目 第2章（独1）の英文構造と和訳	12回目 第2章（独1）の英文構造と和訳
5回目 第2章（独1）の英文構造と和訳	13回目 第2章（独1）の英文構造と和訳
6回目 第2章（独1）の英文構造と和訳	14回目 第2章（独1）の英文構造と和訳
7回目 第2章（独1）の英文構造と和訳	15回目 まとめと試験
8回目 第2章（独1）の英文構造と和訳	

◆教科書 **丸沼**『Major Countries in the World～世界の主要国～』 小泉和弘編
鳳書房 (Tel/Fax (03)3483-3723) 1,944 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書 **丸沼**『ロイヤル英文法』 旺文社 1,944 円（税込）（送料 350 円）
この本は講義では使わない。辞書は毎回持つてくること。辞書を持って来ているか検査をする。

◆成績評価基準 試験、実力テストなどの総合評価。皆出席を望む。欠席1回で何点か引く。出席点とノート点は加点しない。出席してノートを取るのは当然のことだからである。抜き打ちの実力テストも行う。板書事項を全部書いているかを調べる。ノート検査をして不備の者は不合格。

◆日本政治の今、これから（1）

〔政治学特殊講義Ⅰ・Ⅱ〕

水曜日3時限

担当者：秋山 和宏

◆学修到達目標 激動する世界に直面してわが国、わが国民も対応を迫られている。こうした問題意識を明らかにするため日本政治の歴史・実態・問題点を理解し、るべき姿を考えることになる。本講においては第二次世界大戦後の政治社会の歴史について学ぶ。

◆授業方法 主に講義形式で進めるが質疑応答を交えたものにしたい。

◆準備学修 ①高等学校の「日本史」「世界史」の教科書で近現代史の流れ、基本事項を学ぶ。
②メディアの提供する近現代史情報をチェックする。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 ガイダンス	9回目 高度成長期（3）高度成長の終焉
2回目 第二次世界大戦後の政治社会（概観）	10回目 55年体制（1）成立
3回目 戦後復興と改革期（1）復興と民主的改革	11回目 55年体制（2）実態
4回目 戦後復興と改革期（2）日本国憲法の制定	12回目 55年体制（3）崩壊
5回目 東西冷戦の進展（1）米ソ対立の激化	13回目 55年体制後の政治（1）
6回目 東西冷戦の進展（2）日米安保体制の成立	14回目 55年体制後の政治（2）
7回目 高度成長期（1）高度成長の要因	15回目 日本政治の現状と展望
8回目 高度成長期（2）高度成長と政治	

◆教科書 使用しない

◆参考書 適宜紹介する

◆成績評価基準 試験（70%）とレポート（30%）で評価

◆英語の音声現象の基礎理解

〔英語音声学〕

水曜日3時限

担当者：森 晴代

◆学修到達目標 1. 日本語との違いを意識し、英語の発音の特徴及び発音記号を理解する。
2. 英語のプロソディの学びを通して、英語らしい発音を追及する。

◆授業方法 英語音声学の観点から前期は母音、強勢、リズムの説明を行います。毎週小テストを課して習得状況を確認します。必要に応じてプリントを配布し補足説明します。8名から10名のグループを作り、発音練習への取り組みやプリント作成を行います。全員参加型の授業を目指します。

◆準備学修 テクストには専門用語が数多くでてきますので、前もって読んでおきましょう。発声器官の名称は、子音の勉強につながります。理解しておきましょう。また、辞典を引く際発音記号を意識する習慣がついていると良いと思います。授業には必ず辞典を持参してください。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 音声学とは？発声器官の名称説明	9回目 音節、語強勢、句強勢の説明、演習
2回目 発音記号に慣れよう！（練習問題配布）及び解答、発音記号の見方	10回目 文強勢の説明、演習
3回目 基本母音の説明	11回目 英語のリズムと日本語のリズムの説明、演習
4回目 英語の母音の分類、前舌母音の説明及び発音練習	12回目 文（短文）の発音練習及び練習問題1
5回目 後舌母音の説明及び発音練習	13回目 文（短文）の発音練習及び練習問題2
6回目 中舌母音の説明及び発音練習	14回目 発音テスト
7回目 二重母音の説明及び発音練習	15回目 中間筆記テスト
8回目 母音、二重母音の演習問題配布及び解答	

◆教科書 丸沼『A Way to Better English Pronunciation—英語の発音、リスニング、スピーキングへの近道』
池田紅玉・森晴代著 英潮社フェニックス 2009年 2,376円（税込）（送料215円）

◆参考書 丸沼『英語の音声を科学する』 川越いつえ著 新装版 CD付 大修館書店 2,592円（税込）（送料300円）
*授業では使用しません。

◆成績評価基準 平常点（20%）、小テスト（20%）、発音テスト（10%）、試験（50%）

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆政治家汪兆銘を通して中国近代史を考える

〔東洋史特講Ⅱ〕

水曜日3時限

担当者：堀井 弘一郎

◆学修到達目標 中国近代史の中に異彩を放った汪兆銘（汪精衛）という人物に光をあて、この人物の生きざまをたどりながら、中国の19世紀末から20世紀半ばまでの時代と社会を読み解く素養を培う。それは同時に近代日中関係史、日中戦争史を学ぶことでもあり、現代の複雑な日中関係を歴史的に理解する知性を高めることにつながる。

◆授業方法 毎回レジュメや資料プリントを用意し、それに沿って講義形式で授業をすすめる。その際、受講者からの質疑や希望者による研究発表等を取り入れていく。また、視聴覚教材を活用したり、史資料にも多く触れたりすることで、歴史への興味・関心を深める。資料収集の方法、卒業論文等の作成方法についても解説する。

◆準備学修 毛沢東や蒋介石などと比べると、汪兆銘という人物は一般には余り知られていない。だが、中国近代史や戦前戦中の日中関係史を考えるとき、欠かすことできないキーパーソンの一人である。事前にこの人物についての予備知識を得ておくことが望ましい。日頃から日中関係に関する本や新聞などに目を通すことを心かけたい。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 ガイダンス（中国近現代史概観）	9回目 アジア太平洋戦争の中の汪政権
2回目 汪兆銘の生まれた「清末」という時代	10回目 「新国民運動」の展開
3回目 日本への留学ブームと汪兆銘	11回目 汪政権下の上海とメディア
4回目 清朝要人暗殺計画と辛亥革命	12回目 汪兆銘の最期と日本
5回目 蒋介石との確執	13回目 受講生（希望者）による発表
6回目 満州事変と汪蔣合作政権の成立	14回目 終戦と「漢奸」裁判
7回目 日中戦争勃発と「傀儡」政権の樹立	15回目 まとめ
8回目 大アジア主義と東亜連盟運動	

◆教科書 指定しない

◆参考書 丸沼『日中戦争と汪兆銘』 小林英夫 吉川弘文館 1,836円（税込）（送料300円）

丸沼『シリーズ中国近現代史③ 革命とナショナリズム』 石川貞浩 岩波新書

885円（税込）（送料215円）

丸沼『汪兆銘政権と新国民運動—動員される民衆—』 堀井弘一郎 創土社 3,456円（税込）（送料350円）

◆成績評価基準 平常点20%、試験80%で評価する。毎回出席することを前提として評価する。

◆諸星大二郎の歴史学

〔歴史学 A〕

水曜日4時限

担当者：渡邊 浩史

◆学修到達目標 漫画家諸星大二郎は『暗黒神話』や妖怪ハンターシリーズなど、歴史学・民俗学・神話学など幅広い学問分野の成果を反映させた作品を発表している。彼の一連の作品を通して歴史学という学問は何かを理解できるようになる。

◆授業方法 講義形式で行う。適宜プリントやDVDなどを使用し、受講生の理解の一助とする。なおシラバスはあくまで予定であり、最新の研究成果を反映させるなどの場合は変更する可能性もある。

◆準備学修 諸星大二郎の作品は最低限読んでおく必要がある。特に『暗黒神話』や『マッドメン』、妖怪ハンターシリーズは必須である。扱う題材は平易に見えるが、内容はかなり難しいと思って受講してほしい。かなり広範な知識を必要とする内容だと覚悟して受講してもらいたい。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 はじめに	9回目 妖怪ハンター
2回目 『暗黒神話』	10回目 妖怪ハンター
3回目 『暗黒神話』	11回目 妖怪ハンター
4回目 『暗黒神話』	12回目 その他の諸星作品
5回目 『マッドメン』	13回目 その他の諸星作品
6回目 『マッドメン』	14回目 その他の諸星作品
7回目 妖怪ハンター	15回目 おわりに
8回目 妖怪ハンター	

◆教科書 **〔当日資料配付〕** 使用しない。適宜授業中に資料プリントを配布する。

◆参考書 授業中に指示する。

◆成績評価基準 平常点20%、試験80%

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆国語学がどういう学問かを知る

〔国語学概論〕

水曜日 4時限

担当者：保科 恵

◆学修到達目標 ひと口に「国語学」と言っても、様々な対象・方法があります。国語学がどういう学問なのかをひと通り見渡すことによって、国語学に対する知識を身につけることを目標とします。

◆授業方法 講義を中心として授業を進めますが、適宜指名してテキストを読んでもらったり、各項目についての小テストを行なったりします。

◆準備学修 特別なことは必要ありませんが、いろいろな国語の現象に対する興味を持っていることが前提です。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 全体的な説明	9回目 音韻（その5）
2回目 序説（その1）	10回目 文字（その1）
3回目 序説（その2）	11回目 文字（その2）
4回目 序説（その3）	12回目 文字（その3）
5回目 音韻（その1）	13回目 文字（その4）
6回目 音韻（その2）	14回目 文字（その5）
7回目 音韻（その3）	15回目 まとめ
8回目 音韻（その4）	

◆教科書 丸沼『国語学要論』 福島邦道 笠間書院 1,512 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 試験 70%。平常点 30%。

◆自我の目覚めがもたらす人物造形へ

〔国文学講義V（近代）〕

水曜日 4時限

担当者：永岡 健右

◆学修到達目標 日本の鎖国社会・身分制度下の近世から明治維新を経て西欧から政治制度・社会制度や文芸思潮の流入、さらにはさまざまの文物を受け入れて日本人の自我意識がめばえていきます。その変革の歴史を日本近代文学で学習します。

◆授業方法 テキストが指定されています。そのテキストに沿って講義方式で進めます。テキストの全 15 章中、前期は 6 章までを予定しています。

◆準備学修 テキスト内容は概説的な把握の目的が中心です。従って個別毎に文庫本等を指定しますので、具体的に作品を読むようにして下さい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 前期授業の進め方とガイダンス	9回目 「小説神髄」の目ざしたもの
2回目 近代日本文学の概要	10回目 「浮雲」の新しさ
3回目 開化期の文学状況	11回目 「舞姫」の問題点について
4回目 前近代人と近代人の意識	12回目 硯友社の作家達
5回目 戯作から実録物へ	13回目 横口一葉について
6回目 小新聞と大新聞	14回目 文学界と北村透谷
7回目 自由民権論と政治小説	15回目 まとめ
8回目 啓蒙小説について	

◆教科書 通材『国文学講義V（近代） M30900』 通信教育教材（教材コード 000094）2,750 円（税込）
※学修指導書付き

◆参考書 なし

◆成績評価基準 試験（80%）小テスト（10%）、レポート（10%）

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆中世の神道論（1）

〔日本思想史Ⅰ〕

水曜日4時限

担当者：島田 健太郎

◆学修到達目標 日本仏教において、「仏」と日本古来の「神」をどう位置付けるかは重要な問題となっていました。この「神」と「仏」の関係をめぐる思想を、中世の仏教者側の著作を中心に検討します。これらを通して、中世の人々の神仏観、またその背後にある日本人のものの考え方について理解を深めるとともに、日本の宗教文化を考える際の1つの視点を獲得することを目標とします。

◆授業方法 プリントとして配布する原典や史料を中心に、講義形式で行います。授業中の質問は大歓迎です。また適宜質問票を配り、そこで出された皆さんのお質問・疑問を授業に反映していくことを考えています。

◆準備学修 授業で扱うであろう神や神社、仏教や神道の専門用語の意味を事前に調べておくと授業がききやすくなります。また授業時には自分が参照できるもの（簡単な辞典や辞書など）を持参しておくと便利です。さらに授業後、授業内容を復習しながら、用語のチェックや問題点・疑問点をまとめておくとよいと思います。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 概説	9回目 天台宗と山王神道（1）
2回目 「カミ」と「仏」	10回目 天台宗と山王神道（2）
3回目 神仏習合と本地垂迹（1）	11回目 天台宗と山王神道（3）
4回目 神仏習合と本地垂迹（2）	12回目 天台宗と山王神道（4）
5回目 伊勢神宮と両部神道	13回目 念仏と神祇—『諸神本懐集』—（1）
6回目 真言宗と両部神道（1）	14回目 念仏と神祇—『諸神本懐集』—（2）
7回目 真言宗と両部神道（2）	15回目 まとめ
8回目 真言宗と両部神道（3）	

◆教科書 **〔当日資料配付〕** 教科書は使用しません、当日プリントを配布します。

◆参考書 授業中、適宜指示します。

◆成績評価基準 試験の成績を基準に、授業への取り組みなどを勘案して総合的に評価します。

◆日本史（古代～中世）に関する基礎的事実の確認をしてみよう 〔日本史概説／日本史概論〕

水曜日4時限

担当者：横山 則孝

◆学修到達目標 我が国の歴史的展開を世界的視野からとらえ、日本史（古代～中世）を政治・経済・社会・文化など、歴史を構成する諸要素を統合して幅広い見方で大きく把握することができるようになります。

◆授業方法 講義形式である。教科書の内容を重視していくが、時間に限りがあるので、時には要点をのべるにとどまる場合もある。またプリントを配布して教科書の記述を補って解説する時もある。

◆準備学修 毎回講義の終了時に次回の内容について簡単にのべることにするので、そのテーマに関する部分について、教科書と高等学校の教科書の記述がどうなっているのか予習しておくとよい。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 日本史の時代区分と日本の旧石器文化	9回目 王朝国家・院政・平氏政権
2回目 縄文時代と弥生文化の時代	10回目 鎌倉幕府の成立
3回目 邪馬台国	11回目 鎌倉幕府の崩壊と建武新政
4回目 倭の五王と古墳文化	12回目 室町幕府の政治の動向
5回目 推古朝の時代	13回目 守護大名から戦国大名へ
6回目 大化革新とその虚構論	14回目 古代文化と中世文化の概論
7回目 律令国家	15回目 まとめ（テスト）
8回目 奈良時代と平安時代の政治	

◆教科書 **〔通材〕『日本史概論 K32200／日本史概説 Q30200』** 通信教育教材（教材コード 000382）
2,550円（送料込）

〈この教材は市販の『概論日本歴史』佐々木潤之介著（吉川弘文館）と同一です〉

◆参考書 『日本史B』高等学校教科書 出版社は問わない。

◆成績評価基準 平常点（小テスト・レポート）20%， 試験 80%

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆近現代日中関係史を学ぶ

〔歴史学 B〕

水曜日 5時限

担当者：堀井 弘一郎

◆学修到達目標 幕末から今日に到るまで近代日本は隣国中国と時に厳しく対峙し、時に友好を深めつつ、複雑な二国間関係を形成してきた。本講座ではそうした歴史的過程と、同時代と共に生きた日中両国民の足跡をたどりながら、確かな歴史的教養をもって日中関係を考え語れるようになることを目標とする（前期はアヘン戦争～満州事変前）。

◆授業方法 毎回レジュメや資料プリントを用意し、それに沿って講義形式で授業をすすめる。その際、受講者からの質疑や希望者による研究発表等を取り入れていく。また、視聴覚教材を活用したり、史資料にも多く触れたりすることで、歴史への興味・関心を深める。資料収集の方法、卒業論文等の作成方法についても解説する。

◆準備学修 「歴史とは現代と過去との対話である」（E・H・カ一）。戦後70年を経た今日だが、日中関係は必ずしも良好な関係とはいえない状態にある。そんな今日こそ、日頃から日本・中国の近現代史、日中関係史に関する書物に親しんだり、時事的問題に関する新聞・雑誌記事を読んで必要に応じて保存したりすることを心がけてほしい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 ガイダンス（日中関係は今…）	9回目 中国人留学生と日本
2回目 中国の近現代史を眺める	10回目 台湾統治50年と現代
3回目 「西洋の衝撃」と日本	11回目 第1次世界大戦と日中両国
4回目 琉球処分と現代	12回目 辛亥革命から「南京の10年」へ
5回目 「からゆきさん」と近代の移民	13回目 受講生（希望者）による研究発表
6回目 大日本帝国憲法とアジア	14回目 「魔都上海」に暮らす日本人
7回目 日清戦争と朝鮮	15回目 まとめ
8回目 日露戦争と中国	

◆教科書 指定しない。

◆参考書 **丸沼**『シリーズ中国近現代史② 近代国家への模索』川島真 岩波新書 885円（税込）（送料215円）

丸沼『シリーズ中国近現代史③ 革命とナショナリズム』石川貞浩 岩波新書 885円（税込）（送料215円）

丸沼『新しい東アジアの近現代史（上・下）』日中韓3国共同歴史編纂委員会編 日本評論社（上）2,700円（税込）、（下）2,700円（税込）（上）+（下）（送料350円）

◆成績評価基準 前期・後期ごとに、平常点20%、試験80%で評価する。毎回出席することを前提として評価する。

講座の選定

時間割

シ開講
（火曜日）
講座表
教材・シ開講
（水曜日）
講座表
教材・シ開講
（木曜日）
講座表
教材・シ開講
（金曜日）
講座表
教材・シ開講
（土曜日）
講座表
教材・

受講及び試験

受講手続

申込
許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

保健体育講義

オーブン受講

胸部X線検査

各種用紙

付
録

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆マンガもアニメも日本の伝統文化だ！

〔文化史〕

水曜日5時限

担当者：渡邊 浩史

◆学修到達目標 現在の日本においてサブカルチャーといわれているマンガ・アニメだが、実はその表現方法や内容は日本の伝統文化の影響を脈々と受け継いでいる。日本の各時代の文化を考察することによって、それが現在のマンガ・アニメにどのように反映しているのかを理解できるようになる。そして、一見過去と断絶しているかのように見える現代の我々の生活が、いかに過去と密接に関わっているのかを理解できるようになる。

◆授業方法 講義形式で行う。適宜プリントやDVDなどを使用し、受講生の理解の一助とする。なおシラバスはあくまで予定であり、最新の研究成果を反映させるなどの場合は変更する可能性もある。

◆準備学修 授業を受ける前に、最低限高校日本史教科書レヴェルの知識はつけておいてほしい。扱う題材は平易に見えるが、内容はかなり難しいと思って受講してほしい。かなり広範な知識を必要とする内容だと覚悟して受講してもらいたい。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 はじめに	9回目 怪異
2回目 古代の文化	10回目 怪異
3回目 古代の文化	11回目 怪異
4回目 縄文・弥生文化	12回目 かぐや姫
5回目 古墳文化	13回目 かぐや姫
6回目 仏教文化	14回目 かぐや姫
7回目 仏教文化	15回目 おわりに
8回目 仏教文化	

◆教科書 **〔当日資料配付〕** 使用しない。適宜授業中に資料プリントを配布する。

◆参考書 授業中に指示する。

◆成績評価基準 平常点20%，試験80%

◆基本的な英語力の底上げ

★★★〔英語 F〕

水曜日5時限

担当者：石川 勝

◆学修到達目標 基本的な文法を理解した上で、易しい英文を読み進めていく。テキストは大学生がヨーロッパで経験した話なので身近に感じられると思われる。

◆授業方法 最初に文法の説明をし、その後でテキストを訳していく。アトランダムに指名し訳してもらうので、必ず指示された個所を全訳しておくこと。2回予習していない場合単位を認めない。

◆準備学修 前の週に指示されたところを全訳しておく。

◆履修条件 なし

◆授業計画〔各90分〕

1回目 ガイダンス	9回目 仮定法
2回目 五文型	10回目 That 節
3回目 五文型続き	11回目 文法の復習
4回目 TO 不定詞	12回目 文法の復習
5回目 完了形	13回目 文法の復習
6回目 現在分詞	14回目 小テスト
7回目 過去分詞	15回目 まとめ
8回目 小テスト	

◆教科書 **丸沼『ジローのヨーロッパ旅行』** 金星堂 1,944円（税込）（送料300円）

◆参考書 授業中に指示する

◆成績評価基準 2回行う小テストの結果で決める。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆古典文学の解釈と継承の礎のために

〔国文学基礎演習〕

水曜日 5時限

オーブン受講：不可 担当者：木村 一

◆学修到達目標 本講座では広く古典文学というくくりで作品を捉えていく。そのジャンルは多岐に渡り、受講者がいかにその作品を捉え、読み込んでいるのかということが問われる。その作品に貫通する時代の感覚を体感すること、文学作品に描かれていることをとおして、その時代に生きた人々のものの見方捉え方を知ることを本講座の主眼とする。本講座は「演習」である。次の「〈本〉演習」へのステップとすべく、読み方・調査・方法・捉え方ができるようになることを目標とする。

◆授業方法 本講座は「演習」である。受講生諸君が主体となり、調査・研究を経て実際に口頭発表を行う。具体的には、講義指定テキストを分割し担当を決めて、読み込んだ上で、どうしてそのような展開・結論になるのか、という理論展開をたどることを主眼とする。担当者の口頭発表と聴衆からの質疑、それに発表者が答えるという討論形式での展開となる。「国文学基礎講義」を受講し終えていることが望ましい。

◆準備学修 受講生各自、口頭発表をするという自覚を持つこと。講義指定テキストに対して、自身の担当箇所をしっかりと読み込み、その内容をしっかりと把握しておく必要がある。さらに、執筆者の言いたいことは何か、問題点はどのようなことか、ということを洗い出しておくこと。口頭発表であるから、レジュメを用意すること。聴衆となる受講生諸君も発表該当箇所のテキストを読み込んで、質問事項を用意しておくこと。

◆履修条件 平成28年度昼間・土曜スクーリング（前期）「国文学基礎演習」との積み重ね不可
前期のみの受講・後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業計画【各90分】

1回目 導入、どうすすめるか 担当者割り当て	9回目 受講生による口頭発表 第4章中古（二）一～三
2回目 デモンストレーション	10回目 受講生による口頭発表 第4章中古（二）四～六
3回目 受講生による口頭発表 第1章古代（一）一～三	11回目 受講生による口頭発表 第5章中世（一）一～二
4回目 受講生による口頭発表 第1章古代（二）四～七	12回目 受講生による口頭発表 第5章中世（一）三～四
5回目 受講生による口頭発表 第2章古代（二）一～二	13回目 受講生による口頭発表 第6章中世（二）一～四
6回目 受講生による口頭発表 第2章古代（二）三～四	14回目 受講生による口頭発表 第6章中世（二）三～八
7回目 受講生による口頭発表 第3章中古（一）一～二	15回目 前期まとめ・総評
8回目 受講生による口頭発表 第3章中古（一）三～四	

◆教科書 丸沼『Next教科書シリーズ日本古典文学』近藤健史編 弘文堂 2,376円（税込）（送料300円）

【当日資料配付】発表レジュメは当日配布

◆参考書 電子辞書があると便利

◆成績評価基準 毎回出席することを前提とし、発表内容70%・質疑応答10%・レポート20%で総合的に評価する。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

【木曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単開位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オーブ 講ン		
					科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件			
1 時 限	AD11	英 語 G	鈴木 ふさ子	1	C10100	英 語 I	×	1 年	・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。			
					C10200	英 語 II						
					C10300	英 語 III	×	2 年				
					C10400	英 語 IV						
	AD12	行 政 学	関根 二三夫	2	L30100	行 政 学	×	2 年				
2 時 限	AD13	東 洋 史 入 門	綿貫 哲郎	2	Q202S0	東 洋 史 入 門	×	2 年				
	AD14	情 報 概 論 A	中村 典裕	2	R32300	情 報 概 論	×	2 年				
	AD15	商 業 政 策	松本 竜一	2	S31000	商 業 政 策	×	2 年				
	AD21	英 語 H	岡田 善明	1	C10100	英 語 I	×	1 年	・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。			
					C10200	英 語 II						
					C10300	英 語 III	×	2 年				
					C10400	英 語 IV						
	AD22	憲 法	名雪 健二	2	K20100	憲 法	×	条件 参 照	・ 法学部のみ 1 学年以上申込可。 ・ 上記以外は 2 学年以上申込可。	×		
	AD23	国文学演習 I ~ VI	近藤 健史	1	M404S0	国文学演習 I	×	3 年	・ 国文学専攻のみ申込可。 ・ I ~ VI のいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。			
					M405S0	国文学演習 II						
					M406S0	国文学演習 III						
					M407S0	国文学演習 IV						
					M408S0	国文学演習 V						
					M409S0	国文学演習 VI						
	AD24	英 米 文 学 概 説	鈴木 ふさ子	2	N20300	英 米 文 学 概 説	×	条件 参 照	・ 英文学専攻のみ 1 学年以 上申込可。 ・ 上記以外は 2 学年以上申 込可。			
	AD25	経 済 学 概 論	陸 亦群	2	R20300	経 済 学 概 論	×	条件 参 照	・ 経済学部のみ 1 学年以 上申込可。 ・ 上記以外は 2 学年以上申 込可。			
	AD26	商 業 史	横山 則孝	2	S32100	商 業 史	×	2 年				

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

【木曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単開位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ プ 講
					科 目 コード	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
3 時 限	AD31	英 語 史	真野 一雄	2	N30300	英 語 史	×	2年		
	AD32	東洋史概説 東洋史概論	高綱 博文	2	Q30300	東洋史概説	×	2年	・文理・経済・商学部のみ申込可。	
					K32300	東洋史概論			・法学部のみ申込可。	
	AD33	日本史演習 I・II	鍋本 由徳	1	Q401S0	日本史演習 I	×	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・I, IIのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
					Q402S0	日本史演習 II				
4 時 限	AD34	経済原論 経済学原論	陸 亦群	2	R20100	経済原論	×	条件 参 照	・経済学部は1学年以上申込可。 ・文理・商学部は2学年以上申込可。	
					L20200	経済学原論			・政治経済学科は1学年以上申込可。 ・法律学科は2学年以上申込可。	
	AD35	現代教職論	古賀 徹	2	T10100	現代教職論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
	AD41	英語基礎 A	小澤 賢司	1	C10600	英語基礎	×	1年	・英文学専攻は申込不可。	
	AD42	西洋思想史 II	中澤 瞳	2	P30600	西洋思想史 II	×	2年		
5 時 限	AD43	日本経済史	飯島 正義	2	R30500	日本経済史	×	2年		
	AD44	教育原論 教育の思想	古賀 徹	2	T10200	教育原論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
					T10300	教育の思想				
	AD51	哲 学 B	中澤 瞳	2	B10700	哲 学	×	1年		
	AD52	西洋史演習 I・II	藤井 信行	1	Q405S0	西洋史演習 I	×	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・I, IIのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
					Q406S0	西洋史演習 II				
5 時 限	AD53	国際経済論	陸 亦群	2	R31100	国際経済論	×	2年		
	AD54	社会科・ 地理歴史科教育法 II	古賀 徹	2	T20600	社会科・ 地理歴史科教育法 II	×	2年	・法学部・哲学専攻・史学専攻・経済学部・商学部のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
	AD55	英語科教育法 III	小澤 賢司	2	T30300	英語科教育法 III	×	2年	・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆童話で学ぶ英語—Oscar Wilde の *House of Pomegranates* を中心に ★★☆ [英語 G]

木曜日 1 時限

担当者：鈴木 ふさ子

◆学修到達目標 英文の正確な把握力を高めることを目標とします。作品の文化や時代背景について理解し、作者の意図を汲むことで作品を深く、多面的に解釈できるようになること、童話にふさわしい表現を翻訳する技法とセンスを身に付けることを目標とします。

◆授業方法 イギリス 19 世紀末の童話を主なテキストとし、音読と翻訳を通して英語の文章を正確に読み取っていきます。単語ひとつの解釈をめぐってディスカッションすることもあります。毎回進んだ範囲から部分訳や作品解釈を確認するテストを行います。

◆準備学修 毎回次に進む範囲を、音読し、ひとつひとつの単語を丁寧に調べて、情景をイメージしながら自分なりの翻訳を作ってきて下さい。また、自分なりに作品の解釈をしてまとめた上で授業に臨んで下さい。

◆授業計画 [各 90 分]

1回目 ガイダンス（授業の内容・進め方など）	9回目 “The Young King” 精読・確認テスト
2回目 “The Star-Child” 精読・確認テスト	10回目 “The Young King” 精読・確認テスト
3回目 “The Star-Child” 精読・確認テスト	11回目 “The Young King” 精読・確認テスト
4回目 “The Star-Child” 精読・確認テスト	12回目 “The Young King” 精読・確認テスト
5回目 “The Star-Child” 精読・確認テスト	13回目 “The Young King” 精読・確認テスト
6回目 “The Star-Child” 精読・確認テスト	14回目 “The Young King” 精読・確認テスト
7回目 “The Star-Child” 精読・確認テスト	15回目 期末試験
8回目 “The Young King” 精読・確認テスト	

◆教科書 『The Complete Short Stories』 Oscar Wilde Oxford World's Classic
<上記の本は、丸沼書店で取り扱っていませんので、Amazon 等で購入してください。>

◆参考書 丸沼『オスカーワイルドの曖昧性』 鈴木ふさ子著 開文社 2,484 円（税込）（送料 350 円）

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、平常点（授業への参加・貢献、予習）30%、確認テスト 30%、最終（期末）試験 40%で評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆行政の制度を中心に学びましょう

〔行政学〕

木曜日 1時限

担当者：関根 二三夫

◆学修到達目標 20世紀に入り顕著になってきた行政の多様化や複雑化に伴う行政国家化は、議会政治との軋轢を生じさせることになりました。本来的に政策の執行を扱うとされた行政が、政策の立案や政策の決定に大きな影響力を持つことになって、議会政治との関係が問題になっています。行政の制度面を中心に、行政が国家と如何なる関係にあるべきかを学びたいと思います。

◆授業方法 講義形式で行います。講義においては、行政に関する受講生の問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては、予習や復習が必要になります。

◆準備学修 内閣や大統領を頂点とする行政部で、どのような事が行われているか、また内閣や大統領と議会との関係はどうのようになっているのかなどをメディアの情報を参考に考え、各単元、テキストを参考に2時間程度の予習と2時間程度の復習が必要になります。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目	講義全体の概要説明 ※講義の内容について項目ごとに説明します。	9回目	現代国家と行政 ※立法国家から行政国家への変遷を中心に説明します。
2回目	行政の概念 ※主要な概念を説明します。	10回目	行政組織 ※組織原則や部門化を説明します。
3回目	行政学の変遷 ※ドイツ官房学との関係を説明します。	11回目	行政組織 ※ラインとスタッフについて説明します。
4回目	ロレンツ・フォン・シュタインの行政学 ※歴史的背景や内容を説明します。	12回目	官僚制 ※概念や特徴を説明します。
5回目	科学的管理法と行政学 ※アメリカ行政学を中心に説明します。	13回目	官僚制 ※発達の根拠を説明します。
6回目	政治と行政との関係 ※二分論、連続論、関連論を説明します。	14回目	公務員制 ※スパイルズシステムとメリットシステムを説明します。
7回目	国家概念と国家機関 ※国家と機関との関係を説明します。	15回目	講義内容の総括
8回目	国家成立の要素 ※三要素を中心に説明します。		

◆教科書 通材『行政学 L30100』通信教育教材（教材コード 000084）2,750円（送料込）

※行政学の沿革、現代国家と行政、行政組織、官僚制と公務員制、行政管理、稟議制度、情報公開や行政相談など行政全般に関して広範に解説しています。

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 試験 70%、平常点 30% ※試験同様、質問や理解度テストへの解答等も重視しますので、受講に際しては、欠席しないように注意して下さい。

◆東洋史研究のインプットとアウトプットの基礎

〔東洋史入門〕

木曜日 1 時限

担当者：綿貫 哲郎

◆学修到達目標 主に東洋史で卒業論文を書く学生が知識や技能などを会得することで、卒業論文やレポートをアウトプットするための基礎能力が身につくようになります。また東洋史関連の工具書・概説書・論文や研究施設・図書館などの理解を通じて、受講生自身が最新の研究成果へアプローチできるようになります。なお、前期のみの受講も可能ですが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましいです。

◆授業方法 以下の授業計画（学生の理解度により変更あり）に沿って、講義及び実習形式でおこないます。講義の理解を深めるため、視覚教材を適宜併用します。授業時間内外でレポートを課す予定です。

◆準備学修 予習よりむしろ復習に重点をおいてください。翌週の授業は前週の内容理解なしには達成が難しいからです。また授業で工具書、ネット検索の方法、文献目録の作成例などを紹介しますが、これはごく一部にすぎず全てではありません。授業を通じ受講生自身で自らのパターンを確立してください。

◆履修条件 平成 27 年度 28 年度昼間・土曜スクーリング（前期）「東洋史入門」との積み重ね不可

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 ガイダンス、導入	9回目 「東洋史」関連の工具書・概説書
2回目 「東洋史」とは何か	10回目 「東洋史」の卒業論文とインターネット
3回目 近代日本のナショナリズムと「東洋」	11回目 「私語り」からの脱却
4回目 近代歴史学と「東洋史」	12回目 文献目録の表記（1）
5回目 内藤湖南と白鳥庫吉	13回目 文献目録の表記（2）
6回目 那珂通世と「モンゴル史」研究	14回目 文献目録の表記（3）
7回目 「レポート」と「卒業論文」の違い	15回目 まとめ、試験
8回目 卒業論文執筆への流れ	

◆教科書 〔当日資料配付〕 当日プリントを配布します。

◆参考書 授業中、適宜指示します。

◆成績評価基準 試験（60%）・平常点（40%）。毎回出席することを前提として総合的に評価します。

◆情報機器を用いた文字情報処理と自己表現

〔情報概論 A〕

木曜日 1 時限

担当者：中村 典裕

◆学修到達目標 現代社会においては、知的活動を行う上で、情報機器の利用技術を習得していることは基本的な素養である。この科目では文字情報の活用の基本となる Microsoft Word の使いこなしを習得する。また自己表現技術の基本として PowerPoint についても学び、成果のミニ発表会も実施する。これによって、知的活動を行う基礎としての情報機器の使いこなし技術の習得を目指す。

◆授業方法 本講義の中では、講義形式と演習の両方を行う。講義形式ではコンピュータの構造、歴史、情報倫理などについて学ぶ。演習ではコンピュータを実際に操作しながら、必要な技術の習得を目指す。ほぼ毎回課題を課し提出する。

◆準備学修 現在の学生はコンピュータやインターネットには日常的に接している事と思われる。しかし、その原理や歴史的背景を理解している人はわずかであろう。本講義に望むにあたっては、テレビや新聞などの情報関連報道に关心を持つと同時に、所有している機機のマニュアルを一読するなどの学習が望まれる。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 ガイダンス・インターネットの基礎	9回目 Word 活用6、図形の作成
2回目 コンピュータ発達の歴史	10回目 Word 活用7、文章レイアウト
3回目 キーボード入力とタイピング演習	11回目 Word 活用8、索引、脚注、目次
4回目 Microsoft Word の基礎	12回目 PowerPoint 入門
5回目 Word 活用1、コピー & ペースト	13回目 PowerPoint 応用
6回目 Word 活用2、ワードアート・書式	14回目 PowerPoint 実践演習（ミニ発表会）
7回目 Word 活用3、表の作成	15回目 最終課題
8回目 Word 活用4、社内文書・社外文書	

◆教科書 〔当日資料配付〕 原則として、当日に配付。また、ポータルサイトからダウンロード可能

◆参考書 授業時に指示する。

◆成績評価基準 平常点（30%）、平常課題（30%）、最終課題レポート（40%）。毎回出席する事を前提として評価する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆商業の役割と基礎知識を理解する

〔商業政策〕

木曜日 1 時限

担当者：松本 竜一

◆学修到達目標 さまざまな商品・サービスがあふれる現代において、商業が捉えなくてはならない射程も広範になっている。そのような現況に即した商業政策を検討するためには、商業関連分野である流通やマーケティングなどの知識や技術を習得する事が肝要となる。この講義では、商業の役割について理解し、基礎的な内容や特徴を学びながら、幅広い知識習得を目指す。また、課題を通じて、知識の応用も行えるようにすることが狙いである。

◆授業方法 原則として、配布資料とパワーポイントによる講義形式で行う。講義前半では各テーマに沿った内容や、キーワードについて配布資料を活用して学んでいく。講義後半では当日の講義テーマに関連した内容や、それを軸に検討すべき課題を設定し、小論文の作成を行う。

◆準備学修 シラバスに記載してある各テーマについて検討しておく。

講義内で課題の提出を求めることがあるので、さまざまな事柄に関心を持ち、情報収集を心がけ、その準備をしておく。

◆履修条件 学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 イントロダクション	9回目 製品政策
2回目 商業とは何か	10回目 価格政策
3回目 商業の生成	11回目 流通政策
4回目 商業と流通の関係	12回目 プロモーション政策
5回目 流通の社会的役割	13回目 商業政策の展開
6回目 流通機能	14回目 総括、質疑応答
7回目 商業とマーケティングの関係	15回目 テスト
8回目 マーケティングの基本枠組み	

◆教科書 [当日資料配付] 当日プリント配布。

◆参考書 必要に応じて紹介する。

◆成績評価基準 テスト (40%)、講義内の課題 (40%)、平常点 (20%) で評価する。テスト、講義内の課題（小論文）では、学修の成果を確認する。平常点は、講義への取り組みを評価する。これらを総合的に考慮し成績評価を行う。

◆英語的発想表現習得

★★☆〔英語 H〕

木曜日 2 時限

担当者：岡田 善明

◆学修到達目標 対照言語学の理論から主観的な日本語と客観的な英語の表現構造の違いを学び、客観的な英語の表現能力を修得する。

◆授業方法 『英語教育の精神と実践』第 11 章「日本語と英語の表現構造の比較」をテキストに、主観的な日本語を客観的な英語に翻訳する練習を行い、英語の生きた表現能力を身に着ける。

◆準備学修 『英語教育の精神と実践』第 11 章「日本語と英語の表現構造の比較」を基に、初回の授業で渡す英訳練習問題を予習として行う。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 オリエンテーション	9回目 問題演習
2回目 1. 全体と個体	10回目 5. 受身表現と能動表現
3回目 問題演習	11回目 問題演習
4回目 2. 主観言語と客観言語	12回目 6. 人間中心言語と個体中心言語
5回目 問題演習	13回目 問題演習
6回目 3. アナログ言語とデジタル言語	14回目 「日本語と英語の表現構造比較」まとめ
7回目 問題演習	15回目 試験
8回目 4. 自動詞表現と他動詞表現	

◆教科書 [丸沼]『英語教育の精神と実践』 岡田善明 春風社 1,944 円（税込）（送料 300 円）
[当日資料配付] 英訳演習問題集

◆参考書 スクーリングで紹介

◆成績評価基準 試験を基本に、スクーリングの問題演習等も加味して評価する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆憲法を考える

〔憲法〕

木曜日2時限

オーブン受講：不可 担当者：名雪 健二

◆学修到達目標 憲法は、国家の在り方を規定した基本法である。したがって、憲法を知ることは、われわれが国家生活をしていく上で極めて重要である。

憲法を学ぶことで、憲法とは何かを知ることができ、また、憲法の規範論理的構造を理解することで、現代の複雑な憲法現象を統一的に、かつ、原理的にとらえることができる。

◆授業方法 憲法の解釈論が中心となる。また、生きた憲法を理解するために、判例を取り上げる。そのための資料として、授業に関連する判例を配布する。

◆準備学修 授業計画が1回から15回まで記載されているので、授業を理解する前提として、教科書をよく読んでおくこと。授業の範囲内における専門用語については、法学（法律学）辞典を引き、その意味を正確に理解しておくこと。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 ガイダンス、憲法の概念、憲法の分類	9回目 信教の自由
2回目 日本国憲法制定の法理、日本国憲法の構造	10回目 学問の自由
3回目 憲法の基本原理、天皇	11回目 表現の自由
4回目 天皇、人権総論	12回目 表現の自由、経済的自由
5回目 人権総論	13回目 経済的自由、人身の自由
6回目 人権総論	14回目 社会権
7回目 法の下の平等	15回目 国務請求権、参政権、前期の総括
8回目 法の下の平等、思想および良心の自由	

◆教科書 〔丸沼〕『日本国憲法』 名雪健二 有信堂 3,780円（税込）（送料350円）

◆参考書 〔丸沼〕『三訂日本国憲法要論』 廣田健次 南窓社 3,497円（税込）（送料350円）

〔丸沼〕『憲法第6版』 芦部信喜・高橋和之補訂 岩波書店 3,348円（税込）（送料350円）

◆成績評価基準 授業態度・小テスト（2回）・スクーリングの最終試験により総合的に判断する。

◆宮沢賢治と災害

〔国文学演習I～VI〕

木曜日2時限

担当者：近藤 健史

◆学修到達目標 災害時における宮沢賢治作品の受容について学ぶ。災害時における文学や人間の役割について考えることを到達目標とする。

◆授業方法 受講生をグループ分けし、テーマを決め、調査・研究した結果を口頭発表する形式。討論することで、各自の理解を深めるという方法をとる。

◆準備学修 災害と文学との関わりや、最近の災害について学んでおいて欲しい。

◆履修条件 なし

◆授業計画〔各90分〕

1回目 宮沢賢治入門	9回目 調査（4）
2回目 映像による宮沢賢治	10回目 発表と討論
3回目 東日本大震災と賢治	11回目 発表と討論
4回目 グループ分けとテーマ設定	12回目 発表と討論
5回目 災害時における賢治作品の受容	13回目 発表と討論
6回目 調査（1）	14回目 発表と討論
7回目 調査（2）	15回目 まとめ、リポート提出
8回目 調査（3）	

◆教科書 〔当日資料配付〕

◆参考書 〔丸沼〕『大変を生きる—日本の災害と文学』 小山鉄郎 作品社 2015年 2,808円（税込）（送料350円）

◆成績評価基準 発表70%，リポート20%，質疑応答10%

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆イギリス文学に親しむ—ゴシック小説から後期ロマン派まで【英米文学概説】

木曜日 2時限

担当者：鈴木 ふさ子

◆学修到達目標 まず、扱う作家とその作品の概要の知識を身につけることを目標とします。さらに、たとえばゴシック小説、後期ロマン派、児童文学、世紀末のデカダンス、モダニズムなどの傾向を把握します。最終的にはそれぞれの作家や作品の特徴を把握し、多面的に作品を解釈できる視点を持てるようになることを目標とします。

◆授業方法 二回目以降のクラスでそれぞれのテーマを代表する作家と文学作品の概要を学び、作品の一部を原文で読む。作品によっては全体を映像などで鑑賞する。具体的にはテキストに沿って作家と作品についての基本情報を学び、プリントで作品の重要な部分を味わい、映像を用いて全体像を把握する。作品鑑賞後はアクションペーパーを書いていただくこともあります。

◆準備学修 テーマ別に作家、作品を扱う予定なので、テキストの該当部分を読み、その作家や作品や文学用語について不明な点は自分なりに『英米文学事典』などにあたり、調べておくこと。

◆授業計画【各 90 分】

1回目 ガイダンス (授業の内容・進め方など)	9回目 4. 前期ロマン派 William Wordsworth
2回目 1. イギリス小説の誕生 Samuel Richardson	10回目 Samuel Taylor Coleridge, William Blake
3回目 Henry Fielding, Laurence Sterne	11回目 5. 後期ロマン派 George Gordon Byron
4回目 2. ゴシック小説の系譜 Horace Walpole	12回目 John Keats, Percy Bysshe Shelley
5回目 William Beckford, Matthew Gregory Lewis	13回目 6. イギリス隨筆の白眉 Charles Lamb
6回目 Mary Shelley, Charles Robert Maturin	14回目 前期の総まとめ
7回目 3. 女性と結婚 Jane Austen	15回目 期末試験
8回目 4. ジョンソン博士 Samuel Johnson, James Boswell	

◆教科書 四沼『たのしく読めるイギリス文学—作品ガイド 150』ミネルヴァ書房 3,024 円 (税込) (送料 350 円)

◆参考書 四沼『英語文学事典』ミネルヴァ書房 4,860 円 (税込) (送料 460 円)

◆成績評価基準 授業への取り組み、積極性 (20%)、アクションペーパー (20%)、筆記試験 (60%) で評価します。
※無欠席者のみを成績評価の対象とします

◆経済学入門（ミクロ編）

木曜日2時限

〔経済学概論〕

担当者：陸 亦群

◆学修到達目標 この講義は体系的な学問としての経済学を初めて学ぶことを前提に、入門編として位置付けして、ミクロ経済学の理論と方法、消費者行動、生産者行動ならびに市場の効率性の4つの部分から構築されている。この講義では、ミクロ経済学における必要な「基礎知識」、「経済学的な考え方」、「分析手法」を習得することが目標となる。

◆授業方法 本講義は教材の内容を中心に原則として板書で授業を進める。必要に応じてパワーポイントを使用して講義関連資料および時事経済関連の新聞・雑誌記事等を資料として配布し解説する。初步的な説明を重視し無味乾燥な解説を避けて、できるだけ具体例から導入して分かりやすく講義するように心がけている。

◆準備学修 授業計画にあるテーマに関連する教材内容を講義前に読み通し、講義終了後にノートを整理し演習問題を解き学習内容を復習すること。

◆履修条件 前期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 ガイダンス	9回目 消費者行動（1）
2回目 経済学の基本問題と経済学の課題（1）	10回目 消費者行動（2）
3回目 経済学の基本問題と経済学の課題（2）	11回目 消費者行動（3）
4回目 経済学の基本問題と経済学の課題（3）	12回目 生産者行動（1）
5回目 ミクロ経済学の理論と方法（1）	13回目 生産者行動（2）
6回目 ミクロ経済学の理論と方法（2）	14回目 競争市場均衡と効率性
7回目 市場機構と需要・供給（1）	15回目 講義のまとめ
8回目 市場機構と需要・供給（2）	

◆教科書 丸沼『Next教科書シリーズ 経済学入門』 山口正春・楠谷清編 弘文堂 2015
2,160円（税込）（送料300円）

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 定期試験80%、講義態度（出席）20%。基礎理論を身に付けているかを判定する。

◆歴史の中に商業を見る

木曜日2時限

〔商業史〕

担当者：横山 則孝

◆学修到達目標 商学に関連する学問を学ぶにあたって、ひととおり商業の歴史にも通じておくことは必要であろう。そこで商業の歴史的展開についての概要の理解を深める。

◆授業方法 講義形式で進めていくが、必要に応じて「史料」の読みもおこないたいと思っているので、その際には受講生の皆さんに読んでもらうことも考えている。

◆準備学修 高等学校の教科書「日本史B」「世界史B」の中に登場する商業関連の用語をひろっておいてほしい。

◆履修条件 なし

◆授業計画〔各90分〕

1回目 商業史とは	9回目 幕藩社会と商業
2回目 人間社会における商業の発生	10回目 近世における交通の発達
3回目 古代・中世における商業（西洋）	11回目 度量衡の整備
4回目 日本古代における商業	12回目 近世の貨幣制度
5回目 律令国家と商業	13回目 近世初期の豪商
6回目 東市と西市	14回目 近世初期特権門閥商人
7回目 店舗商業の出現	15回目 まとめ（テスト）
8回目 中世の商業	

◆教科書 通材『商業史 S32100』 通信教育教材（教材コード000197）3,950円（送料込）
〈この教材は市販の『日本商業史』藤田真一郎他著（有斐閣）と同一です〉

◆参考書

◆成績評価基準 平常点20% 試験80%

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語の過去・現在そして未来は？

〔英語史〕

木曜日3時限

担当者：真野 一雄

◆学修到達目標 英文の読解力を高めるとともに、英語がどのような発達・変化を遂げて今日の姿になったか、歴史的な流れの基礎的な知識を修得する。過去の歴史を振り返り、英語の未来の姿を想像してみましょう。

◆授業方法 テキスト第1章「英語の発達」を、『学習指導書』を併用しながら、読む予定です。テキストは私達にとって必要な箇所を重点的に読みます。なお、試験は途中退出なしで実施します。

◆準備学修 毎回、テキスト（英文）を読み、『学習指導書』の問の解答を用意しておいてください。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 インド・ヨーロッパ語族（1）	9回目 中英語（1）
2回目 インド・ヨーロッパ語族（2）	10回目 中英語（2）
3回目 インド・ヨーロッパ語族（3）	11回目 中英語（3）
4回目 ゲルマン語派（1）	12回目 近代英語（1）
5回目 ゲルマン語派（2）	13回目 近代英語（2）
6回目 古英語（1）	14回目 近代英語（3）
7回目 古英語（2）	15回目 試験+その解説
8回目 古英語（3）	

◆教科書 通材『英語史 N30300』 通信教育教材（教材コード 000117）2,650円（送料込）※学修指導書付き

◆参考書 丸沼『英語の歴史—過去から未来への物語』 寺澤盾著 中公新書 1971 842円（税込）（送料215円）

丸沼『英語の歴史』 中尾俊夫著 講談社現代新書 958 799円（税込）（送料215円）
（※自学用で、授業中に参照することはありません。）

◆成績評価基準 受講状況（10%）、試験（90%）で評価の予定。6回以上の欠席者は受験資格を失います。（試験は途中退出なしです）

◆中華帝国の「遺産」と「伝統」を考える

〔東洋史概説／東洋史概論〕

木曜日3時限

担当者：高綱 博文

◆学修到達目標 中国4000年の歴史の中で、20世紀の革命、戦争、近代化の中で何が変わり、何が生まれたのか、そして今なお残る中華帝国の「遺産」と「伝統」とは何かについて考える。

◆授業方法 中華帝国の歴史と社会を概観し、映像資料を視聴しながらビジュアルに中国史を物語る。

◆準備学修 下記の参考文献を予め学習しておくことが望ましい。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 中国を見る視点	9回目 中華帝国の国際関係
2回目 中国の概観（1）地理と風土	10回目 中華帝国の皇帝
3回目 中国の概観（2）文明と民族	11回目 中華帝国の官僚（1）
4回目 中国の歴史書	12回目 中華帝国の官僚（2）
5回目 中華文明（映像視聴）	13回目 中国の農民と反乱
6回目 中華帝国の誕生（映像視聴）	14回目 中華帝国の宗教
7回目 中華帝国の政治システム（1）	15回目 まとめ
8回目 中華帝国の政治システム（2）	

◆教科書 授業時間中に適宜、資料を配布します。

◆参考書 通材『東洋史概説 Q30300』 通信教育教材（教材コード 000523）1,850円（送料込）
※学修指導書付き

◆成績評価基準 試験（50%）、リポート（50%）。毎回出席することを前提として評価します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆卒論を書くための基礎技術（史料編）

〔日本史演習Ⅰ・Ⅱ〕

木曜日3時限

担当者：鍋本 由徳

◆学修到達目標 史学専攻生に必要な技能に史料読解と論文作成があります。史料は、読んで訳すだけではなく、「読解」が必要です。本演習では、課題設定・作業・報告を通して、近世史料の読解に必要な知識・技術、卒論に向かう姿勢の修得をめざします。学修効果を高めるため、後期継続受講が望ましい。

◆授業方法 個人作業とグループワークの併用です。第14回にて最終報告（レジュメ作成と口頭報告）をおこないます。なお、課題史料の候補については初日に配布します。

◆準備学修 授業時間だけでは絶対的に学修時間が不足します。事前学修を前提に作業を進めていきますので、必ず学修シートを記入し、準備を整えた上で授業に参加してください。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 日本史演習の計画と到達目標	9回目 史料を使って実証してみよう
2回目 古文書読解入門（基本図書の紹介）	10回目 報告のアウトラインを考えてみよう
3回目 古文書読解入門（読み下し基礎）	11回目 報告内容の検討と修正をしてみよう
4回目 課題史料からテーマを考えよう	12回目 報告資料（レジュメ）を作ってみよう
5回目 課題史料からテーマを決定しよう	13回目 報告内容・資料を最終調整しよう
6回目 情報カードの作成法を学ぼう	14回目 課題発表会（各班）／課題提出（個人）
7回目 情報カードを作成してみよう	15回目 発表の全体講評と振り返り
8回目 情報カードを整理・選択してみよう	

◆教科書 **〔当日資料配付〕** 初日に課題史料を配布（隨時、参考プリントを追加します）

◆参考書 **丸沼**『日本史を学ぶための古文書・古記録の訓読法』 苓米一志著 吉川弘文館
1,836円（税込）（送料300円） ※購入義務はありません
丸沼『ステップアップ古文書の読み解き方』 天野清文他著 吉川弘文館
2,592円（税込）（送料300円） ※購入義務はありません

◆成績評価基準 授業内グループワーク参加度（80%）、最終報告参加度（20%）の総合評価 ※全回出席を前提とします。

◆ミクロ経済学の基礎

〔経済原論／経済学原論〕

木曜日3時限

担当者：陸 亦群

◆学修到達目標 ミクロ経済学において、完全競争市場の下では最も効率的な資源配分が達成されることを学び、「市場の失敗」を生む諸要因を中心に学んで、市場機構の限界を認識すると同時に、それをどのように克服していくかについての理解を深める。ミクロ経済学を通じ、経済学の「基礎知識」を身につけ、その中で「経済学的な考え方」と「分析手法」を養い、応用・展開科目を学ぶ土台を築くことを目標とする。

◆授業方法 本講義は教材の内容を中心に原則として板書で授業を進める。必要に応じてパワーポイントを使用して講義関連資料および時事経済関連の新聞・雑誌記事等を資料として配布し解説する。初步的な説明を重視し無味乾燥な解説を避けて、できるだけ具体例から導入して分かりやすく講義するように心がけている。

◆準備学修 経済学概論、経済学の何れかの科目を履修済みの上、本講義を受講することをお勧めする。授業計画にあるテーマに関連する教材内容を講義前に読み通し、講義終了後にノートを整理し演習問題を解き学習内容を復習すること。

◆履修条件 前期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 ガイダンス	9回目 最適生産の決定
2回目 ミクロ経済学とは何か	10回目 完全競争市場の均衡と効率性（1）
3回目 市場機構と需要・供給	11回目 完全競争市場の均衡と効率性（2）
4回目 消費の理論（1）	12回目 不完全競争市場と独占
5回目 消費の理論（2）	13回目 寡占と独占的競争
6回目 消費理論の応用と拡張	14回目 外部性、不確実性と不完全情報
7回目 企業行動と生産関数	15回目 講義のまとめ
8回目 企業行動と費用	

◆教科書 **丸沼**『入門ミクロ経済学』第2版 井堀利宏 新世社 3,186円（税込）（送料350円）

◆参考書 **丸沼**『ミクロ経済学 第3版』 西村和雄 岩波書店 3,024円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 定期試験80%、講義態度（出席）20%。基礎理論を身に付けているかを判定する。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆教師としての考え方

木曜日 3時限

〔現代教職論〕

担当者：古賀 徹

◆学修到達目標 教職の意義、教員の資質、及び教員の役割、教員の職務内容（服務）、等に関する理解を深めることをねらいとする。自らの教職者としての適性を問い合わせ、教員に必要なものとは何かを考え深めることとする。現代の教育の現実的問題に焦点をあてて考察していく。

◆授業方法 講義形式を中心とするが、アクティブラーニング型の授業方式もとりいれる。活動・学習ごとにワークシート（ミニレポート）を書くこととそのフィードバックにより、さらに学習効果があがるよう試みる。

◆準備学修 この授業では、教員養成の段階で学んでおくべき事項や学校現場で直面する課題を《題材》としてとりあげ、諸々の課題に対して“教員としてどのように考えるのか”という意識・心得をつくりあげられるようにするのがねらいです。授業以外にも、様々な教育問題、教育に関する話題・情報について関心をもち、のぞんでください。4回目までに、各々過去に受けた教育から判断できる「教師に必要とされる能力」について考え、ノート等に記し、発言の準備をしておくこと。9回目までの内容では「教師としてどのように動くべきか」という判断力について考えていくので、事前に様々なケースを想定してシミュレーションしておくこと。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 教職を履修する意味（学習指導・生活指導）	9回目 最近の子ども事情に関する総括的ロールプレイ
2回目 教師の他者理解能力	10回目 教師観・教員養成の歴史的変遷（近代以降）
3回目 教師の一日・教師の成長	11回目 諸外国の教師養成のしくみ
4回目 理想の教師とは？（グループワーク）	12回目 法律上の教師（教員）
5回目 仮想・教職員会議（ロールプレイ）	13回目 教員の研修（向上するための現職教育）
6回目 最近の子ども事情（非行）	14回目 教育実習で求められる教員像
7回目 最近の子ども事情（いじめ）	15回目 現場で求められる力とは？
8回目 最近の子ども事情（不登校）	

◆教科書 [当日資料配付] 資料・レジュメを配布する。

◆参考書 授業中に指示する。適宜に資料・レジュメを配布する。

◆成績評価基準 この授業の評価は、授業への参加（グループ学習含む）、提出物・課題、試験成績の総合的評価とする。出席状況の悪いもの、課題未提出の場合は評価を行なわない。

◆英語の基礎を徹底的に学ぶ 品詞編

★★★〔英語基礎 A〕

木曜日4時限

担当者：小澤 賢司

◆学修到達目標 本授業では、今後の英語学修の土台となる「基礎・基本」をしっかりと学ぶことを目標としています。いかなる学修においても「基礎・基本」はとても重要です。これを疎かにするとその後の「伸び」はあまり期待できません。本授業で扱う内容は中学卒業程度の文法事項、及び英文ですが、それらは決して「楽」や「易」とイコールではありません。この点には十分留意して学修に臨んでください。前期に当たる本授業では、英語の「品詞」を中心に学修していきます。

【本授業は昼間（後期）開講予定の「英語基礎－英語の基礎を徹底的に学ぶ 文法編－」と併せて受講することが望ましい】

◆授業方法 授業計画にある品詞を1つ1つ丁寧に解説し、それらが用いられた英文とともに学修することで適切な理解向上を図ります。なお、受講者の様子（理解度）を見ながら授業を進めていきますので、以下の授業計画はあくまで「目標」とお考えください。

◆準備学修 基本的に「予習」の必要はありません。その代わり、「復習」を「徹底して」行ってきてください。また、毎授業始めには復習テストを行います。

◆授業計画〔各90分〕

ガイダンス 1回目 「品詞」と「文法」 ※1回目より内容に入ります（欠席しないように）	9回目 辞書に関するあの話この話
2回目 4大品詞の確認 「動名詞」	10回目 「接続詞」
3回目 「前置詞」	11回目 「関係代名詞」 その1
4回目 「不定詞」（名詞的用法） 「不定詞」 vs. 「動名詞」	12回目 「関係代名詞」 その2
5回目 「不定詞」（形容詞的用法） 「不定詞」（副詞的用法）	13回目 「助動詞」
6回目 「分詞」	14回目 これまでの復習（予備日）
7回目 「分詞」 vs. 「動名詞」	15回目 テスト
8回目 「不定詞」の応用	

◆教科書 当日資料配付 適宜、プリントを配布します。

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 授業への取り組み、及びテストにより総合的に評価します。

※毎授業始めに復習テストを行いますので、遅刻をしないよう注意してください。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆近代以降の西洋哲学の歴史

〔西洋思想史Ⅱ〕

木曜日 4 時限

担当者：中澤 瞳

◆学修到達目標 本講義の目標は、近代から現代にかけての西洋における哲学思想の展開を理解することである。

◆授業方法 講義を主体として、資料プリントを読み進めつつ、まとめていく。授業の進行具合によっては、授業計画に記載した内容に変更が生じる場合がある。その際は、随時授業中に指示する。

◆準備学修 準備、復習ともに、哲学史の入門書を読むことは理解を深めるのに役立つ。参考文献は授業ごとに紹介する。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 ガイダンス他	9回目 経験主義3
2回目 合理主義1	10回目 経験主義4
3回目 合理主義2	11回目 批判哲学1
4回目 合理主義3	12回目 批判哲学2
5回目 合理主義4	13回目 批判哲学3
6回目 合理主義5	14回目 批判哲学4
7回目 経験主義1	15回目 まとめ・筆記試験
8回目 経験主義2	

◆教科書 **〔当日資料配付〕** 1回目のガイダンス時に、次週使用する資料プリントを配布。◆参考書 **通材** 『西洋思想史Ⅱ P30600』 通信教育教材（教材コード 000134）1,800 円（送料込）

◆成績評価基準 授業への参加、貢献（40%）、試験（60%）により総合的に評価する。なお、毎回出席することを前提として評価する。

◆戦前日本資本主義の構造的特徴と問題点

〔日本経済史〕

木曜日 4 時限

担当者：飯島 正義

◆学修到達目標 1900 年代初頭から第2次世界大戦までの日本経済の構造的特徴とその問題点について理解を深めることができます。

◆授業方法 講義形式。授業は、当日配布するプリントを中心に進めていくが、授業時における理解を確認するために確認プリント等を授業中に行う予定です。

◆準備学修 通信教材で関係する部分を予め読んでおくと理解がさらに深まると思われます。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 確立期日本資本主義の産業構造	9回目 昭和恐慌と高橋財政
2回目 確立期日本資本主義の貿易構造	10回目 戦時経済体制の構築
3回目 日清・日露の「戦後経営」と日本経済	11回目 戦時経済体制の崩壊（1） ・統制経済の再編・強化
4回目 産業の発展と財閥	12回目 戦時経済体制の崩壊（2） ・戦争経済力の崩壊
5回目 第1次大戦と日本経済	13回目 戦時経済体制の帰結
6回目 地主制の後退	14回目 戦時経済体制と戦後の日本経済
7回目 1920 年代の日本経済	15回目 総まとめと筆記試験
8回目 金解禁と井上財政	

◆教科書 **〔当日資料配付〕** 教科書は使用しません。当日授業資料を配布します。◆参考書 **通材** 『日本経済史 R30500』 通信教育教材（教材コード 000416）3,550 円（送料込）

〈この教材は市販の『日本経済史 1600-2009—歴史に読む現代—』浜野潔、中村宗悦著（慶應義塾大学出版会）と同一です〉

内沼『概説日本経済史 近現代（第3版）』 三和良一 東京大学出版会 2012 年
2,700 円（税込）（送料 300 円）

◆成績評価基準 平常点（取組み・確認プリント等）：40%，筆記試験：60%

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆教育の Identity 形成過程を学ぶ

〔教育原論／教育の思想〕

木曜日4時限

担当者：古賀 徹

◆学修到達目標 「教育」とは何か？ 人間が社会の中で生きていく上で、なぜ教育が必要なのか？ 現在のように公教育が当たり前に実現されるようになってくるのには絶余曲折（歴史的な変遷）がありました。その実現のための強い光となったのが本講義で学ぶ様々な「教育思想」です。教育の思想について学ぶということは、いわば「教育」の Identity 形成の過程を学ぶということでもあります。

◆授業方法 講義形式と「教育の思想」としてあらわされてきた様々な授業形式（グループワーク等）をとりいれる。前半は、テキストに記された思想家（人物）に関する講義を（教員が）行ないます。後半からは各自で担当箇所を決め、人物の思想上の特色について報告・質疑することで、互いに学びあえる授業としていきます。

◆準備学修 テキストに記載されている「教育の思想」を著した人物たちは、「教育」のみではなく、様々な「社会」的な思想に関する論述があります。その当時の「時代の精神」を理解することも重要です。テキストをよく読むこととあわせて、西洋の近代史（近代以降の歴史）に関する本を読むと、さらに理解が増すと思います。グループ単位で担当する思想家を決め、調査を行ない発表をすることになります。積極的に調査研究に取り組んでください。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 教育の歴史・思想とは？	9回目 公教育の実現（マン）
2回目 世界の教育思想の歴史的変遷	10回目 関係論・哲学（ブーバー）
3回目 一斉教授の方式・起源（コメニウス）	11回目 自由教育の思想（ニイル）
4回目 子どもの発見（ロック、ルソー）	12回目 現代の思想（アリエス）
5回目 人間教育の実践－直観教授（ペスタロッチ）	13回目 脱学校論（イリイチ）
6回目 科学的教育学（ヘルバート）	14回目 新しい教育の思想
7回目 幼児教育の思想（フレーベル）	15回目 まとめ（「教育」を教養として考える）
8回目 児童中心主義・経験主義（デューイ）	

◆教科書 通材『教育原論 T10200／教育の思想 T10300』 通信教育教材（教材コード 000199）
1,250 円（送料込）

◆参考書 授業中に指示する。適宜に資料・レジュメを配布する。

◆成績評価基準 この授業の評価は、授業への参加（グループ学習含む）、提出物、課題、試験成績の総合的評価とする。出席状況の悪いもの、課題未提出の場合は評価を行なわない。

◆西洋哲学の概観

〔哲学 B〕

木曜日5時限

担当者：中澤 瞳

◆学修到達目標 本講義の目標は、古代から近代までの西洋の哲学の歴史を、代表的な哲学者の考え方を通して理解することである。参加者それぞれが自分の考え方を意識しながら、哲学者の考え方に向か合うことができるようになることも目標とする。

◆授業方法 授業は講義形式で行う。資料プリントを読み、解説を行う。資料プリントは、基本的には参加者に読んでいただく（挙手制）。また、複数回の小レポート（授業内で記述し、提出する簡単なレポート）を行う。なお、進行具合によっては、授業計画に記載した内容に若干の変更がある場合がある。その際は、隨時授業中に指示する。

◆準備学修 準備学修、復習とともに、西洋哲学史の概説書や入門書を読むことは授業内容の理解を深めるのに役立つ。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 ガイダンス・哲学とはなにか	9回目 デカルト
2回目 ソクラテス	10回目 デカルト
3回目 ソクラテス	11回目 デカルト
4回目 プラトン	12回目 ロック
5回目 プラトン	13回目 バークリー
6回目 アリストテレス	14回目 ヒューム
7回目 アリストテレス	15回目 まとめ・筆記試験
8回目 科学革命	

◆教科書 [当日資料配付] 資料は授業ごとに配布する。

◆参考書 通材『哲学 B10700』 通信教育教材（教材コード 000404）3,350 円（送料込） ※学修指導書付き

◆成績評価基準 授業への参加、貢献（30%）、小レポート（20%）、試験（50%）により総合的に評価する。なお、評価を行う際には、毎回出席していることを前提とする。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆歴史学の論文を書く

〔西洋史演習Ⅰ・Ⅱ〕

木曜日 5 時限

担当者：藤井 信行

◆学修到達目標 4年間の歴史学の勉強を卒業論文に集約させることができます。授業をとおして卒業論文のテーマ決定・文献目録の作成・研究史の整理・資料の収集・文献の読解などを学び、歴史学の論文を書くことへつなげます。西洋史で卒業論文を予定している学生は、前・後期と、さらに3・4年次と継続して受講することが望ましい。

◆授業方法 「19世紀ヨーロッパ国際関係史（1815～90）」をケーススタディとして、前期は文献目録の作成・文献の講読などをゼミナル形式の授業で行います。3年次生は同じステップを各自の論文テーマで行い、4年次生はこうしたステップを各自のテーマでいま一度確認するとともに、2度の報告をとおして論文の完成へつなげる。

◆準備学修 3年次生はつねに論文のテーマを念頭に置いて、授業に取り組んでください。4年次生は、各自の論文の全構成・章立て・論証などを考えつつ授業に取り組んでください。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 歴史学のキーワード：「実証」と「解釈」	9回目 概説書を読む—共通テーマ
2回目 歴史学の論文①：「テーマ」と「結論」	10回目 概説をまとめる—共通テーマ
3回目 歴史学の論文②：「文献目録」と「研究史整理」	11回目 概説の報告①—各自のテーマ
4回目 参考文献目録の作成①—共通テーマ	12回目 概説の報告②—各自のテーマ
5回目 参考文献目録の作成②—共通テーマ	13回目 概説の報告③—各自のテーマ
6回目 参考文献目録の作成③—各自のテーマ	14回目 4年次生の卒論中間報告（第2回）
7回目 参考文献目録の作成④—各自のテーマ	15回目 3年次生の卒論テーマ決定
8回目 4年次生の卒論中間報告（第1回）	

◆教科書 **〔当日資料配付〕** 当日プリントを配布する。

◆参考書 使用せず。

◆成績評価基準 レポート2回（各 30%×2）、報告 30%，平常点 10%

◆世界経済の発展と国際貿易

〔国際経済論〕

木曜日 5 時限

担当者：陸 亦群

◆学修到達目標 国際経済論において、国際経済の発展過程をたどり、戦後の世界経済発展の歴史、国際分業の基礎理論としての比較優位論、国際貿易に関するベーシックな理論を学び、グローバル経済の進展および国際経済問題を理解する土台を作り上げることを目標とする。

◆授業方法 本講義は教材の内容を中心に原則として板書で授業を進める。必要に応じてパワーポイントを使用して講義関連資料および国際経済関連の新聞・雑誌記事等を資料として配布し解説する。

◆準備学修 国際経済論は応用経済学分野の科目であることから、経済学概論、経済原論（経済学原論）、経済学の何れかの科目を履修済みの上、本講義を受講することをお勧めする。事前に経済学の基礎理論を予習し、講義終了後に教材内容に付き合わせてノートを整理し復習すること。

◆履修条件 前期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 オリエンテーション	9回目 新古典派の貿易理論（2）
2回目 世界経済の生成と発展	10回目 近代的貿易理論
3回目 両大戦間期の世界経済	11回目 現代国際貿易理論の展開
4回目 戦後の世界経済の発展とその特徴	12回目 関税分析と経済厚生
5回目 戦後の経済体質と経済構造の変質	13回目 輸出入政策と管理貿易
6回目 1990年代以降の世界経済の変貌	14回目 自由貿易と保護貿易
7回目 伝統的貿易理論	15回目 講義のまとめ
8回目 新古典派の貿易理論（1）	

◆教科書 **〔通材〕『国際経済論 R31100』** 通信教育教材（教材コード 000281）2,000円（送料込）

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 定期試験 80%，講義態度（出席）20%。基礎理論を身に付けているかを判定する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆「世界史」授業をどう展開するか

〔社会科・地理歴史科教育法Ⅱ〕

木曜日5時限

担当者：古賀 徹

◆**学修到達目標** 社会科を構成する3分野（地理・歴史・公民）のうち、地理歴史科授業の目的・内容についての理解を深め、その実践的な授業方法を身につけられるようにする。本期の授業では歴史的分野（主に世界史）を主にとりあげるが、地理・政治経済・思想宗教など各分野間との総合的理解を高めることを意識しておきたい。

◆**授業方法** 教科内容及び授業法の講義を行うが、各自1回以上の模擬授業を実践する。学習指導案を作成しての模擬授業と、その批評検討を通して学びあう授業とする。

◆**準備学修** 中学校（社会科）・高等学校の地理・歴史科に関する教科書の記述内容について、事前に読んで理解しておくと、実際にとりくむ授業づくりにおいて「授業」（生徒の学習活動）がイメージしやすくなります。授業中にも紹介しますが、学習指導要領（文部科学省ホームページからも確認可能）の記述に目を通しておくことも大事になります。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 「世界史」「日本史」の授業への誘い	9回目 模擬授業③
2回目 社会科・地歴科教育のねらい	10回目 教科書中の「資料」を活用する授業
3回目 「歴史」をどう学ぶか？	11回目 教材解釈の能力をつけよう
4回目 学習指導要領を読む	12回目 新しい教材と新しい学習方法
5回目 「地図」をつかった学習の形成	13回目 模擬授業④
6回目 学習指導案の作成方法	14回目 「評価の基準」が明確な学習
7回目 模擬授業①	15回目 授業の評価・講評
8回目 模擬授業②	

◆**教科書** **〔当日資料配付〕** 資料・レジュメを配布する。

◆**参考書** 授業中に指示する。適宜に資料・レジュメを配布する。学習指導要領（文部科学省）

◆**成績評価基準** 学習指導案を指定した分、作成して提出する。模擬授業を複数回行い、授業づくり（教材研究）への取り組み、グループワークへの参加度を加味して総合的に評価する。毎回出席を前提とする。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆理論的かつ実践的な英語教授法を考える

〔英語科教育法Ⅲ〕

木曜日 5時限

担当者：小澤 賢司

◆学修到達目標 英語教授法の理論を自ら学び、それをどう4技能指導に応用するかを皆で考え、且つ、その実践力を身に付けることを目標とします。本授業では中学校向けの教授法を考案してもらいます。

◆授業方法 グループワーク型授業（詳細は第1回目の授業で説明することとし、以下、概略を記します）

- (a) グループはくじ引きによりランダムに決まる
- (b) グループ毎に4技能のうち1つの技能に焦点を当て、その技能向上のための授業を考案してもらう
- (c) 別の技能の向上も図れる場合はそれも良しとするが、本筋がズレないよう注意すること
- (d) 考案する授業（内容・展開）には、各技能に関する教授（言語習得）理論を可能な限り応用すること
- (e) 上記の準備を行い、その後、発表する（実際に模擬授業を行う）

◆準備学修 指定の教科書は特にありませんが、それは学ばなくてよいということを意味するものではありません。指定されていないがゆえに受講者の方々が各々英語教授法に関する文献（雑誌・書籍・論文）を集め、読む必要があります。その後、それらの文献の内容を踏まえ、良い授業を行うためにはどうすればよいのか、どんなことが求められるのか、また、どんな方法論が効果的なのかを日々考えるようにしてください。これが本授業の準備学修となります。

◆履修条件 これまでに英語科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅳのいずれかの単位を1つでも修得していること。満たしていない場合、履修不可とする。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 ガイダンス・グループ分け ※1回目より授業に入ります（欠席しないように）	9回目 準備・発表
2回目 準備	10回目 発表
3回目 準備	11回目 発表・グループ分け
4回目 準備・発表	12回目 準備
5回目 発表	13回目 準備
6回目 発表・グループ分け	14回目 発表
7回目 準備	15回目 発表・これまでの総評
8回目 準備	

◆教科書 なし

◆参考書 学習指導要領（文部科学省）

◆成績評価基準 授業への取り組みを中心に総合的に評価します。

※特別な理由（教育実習・介護等体験・感染症など）なく欠席した場合は、大幅な減点となります。

【金曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単開位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オーブ 講ン		
					科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件			
1 時 限	AE11	英 語 J	大庭 香江	1	C10100	英 語 I	×	1 年	・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。			
					C10200	英 語 II						
					C10300	英 語 III	×	2 年				
					C10400	英 語 IV						
2 時 限	AE12	TOEIC B	町田 純子	1	C108S0	TOEIC	×	1 年		×		
	AE13	刑 事 訴 訟 法	船山 泰範	2	K31700	刑 事 訴 訟 法	×	2 年				
	AE14	東洋思想史 I	本間 直人	2	P20300	東洋思想史 I	×	条件 参 照	・ 哲学専攻のみ 1 学年以上申込可。 ・ 上記以外は 2 学年以上申込可。			
	AE21	英 語 K	大庭 香江	1	C10100	英 語 I	×	1 年	・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。			
					C10200	英 語 II						
					C10300	英 語 III	×	2 年				
					C10400	英 語 IV						
2 時 限	AE22	フランス語 I・II	大庭 克夫	1	E10100	フランス語 I	×	1 年	・ I, II のどちらに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。			
					E10200	フランス語 II						
	AE23	日 本 政 治 史	石川 徳幸	2	L30400	日 本 政 治 史	×	2 年		×		
	AE24	哲 学 演 習 I・II	中澤 瞳	1	P401S0	哲 学 演 習 I	×	3 年	・ 哲学専攻のみ申込可。 ・ I, II のどちらに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。			
					P402S0	哲 学 演 習 II						
	AE25	西 洋 史 特 講 I	池本 今日子	2	Q31200	西 洋 史 特 講 I	×	2 年				
	AE26	ア メ リ カ 経 済 論	小林 通	2	R312S0	ア メ リ カ 経 済 論	×	2 年				

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

【金曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数 講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ プ 講 ン		
					科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件			
3 時 限	AE31	英 語 L	中村 則子	1	C10100	英 語 I	×	1 年	・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。			
					C10200	英 語 II						
					C10300	英 語 III	×	2 年				
					C10400	英 語 IV						
4 時 限	AE32	政治学原論	吉野 篤	2	L20100	政治学原論	×	条件参照	・ 政治経済学科のみ 1 学年以上申込可。 ・ 上記以外は 2 学年以上申込可。			
	AE33	英作文 II	大庭 香江	2	N30500	英作文 II	×	2 年	・ スクーリング 1 回の合格で単位完成する科目です。			
	AE34	哲学基礎講読	石井 友人	2	P20100	哲学基礎講読	×	条件参照	・ 哲学専攻のみ 1 学年以上申込可。 ・ 上記以外は 2 学年以上申込可。			
	AE35	市場調査論	最上 健児	2	S317S0	市場調査論	×	2 年				
	AE41	社会学	服部 慶亘	2	B11600	社会学	×	1 年				
5 時 限	AE42	英語基礎 B	中村 則子	1	C10600	英語基礎	×	1 年	・ 英文学専攻は申込不可。			
	AE43	国文学概論	山崎 泉	2	M20200	国文学概論	×	条件参照	・ 国文学専攻のみ 1 学年以上申込可。 ・ 上記以外は 2 学年以上申込可。			
	AE44	宗教学概論	合田 秀行	2	P30400	宗教学概論	×	2 年				
AE51	情報概論 B	一島 力男	2	R32300	情報概論	×	2 年					

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座の選定
時間割(火曜日)
開講講座表
シラバスと使用教材(水曜日)
開講講座表
シラバスと使用教材(木曜日)
開講講座表
シラバスと使用教材(金曜日)
開講講座表
シラバスと使用教材(土曜日)
開講講座表
シラバスと使用教材受講及び試験
受講手続申込講座の許可と不許可
受講料等の納入受講準備
健診の説明

オーブン受講

胸部X線検査

各種用紙
付録

講座内容（シラバス）

◆「スヌーピー」で日常会話表現を学ぶ

★★★〔英語 J〕

金曜日 1 時限

担当者：大庭 香江

◆学修到達目標 本授業では、「スヌーピー」のコミックを使用し、日常会話表現を学びます。文法知識を整理し、日常使用される表現を用いて会話を行えるようになります。

◆授業方法 練習問題を解きながら、文法事項を確認し、米国の文化について書かれた文章や、コミックを読みます。コミックの表現を参考に、語彙整序問題で作文をし、会話を行います。

◆準備学修 授業時の解説が理解出来る様、英文を読み、辞書で意味を調べておきます。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目	ガイダンス Unit 1 & 2 自動詞・他動詞、群動詞 リーディング：マーク・トウェイン、野球	9回目	Unit 17&18 疑問詞、関係詞 リーディング：ジャズ、ブルース
2回目	Unit 3& 4文型、時制 リーディング：植民地開拓者、アップルパイ	10回目	Unit 19&20 比較、否定 リーディング：ミシシッピ川、リーバイ・シュトラウス
3回目	Unit 5& 6 進行形、完了形 リーディング：ディズニーランド、バーベキュー	11回目	復習・応用問題1
4回目	Unit 7& 8 助動詞、受動態 リーディング：スポーツ、ロックンロール	12回目	復習・応用問題2
5回目	Unit 9&10 不定詞、分詞 リーディング：ルート 66、ハリウッド	13回目	復習・応用問題3
6回目	Unit 11&12 動名詞、名詞・冠詞 リーディング：ケイジャン料理、ハンバーガー	14回目	復習・応用問題4
7回目	Unit 13&14 代名詞、形容詞・副詞 リーディング：2つのワシントン、移民国家アメリカ	15回目	試験
8回目	Unit 15&16 前置詞、接続詞 リーディング：アメリカ先住民、キング牧師		

◆教科書 〔丸沼〕『スヌーピーと覚える日常表現』 Snoopy's World of English 小中秀彦著 朝日出版社
1,836 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書 授業時に、単元ごとに、関連する参考書や資料について御紹介致します。

◆成績評価基準 試験、及び授業への取り組みを総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 550点レベルを目指して TOEIC にチャレンジしましょう (TOEIC B)

金曜日 1時限

オーブン受講: 不可 担当者: 町田 純子

◆学修到達目標 昨年5月から変更の新 TOEIC の出題問題の傾向を探り慣れることで、戦略的に又実践的に、リーディングとリスニングの英語運用能力 (Communicative Competence) を習得します。又同時に最低限の基礎文法知識の確認と定着や、語彙力増強、頻出会話表現を身につけることで、日常生活やビジネス現場で必要とされる基礎的な英語力をブラッシュアップできます。

◆授業方法 前期後期の連続受講が望ましいです。リスニング (Part 1 ~ Part 4) 及びリーディング (Part 5 ~ Part 7) の練習問題形式のテキストに沿い、段階的に基礎文法、速読力、読解力、語彙力強化を図ります。又、音声の基礎知識を整理し、特有の話し言葉に慣れれます。毎回中学校基礎英単語から TOEIC 頻出範囲までの単語熟語力確認テストを行います。ガイダンス時に実力診断テストを行います。(受講人数で変更有り)

◆準備学修 ガイダンスでは、シラバス内容を確認の上、授業に臨み、授業計画を確認の上、予習、復習をしてください。13回実施予定の英単熟語確認テストの準備として、初回講義前に購入してテストに備えてください。

◆授業計画 (各 90 分)

1回目	レベルチェックテスト 解説	9回目	Unit 8 動詞の時制を見極める 語彙テスト8
2回目	Unit 1 TOEIC を知る 語彙テスト1	10回目	Unit 9 接続詞 v.s. 前置詞 語彙テスト9
3回目	Unit 2 基本戦略1 語彙テスト2	11回目	Unit 10 ダブルパッセイジの攻略 語彙テスト10
4回目	Unit 3 基本戦略2 語彙テスト3	12回目	Unit 11 接続副詞に強くなる 語彙テスト11
5回目	Unit 4 英文の基本構造を見抜く 語彙テスト4	13回目	Unit 12 NOT 型設問のコツ 語彙テスト12
6回目	Unit 5 解答根拠の登場順 語彙テスト5	14回目	期末テスト (達成度チェックテスト) 語彙テスト13
7回目	Unit 6 正解の言い換えパターン 語彙テスト6	15回目	まとめと解説
8回目	Unit 7 機能疑問文を聞き取る 語彙テスト7		

◆教科書 丸沼 『LEVEL-UP TRAINER for THE TOEIC TEST』 (改訂版) Ayako Yokogawa 他

センゲージラーニング 2,160円 (税込) (送料 300円)

丸沼 『Word Builder 基礎から学ぶ TOEIC TEST 英単熟語』 南雲堂 1,188円 (税込) (送料 300円)

◆参考書 指定しません

◆成績評価基準 全出席を前提に、総合的にいたします。単語小テスト 13回 (40%) と期末試験 (40%) 平常点 (20%) を含みます。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆市民に役立つ刑事訴訟法

(刑事訴訟法)

金曜日 1 時限

担当者：船山 泰範

◆学修到達目標 刑事訴訟法は本来、法曹のためにあるのではなく、市民（国民）のためにある。ところがそのように理解されないのは、講ずる側にも責任があるのかもしれない。市民の目で刑事訴訟法を見ることにしよう。

◆授業方法 講義を中心とするが、質問の時間を設けるので、遠慮なく質問し、できるだけ疑問を解消してほしい。解説付き裁判傍聴を組み込むので、授業の一環として参加すること。

◆準備学修 教科書ならびに参考書を予習して臨んでほしい。刑法総論・各論を復習しておいて頂きたい。

◆履修条件 平成 28 年度間・土曜スクーリング（前期）「刑事訴訟法」との積み重ね不可

◆授業計画【各 90 分】

1回目 刑事法学は人を幸福にする学問	9回目 猶予制度の全貌
2回目 危惧感説（過失犯）の狙いの2番目	10回目 告訴と被害届
3回目 刑事裁判を求める理由	11回目 檢察審査会制度は役立っているか
4回目 事実認定の刑訴の目的の一つ	12回目 逮捕されたらどうするか
5回目 事実認定の判断基準	13回目 裁判員制度の課題と展望
6回目 刑事司法と刑事裁判	14回目 訴因とは何か
7回目 刑事訴訟法の基本原則	15回目 解説付き裁判傍聴
8回目 刑罰とその他の制裁	

◆教科書 丸沼『NEXT 教科書シリーズ 刑事訴訟法』 関正晴編 弘文堂 2,592 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書 丸沼『刑法を学ぶための道案内』 船山泰範 法学書院 2,160 円（税込）（送料 300 円）

◆成績評価基準 期末試験（80%）、平常点（20%）

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆中国古代の哲学思想

〔東洋思想史Ⅰ〕

金曜日 1 時限

担当者：本間 直人

◆学修到達目標 中国古代の哲学思想を概観します。前期は孔子、孟子、墨子の思想を中心に理解を深めます。中国古代の学者・思想家たちの言葉は国を超えて、時代を超えて、現代に生きる我々に、生きる上でのヒントを与えてくれることでしょう。さらに、研究の意義、必要性などについても学びます。（前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい）

◆授業方法 中国古代の学者・思想家たち、それぞれの哲学思想の特質をつかむことに留意しながら、発表形式で授業を行います。又、レポートのまとめ方についても指導します。授業は漢文の講読を含みますが、漢文に慣れ親しんでいない場合をも考慮し、無理のないように進めていきます。したがって、東洋思想に興味を持ちながら、漢文に対する抵抗感から、今まで本格的な学習を思いとどまっていた方の受講も歓迎します。

◆準備学修 授業で取り上げる学者・思想家についての参考書は、数多く出版されています。図書館、又は書店で実際に手に取り、気に入った本を読んでみて下さい。すんなりと頭に入る事柄もあれば、すぐには理解できない事柄もあることでしょう。しかしながら、そのことについて、じっくりと時間をかけ、自分の頭で考えることは、これから学習に特に重要なことなのです。

◆履修条件 平成28年度昼間・土曜スクーリング（前期）「東洋思想史Ⅰ」との積み重ね不可。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 ガイダンス（研究の意義、必要性）	9回目 孟子の思想について（人物・生涯）
2回目 孔子の思想について（人物・生涯）	10回目 孟子の思想について（人性論）
3回目 孔子の思想について（『論語』）	11回目 孟子の思想について（運命論）
4回目 孔子の思想について（宗教観、殷周革命）	12回目 墨子の思想について（人物・年代）
5回目 孔子の思想について（宗教観、『論語』）	13回目 墨子の思想について（非命説）
6回目 孔子の思想について（儒教）	14回目 墨子の思想について（<天>と<命>）
7回目 孔子の思想について（『詩經』）	15回目 学習内容のまとめ
8回目 孔子の思想について（運命観）	

◆教科書 通材『東洋思想史Ⅰ P20300』通信教育教材（教材コード000392）1,950円（送料込）

〔当日資料配付〕当日プリント配布。漢和辞典を用意してください。

◆参考書 指定しない。

◆成績評価基準 授業への取り組み（発表など）・レポート・テストにより総合的に評価します。

◆世界の御伽噺や名作童話を読む

★★★〔英語 K〕

金曜日 2 時限

担当者：大庭 香江

◆学修到達目標 本授業では、平易な文章で再話された、世界の御伽噺や童話を読みます。
音声を補助として、正確に読むことの出来る、リーディング力を身に着けます。

◆授業方法 練習問題で文法事項や語彙を確認し、CDで音声を聞きながら、作品を丁寧に読んでいきます。

◆準備学修 授業時の解説が理解出来る様、英文を読み、辞書で意味を調べておきます。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 ガイダンス Pre-Unit Jack and the Beanstalk	9回目 Unit 11&12 Ali Baba and the Forty Thieves
2回目 Unit 1 Sinbad the Sailor	10回目 Unit 13&14 Pinocchio
3回目 Unit 2 Hansel and Gretel	11回目 復習・応用問題1
4回目 Unit 3 Puss in Boots	12回目 復習・応用問題2
5回目 Unit 4 Sleeping Beauty	13回目 復習・応用問題3
6回目 Unit 5&6 The Three Spinners	14回目 復習・応用問題4
7回目 Unit 7&8 Alice in Wonderland	15回目 試験
8回目 Unit 9&10 Aladdin and the Lamp	

◆教科書 丸沼『目と耳で読む世界の名作』English Cradle - Classic Tales from around the World
上村淳子編著 センゲージラーニング株式会社 2,160円（税込）（送料300円）

◆参考書 授業時に、単元ごとに、関連する参考書や資料について御紹介致します。

◆成績評価基準 試験、及び授業への取り組みを総合的に評価します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆中学英語をフランス語に変換します

〔フランス語Ⅰ・Ⅱ〕

金曜日2時限

担当者：大庭 克夫

◆**学修到達目標** 英語にすれば中1レベルの内容が、仏語でも言えて・書けて・聴き取れるようにするのが目標です。前期はまず仏語の発音の規則（＝綴り字と発音との関係）をしっかりと習得することから始まり、その後基本的な名詞、冠詞の使い分け、提示の仕方、3種類の動詞の活用（＝人称変化）等を身に付けて、簡単な文章が作れるようになります。

◆**授業方法** 中学の英語をベースに、基本的な単語、提示の仕方、動詞の人称変化などを学習します。なお授業は＜講義形式＞ではなく＜ゼミ形式＞で進めていきます。1回の授業で最低4～5回は当てて答えてもらいます。

◆**準備学修** 未習外国語の学習はレンガを1段ずつ垂直に積み上げていくのと同じです：2段目のレンガが1段目の上にしか絶対に載らないように、仏語も第1課の内容をきちんと身に付ける限り第2課の内容を習得することは不可能です。前週に習った事柄をしっかりと覚えてから翌週の授業に臨むこと、これが取りも直さず最大の予習です。

◆**履修条件** 初回から早速実質的なフランス語の授業に入ります。履修する可能性のある学生は必ず初回から出席してください。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 アルファベ、綴り字と発音との関係1	9回目 動詞＜être＞（＝be動詞）の活用と用例
2回目 綴り字と発音との関係2	10回目 動詞＜avoir＞（＝have）の活用と用例
3回目 綴り字と発音との関係3	11回目 第1群規則動詞の活用と用例1
4回目 不定冠詞と基本的な名詞	12回目 第1群規則動詞の用例2
5回目 部分冠詞と基本的な名詞	13回目 まとめとヒヤリング演習
6回目 定冠詞と提示の仕方	14回目 前期期末試験
7回目 数詞（1～10）、指示形容詞	15回目 前期期末試験の返却と解説、後期展望
8回目 前期期末試験	

◆**教科書** 授業で使用するプリントとCDはどちらで配布します。ともに市販の教科書よりはるかに分かりやすく丁寧にできているという自負はあります。

◆**参考書** 履修が確定したら（＝5月以降）仏和辞典を必ず用意して下さい。電子辞書は個人的にお薦めできません。初回に手頃な辞書を何冊か紹介します。

◆**成績評価基準** 試験は中間と期末の2回行い、成績はこの試験の結果で判定します。なお試験は全問＜和文仏訳＞と＜ヒヤリング形式＞（＝原文を書き取ったのち和訳）で出題します。安直な和訳・穴埋め・択一等は一切出題しません。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ヨーロッパ近世・近代の政治と文化1

〔西洋史特講Ⅰ〕

金曜日2時限

担当者：池本 今日子

◆学修到達目標 ヨーロッパ近世以降の政治と文化の大きな流れ、政治と文化の関係について、主にイギリスとフランスを例に理解し、説明出来る。

◆授業方法 講義を行う。芸術作品や文学作品になるべく触れる。

◆準備学修 イギリスとフランスの歴史について入門レベルの知識を得ておくこと。新聞のコラムなどに注意し、現代社会の政治と文化について考え、また、芸術作品や文学作品に触れること。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 導入	9回目 イギリス 16世紀
2回目 ルネサンス	10回目 イギリス エリザベス1世
3回目 フランス 16-17世紀	11回目 イギリス 17世紀
4回目 フランス ルイ14世	12回目 イギリス 18世紀
5回目 フランス ルイ14世	13回目 イギリス 19世紀
6回目 フランス 18世紀	14回目 まとめ
7回目 フランス革命	15回目 到達度の確認
8回目 フランス 19世紀	

◆教科書 当日資料配付 プリント

◆参考書 教場で指示する

◆成績評価基準 試験 90%。平常点 10%。

◆世界、日本とのアメリカ経済の学修

〔アメリカ経済論〕

金曜日2時限

担当者：小林 通

◆学修到達目標 本講義の到達目標は、アメリカ経済の動向を時系列的経緯や経済理論との関連によって学修し、そこから現実のアメリカ経済が、世界・日本経済にどのような影響を与えていたのかを理解することにあります。具体的には新聞・雑誌に掲載されているアメリカに関する経済記事や経済問題を世界との動向でそれを理解できることにあります。

◆授業方法 授業方法は、講義の内容が一方的にならないように注意し、その理解度を勘案して双方的な関係で受講生の自主性や学習意欲を高めるように工夫します。具体的には受講生の質問を通じてその理解度を測ったり、単元ごとに講義の内容に沿った課題を授業中に提出し、受講生みんなでその問題について回答するように進めていきます。

◆準備学修 準備学修は、以下のような授業計画に沿って講義を進めますが、講義の内容や時間の都合によって思ったように実施できないこともあります。そのため受講生は、新聞などをできるだけ毎日読むようにしていただきたいと思います。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 一般的経済の見方・考え方	9回目 パックスアメリカーナ
2回目 アメリカ経済の捉え方	10回目 マーシャルプランの意義
3回目 世界の中のアメリカ経済	11回目 アメリカ中心のGATT・IMF
4回目 日本経済とアメリカ経済	12回目 ケネディ・ラウンド
5回目 1920年代のアメリカ経済	13回目 日米貿易摩擦の推移
6回目 1930年代の世界経済	14回目 日米繊維紛争
7回目 ケインズ経済理論の応用	15回目 日米農産物交渉
8回目 ニューディール政策の効果	

◆教科書 使用せず

◆参考書 丸沼『国際政治経済学新講』 小林他共編 時潮社 2013年 3,024円(税込)(送料300円)
丸沼『現代アメリカ経済』 河村哲二 有斐閣 2008年 2,484円(税込)(送料300円)

◆成績評価基準 受講生の出席を基準として、単元ごとに終了した後の課題、小テストおよび学期末試験の成績により評価します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆スポーツトピックで楽しく学ぶ易しい英語

★★★☆〔英語 L〕

金曜日3時限

担当者：中村 則子

◆学修到達目標 2020年に開催される東京オリンピックに向けてスポーツへの関心が高まっている。この科目では易しい英文で書かれたスポーツのトピックを読み解し、演習問題を解くことで楽しく英語を身につけていく。最終的な目標は英語の総合能力を養うことにある。

◆授業方法 テキストに沿って、英文を読み、演習問題を行うことで、英語の4技能のうち主に reading のスキルを習得していく。まず CD で音声を確認し、英文を音読してから、その内容を発表してもらう。進み具合により、シラバス通りにならない場合もあることをおことわりしておく。

◆準備学修 ガイダンスは初回のみ行うので受講希望者は初回から出席することが望ましい。テキストをできるだけ早く入手し、最初の章に目を通して、判らない単語を辞書で調べて演習問題を解き、充分に予習しておくこと。また、日ごろから、英語の記事を視聴したりして、スポーツに限らず、メディアから英語で情報を入手する作業をしてほしい。

◆履修条件 英語力が初級レベルであること

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 ガイダンス	9回目 Unit4 Competition
2回目 Unit1 The Long Wait	10回目 Unit5 A Glamorous?
3回目 Unit1 The Long Wait	11回目 Unit5 A Glamorous?
4回目 Unit2 Olympic Volunteers	12回目 Unit6 Energy Drinks
5回目 Unit2 Olympic Volunteers	13回目 Unit6 Energy Drinks
6回目 Unit3 Male Sports? Female Sports?	14回目 復習もしくは小テスト
7回目 Unit3 Male Sports? Female Sports?	15回目 期末試験
8回目 Unit4 Competition	

◆教科書 因沼『Spotlight on Sports』 金星堂 2,052 円 (税込) (送料 300 円)

◆参考書 参考書、辞書はガイダンスにて指示

◆成績評価基準 発表を含めた授業への取り組み、試験による総合評価。

◆政治を見る眼を養う

〔政治学原論〕

金曜日3時限

担当者：吉野 篤

◆学修到達目標 政治概念の歴史的変容を古典古代から 20 世紀にいたるまで跡付け、政治の機能・意義を把握すること。そのことによって、現在の政治問題を考えるうえで、歴史的視野が必要であることを理解してもらうこと。

◆授業方法 基本的に講義形式で行う。ほぼ毎回、現代政治の課題を考えるための資料を主として新聞報道を材料として配布し、今、政治の世界に何が起きていて、どのような対応を迫られているかを考えたい。

◆準備学修 事前にテキストによって学習内容のアウトラインを把握し、何が問題であるのかをよく整理すること。普段からメディアの政治報道に关心を持ち、現実の政治の動きに注意すること。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 イントロダクション (テーマ設定)	9回目 市民革命の政治過程②
2回目 古典古代の政治概念①	10回目 市民革命期の政治概念
3回目 古典古代の政治概念②	11回目 保守主義の生成と展開
4回目 中世ヨーロッパの政治像	12回目 社会主義の政治理論
5回目 マキャベリの政治概念	13回目 丸山真男による政治の概念化
6回目 社会契約説の考え方①	14回目 20 世紀の政治状況
7回目 社会契約説の考え方②	15回目 大衆民主主義の政治理論
8回目 市民革命の政治過程①	

◆教科書 因沼『政治学』 山田光矢編著 弘文堂 2,160 円 (税込) (送料 300 円)

◆参考書 授業のときにその都度指示する

◆成績評価基準 基本的には定期試験で評価する。平常点として出席を加味する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆名作映画でライティング

〔英作文Ⅱ〕

金曜日3時限

担当者：大庭 香江

◆学修到達目標 本授業では、米国の古典的な名作映画を観て、作品のあらすじや背景を英文でまとめる力を身につけることを目標とします。

書く力の基礎となる文法を整理し、登場人物の描写等を行いながら、語彙力、表現力を養います。

◆授業方法 内容理解の問題に英文で答える練習問題を行い、原作の一部を読んだ上で、長文のサマリーをまとめます。テキストにはDVDが付属していますので、各自予習や復習を行うことが可能です。

◆準備学修 付属のDVDで作品を視聴しておくこと。授業時には書く作業が中心となります。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 Gone with the Wind『風と共に去りぬ』1	9回目 The Wizard of Oz『オズの魔法使い』1
2回目 Gone with the Wind『風と共に去りぬ』2	10回目 The Wizard of Oz『オズの魔法使い』2
3回目 Gone with the Wind『風と共に去りぬ』3	11回目 The Wizard of Oz『オズの魔法使い』3
4回目 Gone with the Wind『風と共に去りぬ』4 原作を読み、サマリーを書く	12回目 The Wizard of Oz『オズの魔法使い』4 原作を読み、サマリーを書く
5回目 Little Women『若草物語』1	13回目 To Kill a Mockingbird『アラバマ物語』1,2
6回目 Little Women『若草物語』2	14回目 To Kill a Mockingbird『アラバマ物語』3
7回目 Little Women『若草物語』3	15回目 To Kill a Mockingbird 4『アラバマ物語』原作を読み、サマリーを書く
8回目 Little Women『若草物語』4 原作を読み、サマリーを書く	

◆教科書 丸沼『名作映画で学ぶアメリカの心』 石塚美佳他著 成美堂 2,592円(税込)(送料300円)

◆参考書 授業時に、単元ごとに、関連する参考書や資料について御紹介致します。

◆成績評価基準 レポート、及び授業への取り組みを総合的に評価します。

◆『論理学、別名思考の技法』を読む

〔哲学基礎講読〕

金曜日3時限

担当者：石井 友人

◆学修到達目標 17世紀哲学の古典アルノー、ニコル共著『論理学、別名思考の技法』を読んでいきます。デカルトからの影響が明らかである同書第一部の読解を中心に、当時の哲学の基礎概念と基本問題（主にデカルト哲学とその周辺思想）を確認し、古典を読むための力を養っていく事を目的とします。

◆授業方法 教科書と配布プリントにより講義形式で行いますが、質疑応答を取り入れ、受講者からの積極的な参加を期待します。最初は、専門的な知識の必要な部分は飛ばして、内容を大づかみにしながら読んでいきます。何回かは、教科書を離れて、哲学史的な背景を説明する事にさく予定です。デカルトやパスカルらの断片を読む事になるでしょう（講読の進度によっては授業計画を変更することもある）。

◆準備学修 教科書所収『論理学、別名思考の技法』第一部第一章、第四章に目を通し、特に第一章については、いくつの話題で構成されているのか、段落分けをしておいて下さい（分かりにくい記述については、訳者による解説論文を手引きに読み進めると良いでしょう）。読解にあたっては言葉と観念との関係に注意を払ってみて下さい。同書全体についても、訳者による解説が参考となるでしょう。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 デカルト哲学の何が新しかったのか？	9回目 同上、パスカル『パンセ』の断片
2回目 観念と言葉	10回目 観念と言葉、再論
3回目 同上	11回目 ホッブズの哲学について
4回目 明晰性と判明性・身心問題	12回目 同上
5回目 身心問題・形而上学	13回目 誤謬をいかにして取り除きうるか
6回目 動物機械論、デカルト『方法序説』から	14回目 事物の定義と名前の定義
7回目 同上	15回目 試験
8回目 権力と真理、ラ・フォンテーヌの「狼と子羊」	

◆教科書 通材『哲学基礎講読 P20100』 通信教育教材（教材コード000042）3,700円(税込)
〔当日資料配付〕当日プリント配布

◆参考書 講義の中で紹介します。

◆成績評価基準 試験（リポートに変更の場合あり）(60%)、質疑応答等の授業への参加度（40%）により評価。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆市場の情報を入手する

〔市場調査論〕

金曜日 3時限

担当者：最上 健児

◆学修到達目標 市場調査論のプロセスを理解し、一連の調査を設計できるようになる。

調査目的に照らして適正なデータを収集できるようになる。

収集されたデータに適切な分析を当てはめ分析結果を解釈できるようになる

統計量と分析手法を本質的に理解する。

◆授業方法 講義計画の前半に伝統的な市場調査のプロセスを説明し、マーケティングにおける市場調査の役割を説明する。続いて、情報を集約する方法として統計量について説明する。とくに二つの変数間の関わりを表す指標である相関係数を説明し、最終的に回帰分析を紹介する。

◆準備学修 毎回の授業では一回ごとに完結する話題となるよう配慮しているが、全講義を通じて大きな一つの話題を取り扱っている。欠席した場合などは欠席したときの資料を熟読し、内容を把握しておくことが望ましい。

◆履修条件 平成 27・28 年度昼間・土曜スクーリング（前期）「市場調査論」との積み重ね不可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 マーケティングと市場調査	9回目 直線の当てはめ
2回目 市場調査の基礎概念	10回目 一次導関数
3回目 市場調査のプロセス	11回目 最小二乗法
4回目 集計と分析	12回目 決定係数
5回目 平均と分散	13回目 統計的検定
6回目 共分散と相関係数	14回目 重回帰分析
7回目 相関係数の範囲	15回目 まとめ
8回目 直線上の値の共分散と相関係数	

◆教科書 インターネットより配信する

http://www.geocities.jp/mogami_shiryoukan/

◆参考書 丸沼『リテールデータ分析入門』 上田隆穂他 (株)中央経済社 発行 3,024 円 (税込) (送料 300 円)

◆成績評価基準 レポートにより評価する。(100%)

◆「ヒト」と「人間」は何が違うのか？

〔社会学〕

金曜日4時限

担当者：服部 慶亘

◆**学修到達目標** この講義は、社会を「二人以上の人間による生活共同体」という視点で展開される。二人以上の「人間」について語られるのであって、二人以上の「ヒト」ではない。このように、我々の生活環境の中には一見すると同じように見えて実は性格（性質）が異なるものが少くない。それらを「違い」としてキチンと説明できるような「社会科的発想の修得」を目指すのが、本講義の目的である。

◆**授業方法** 教科書・プリント・板書（パワーポイント）などを用い、受講生自身も陥りがちな問題点を指摘・解説する。必要に応じて視聴覚資料（CD, DVD, マンガ、その他）を多用する。また、学生に質問を投げかけ、対話とシミュレーションを展開しながら講義を進めていく。よって、講義を単に「聴く」のではなく、講義に「参加」する意欲が好成績につながるものと思われる。また、後期の講義内容への橋渡しも隨時行う。

◆**準備学修** 特別な予習は必要としないが、講義で紹介された事例・法則・理論・概念などを自分自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）した上で、次の講義にのぞんでほしいと思う。社会学を単なる「机上の学問」としてではなく、日常の（あるいは自分自身の）あらゆる場面と密接に関連した学問としてとらえてほしい。

◆**履修条件** 後期も続けて受講することが望ましい（昨年後期からの受講学生は除く）

◆**授業計画**〔各 90 分〕

1回目 講義目標・目的の確認	9回目 社会的動物としての人間④ 社会的自我
2回目 「違い」を理解する視点① 前提	10回目 Human Being ① 人間の定義①
3回目 「違い」を理解する視点① 知識と技術	11回目 Human Being ② 人間の定義②
4回目 「違い」を理解する視点② 絶対と相対	12回目 Human Being ③ 役割演技①
5回目 「違い」を理解する視点③ 行為と行動	13回目 Human Being ④ 役割演技②
6回目 社会的動物としての人間① 社会の定義	14回目 Human Being ⑤ 様々な問題
7回目 社会的動物としての人間② 福祉的観点	15回目 まとめ
8回目 社会的動物としての人間③ 生理的早産	

◆**教科書** 丸沼『人間生活の理論と構造』 夏刈康男（ほか） 学文社 2,700 円（税込）（送料 350 円）

丸沼『補強版ストレス・スパイラル』 服部慶亘 人間の科学社 1,296 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** プリント配布

◆**成績評価基準** 終講試験（70%）、受講態度（20%）、レポート類（10%）で評価する。なお、全講義回数の3分の2以上の出席が原則（公欠などは申し出ること）。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆基礎から始めるやさしい英語

★★☆☆ [英語基礎 B]

金曜日 4時限

担当者：中村 則子

◆学修到達目標 この科目では忘れかけている英語の基礎文法を詳しく丁寧に学び直すことで英文の読解力を身につけていく。最終的な目標は英語の総合能力を養うことにある。

◆授業方法 テキストに沿って、解説を読み、演習問題を行うことで、英語の文法の基礎を習得する。まず CD で音声を確認し、英文を音読してから、その内容や演習問題の解答を発表してもらう。進み具合により、シラバス通りにならない場合もあることをおことわりしておく。

◆準備学修 ガイダンスは初回のみ行うので受講希望者は初回から出席することが望ましい。テキストをできるだけ早く入手し、最初の章に目を通して、判らない単語を辞書で調べて演習問題を解き、充分に予習しておくこと。また、日ごろから、英語の音楽を聴いたり、洋画を見たりして、英語の世界に親しんでほしい。

◆授業計画 [各 90 分]

1回目 ガイダンス	9回目 Unit8 代名詞
2回目 Unit1 be 動詞	10回目 Unit9 前置詞
3回目 Unit2 一般動詞（現在）	11回目 Unit10 形容詞・副詞
4回目 Unit3 一般動詞（過去）	12回目 Unit11 比較
5回目 Unit4 進行形	13回目 Unit12 命令文・感嘆文
6回目 Unit5 未来形	14回目 復習もしくは小テスト
7回目 Unit6 助動詞	15回目 期末試験
8回目 Unit7 名詞・冠詞	

◆教科書 丸沼『English Primer (Revised Edition)』 南雲堂 2,052 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書 参考書、辞書はガイダンスにて指示

◆成績評価基準 発表を含めた授業への取り組み、試験による総合評価。

◆近世の小説に親しむ

〔国文学概論〕

金曜日 4時限

担当者：山崎 泉

◆学修到達目標 近世小説を代表する作品の一つである上田秋成の『雨月物語』の中から「蛇性の姫」を講読します。一つの章にじっくりと取り組むことにより、古典作品の読解力向上及び大学で国文学を学ぶ上での基本的なスキル習得を目指します。

◆授業方法 主に講義形式で行います。

まず、近世小説のジャンルとそのおおまかな歴史、さらに上田秋成の伝記と『雨月物語』について概説し、その後、「蛇性の姫」の本文を読み進めていきます。

◆準備学修 テキストに一通り目を通しておいて下さい。授業においては原文を中心に読み進めていきます。

講読に際しては、原文の音読を受講生の皆さんにそれぞれ分担して担当して頂く予定ですので、きちんと読めるように事前に準備をして置いて下さい。

◆授業計画 [各 90 分]

1回目 ガイダンス	9回目 「蛇性の姫」講読⑥
2回目 近世小説 その歴史とジャンル	10回目 「蛇性の姫」講読⑦
3回目 上田秋成 その生涯と作品	11回目 「蛇性の姫」講読⑧
4回目 「蛇性の姫」講読①	12回目 「蛇性の姫」講読⑨
5回目 「蛇性の姫」講読②	13回目 「蛇性の姫」講読⑩
6回目 「蛇性の姫」講読③	14回目 「蛇性の姫」と「白蛇伝」
7回目 「蛇性の姫」講読④	15回目 まとめ
8回目 「蛇性の姫」講読⑤	

◆教科書 丸沼『改訂版 雨月物語 現代語訳付き』 上田秋成著・鵜月洋訳注 角川学芸出版（角川ソフィア文庫）864 円（税込）（送料 215 円）

〔当日資料配付〕当日、プリントを配布します。

◆参考書 授業時に紹介します。

◆成績評価基準 平常点（20%）、試験（80%）。毎回出席することを前提として採点します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆世界の多様な宗教を理解する 1

〔宗教学概論〕

金曜日 4 時限

担当者：合田 秀行

◆学修到達目標 世界の諸宗教に関する幅広い知識の習得を目的とする。前期は、宗教学の学問的な方法論について学んだ後、主にセム系一神教と称されるユダヤ教・キリスト教・イスラームに関する歴史的展開や教義について理解を深める。さらには、先住民の宗教に関する知識も学ぶ。

◆授業方法 指定した教科書に基づいて講義形式で進めますので、必ず下記のテキストを用意して下さい。最初に第二章を取り上げ、宗教学の方法論について解説します。続いて、第一章前半については、テキストに従って進めていますが、第三章・第四章の宗教学用語の解説と第五章の基本文献の紹介と、随時、具体的な宗教の概説とを関連づけるなどして並行的に取り上げていきます。映像資料も活用して理解を深めます。

◆準備学修 予め指定した教科書の範囲に目を通して講義に臨んで下さい。特に第一章「世界の諸宗教」の第1節から第5節までが前期の軸となりますので重点的に予習しておくこと。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 ガイダンス	9回目 キリスト教3 映像資料鑑賞
2回目 現代人と宗教	10回目 イスラーム1 教義
3回目 宗教学へのアプローチと他社理解	11回目 イスラーム2 クルアーンとイスラーム法
4回目 宗教学の方法と意味の探究	12回目 イスラーム3 映像資料鑑賞
5回目 ユダヤ教1 ユダヤ人の教えと歴史	13回目 先住民の宗教1 北米・南米・オーストラリア
6回目 ユダヤ教2 映像資料鑑賞	14回目 先住民の宗教2 アジア・日本・アフリカ
7回目 キリスト教1 誕生と歴史的展開	15回目 まとめ
8回目 キリスト教2 信仰内容と儀礼	

◆教科書 丸沼『宗教学入門』 棚次正和・山中弘編著 ミネルヴァ書房 3,024 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書 使用しない。

◆成績評価基準 平常点（30%）、試験（70%） 講義に取り組む姿勢と試験とで総合的に評価します。

◆実践情報リテラシー

〔情報概論 B〕

金曜日 5 時限

担当者：一島 力男

◆学修到達目標 まず、Windows 8 の基本操作とネットワーク上でのパソコン利用について学ぶ。その上で、WWW による情報収集、ワードによる文書の表現方法、エクセルによるデータの集計方法について学ぶ。

◆授業方法 本講座では講義と演習の両方を行う。講義ではコンピュータネットワークの仕組と歴史などについて学ぶ。演習では、コンピュータを知的道具として利用できるようになることを目的として様々な課題に取り組む。
※授業は、Windows 8、Office2013 の環境で実施する。

◆準備学修 教科書の第1章に書かれている内容を予習しておくこと。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回目 ガイダンス	9回目 授業内テスト1
2回目 コンピュータネットワークの概要	10回目 エクセル（1）
3回目 Windows 8 の基本操作とネットワーク利用	11回目 エクセル（2）
4回目 WWW とサーチエンジンの利用	12回目 エクセル（3）
5回目 ワード（1）	13回目 エクセル（4）
6回目 ワード（2）	14回目 授業内テスト2
7回目 ワード（3）	15回目 まとめ
8回目 ワード（4）	

◆教科書 丸沼『30 時間でマスター Word & Excel 2013 Windows 8 対応』 実教出版編修部 972 円（税込）（送料 350 円）

◆参考書 授業中に指示する。

◆成績評価基準 実習課題（40%）、提出課題（20%）、授業内テスト（40%）により総合評価する。
※授業に毎回出席することを前提に評価する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

MEMO

開講講座表 (火曜日)
開講講座表 (水曜日)
開講講座表 (木曜日)
開講講座表 (金曜日)
開講講座表 (土曜日)
受講及び試験
受講手続
申込講座の許可と不許可
受講料等の納入
受講準備
保健体育講義 I 登録の講義
オーブン受講
胸部X線検査
各種用紙

【土曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単開位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受才 ー ブ 講 ン	
					科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件		
1 ・ 2 時 限	AF11	総合科目 I ~ VI	通信教育部 専任教員 複数名で担当	2	B101S0	総合科目 I	×	1年	<ul style="list-style-type: none"> I ~ VIのいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 		
					B102S0	総合科目 II					
					B103S0	総合科目 III					
					B104S0	総合科目 IV					
					B105S0	総合科目 V					
					B106S0	総合科目 VI					

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆自主創造の基礎 1

土曜日 1・2 時限

〔総合科目 I ~ VI〕

担当者：通信教育部専任教員複数名で担当

◆学修到達目標 「自主創造の基礎 1」では、大学生としての基本的な資質を育成することを教育目標とします。この授業科目は、いわゆる専門教育の前段となる基礎教育ではなく、社会人として学修することの意義やその在り方について授業を通じて理解し、“自主創造型パーソン”の育成のための基礎教育に位置付けられます。具体的には、①学ぶ意味に気付くことができる。②主体的に学ぶ喜びを意識することができる。③積極的に参加する姿勢を持つことができる。④日本大学と通信教育部について説明することができる。ことを目標とします。

◆授業方法 本授業では、講義形式のほか、アクティブ・ラーニングの授業形態を採ります。そのため、双方向かつ対話型で行う「学生参加型」の授業を実践します。また、知識を“覚える”ことのみに終始するのではなく、“自ら考え行動する”ことに主眼を置いているため、基本的には、「個人ワーク」、「グループワーク」、「発表・共有」の繰り返しにより、授業を展開します。

「グループワーク」では、授業当初に指定された学生のグループで作業を行います。チームワークが重要ですので、当初のメンバーを改変しないために、必ず初日から最終日まで参加してください。

◆準備学修 アクティブ・ラーニングの授業形態を採りますので、必ず指示された課題について、必ず予習を行って、授業に臨んでください。

◆履修条件 ①授業初日のガイダンスから出席すること。②平成 28 年度「自主創造の基礎 I」で合格済の学生は受講不可。③受講適正人数を超過した場合、受講を制限する場合があります。

◆授業計画〔各 180 分〕

1回目	【講義】スタートアップ 【講義・演習】コミュニケーションをはかる
2回目	【講義】大学で学ぶとは 一日本大学一 【講義】大学で学ぶとは 一通信教育部一
3回目	【講義】大学での学修で必要なこと 【講義】通信教育部での学修方法
4回目	【講義】図書館を利用する 【演習】情報の収集と整理
5回目	【講義】論理的文章を書く前提 【演習】レポートを作成してみる
6回目	【講義】プレゼンテーションの方法 【グループワーク】プレゼンテーションの実践練習
7回目	【グループワーク】グループワーク 一テーマ決定・討論一 【グループワーク】グループワーク 一討論の整理一
8回目	【グループワーク】グループワーク 一成果の発表一 【グループワーク】能力向上をめざして 一自己評価一

※ 授業進捗等の都合により、授業順序を一部変更して実施する場合があります。

◆教科書 資料は適宜配布します。

◆参考書 必要に応じて紹介します。

◆成績評価基準 課題設定、問題探求、グループ内における議論、成果のまとめなどを総合的に判断して評価を行います。各回における課題やプロダクトやレポートなどを成績評価対象とします。

※全回出席を前提とします。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

V 受講及び試験

1 講座受講時の注意点

①ポータルサイト及び 掲示板で最新情報の 確認

登校の際は、通信教育部1号館1階学生ホールにある掲示版で最新情報を確認してから講義に出席してください。
また、「講堂変更」・「休講」等、日々の授業に関する情報についても随時、ポータルサイトや掲示板でお知らせします。

②受講上の注意 (出席・欠席・遅刻等)

【出席について】
スクーリングは、毎回出席することを原則としています。
交通機関の遅れや特別な事情がある場合以外での遅刻はしないよう心掛けてください。
※授業を途中から受講することは、担当教員や周りの受講者に対して迷惑な行為です。時間に余裕を持って行動してください。

【欠席について】
止むを得ぬ事情によりスクーリングを欠席した場合は、次回の出席時に直接、担当教員へ欠席した旨を伝えてください。
※事務局及び講師室では、欠席の連絡は受け付けられません。

③受講上の注意 (休講・補講)

【休講について】
スクーリング期間中、担当教員の都合や天候により授業を休講する場合があります。

- ① 事前に情報を得ている場合は、ポータルサイト及び掲示板でお知らせします。
- ② 当日、急きょ、担当教員の体調不良等の理由により休講する場合は、授業講堂において出席を取り、次回担当教員に出席していたことを伝えます。
(この場合は、掲示板には休講掲示を出しません。)
- ③ その他、天候により急きょ、休講となる場合はホームページ、ポータルサイトにてお知らせします。

【補講について】
スクーリング期間中に休講した場合、必ず補講を実施します。補講は、下記の①もしくは②の日程で実施します。

- ① 補講日程に実施
7月15日(土), 7月24日(月)
- ② スクーリング期間中のその他日程

「スクーリング試験」受験上の注意

- 1 「学生証」及び「領収書（銀行領収印の押印されているもの）」を机上通路側の監督者が見やすいところに置くこと。受講手続及び受講料納入がない場合、受験できない。
- 2 「学生証」を忘れた場合又は未更新の場合は、事前に教務課（講師室）に申し出て指示を受けること。
- 3 携帯電話等は、電源を切り、鞄等に収納し身体から離しておくこと。時計・電卓としての使用も禁止する。
- 4 持ち込みを許可されたもの以外は机上に置かないこと。
- 5 解答用紙は、1人1枚とし、再交付はしない。
- 6 解答用紙の下段、太線枠内※印の事項については、必ずペン又はボールペンで記入すること。当該事項について記載がない場合又は誤記等は採点の対象にならない場合がある。
- 7 試験開始後20分以上遅刻した者は受験することができない。
- 8 途中退場は、試験監督者の指示がある場合に限り、試験開始30分後から認める。解答用紙を試験監督者に提出して退場すること。なお、用紙の持ち帰りは一切認めない。
- 9 試験場では、試験監督者の指示に従うこと。
- 10 不正行為（不正とみなされる行為含む）は絶対行わないこと。不正行為を行った場合は、学則により処分（停学・退学等）される。

※試験中の参考物等の貸し借りは不正行為とみなす。

2 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は、平成29年度授業料及びスクーリング受講料を納入した学生に対し、ポータルサイトでお知らせします。ただし、スクーリングの申込を「受講届」にて行った場合には、教務課から、結果通知を郵送します。ポータルサイトから申込みを行った場合には送付されませんので、あらかじめご了承ください。掲載の開始はポータルサイトの「お知らせ」に掲載します。

電話・郵便による問い合わせには一切応じることができません。また、スクーリング結果通知の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延・未着や、その他の事故に対していかなる配慮も行いませんので、スクーリング結果通知を紛失した場合などはポータルサイトで確認、又は「単位照合票」の交付を受け、確認してください。

結果内容に疑義がある場合は、結果通知日から3ヶ月以内に教務課まで問い合わせてください。なお、それ以降の疑義に関しては対応いたしません。

結果発表時期	平成29年8月下旬
--------	-----------

① 結果の表示

結果は、「合格」、「不合格」、「未受講」で発表します。

受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし、単位は修得できません。

② 単位数

結果が「合格」の場合、シラバスに記載されている開講単位数を修得したことになります、また同時にスクーリング単位も修得したことになります。

1 履修登録をする

履修登録上の注意事項

「ポータルサイト」と「履修届」の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。

① 「ポータルサイト」による申込み

●履修登録の前に

1	履修登録には、IDとパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード = 自分の西暦生年月日（半角数字8桁）
2	履修登録の受付メールを受信するには、メールアドレスの登録が必要です。 「学生メニュー」の「学生情報照会・修正」より、メールアドレス及びメール送り先区分を事前に登録してください。

●履修登録方法

1	通信教育部公式ホームページ（URL: http://www.dld.nihon-u.ac.jp ）の「在学生ログイン」をクリックしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「履修登録」をクリックしてください。	
3	履修登録科目の一覧から登録したい科目のチェックボックスを選択し、[登録確認] ボタンをクリックしてください。 ※一覧には学修が開始できる科目が表示されます。	

4	履修登録する科目を確認し、[登録実行]ボタンをクリックしてください。	
5	履修登録が完了すると、登録されているメールアドレスに受付通知メールが配信されます。	

●履修登録確認

1	履修登録方法の1の手順で、ログインしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「履修登録確認表」をクリックしてください。	

●履修登録の変更・取りやめ

同一履修年度かつまだ、学修を開始していない科目に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

1	履修登録方法の1・2の手順で、履修登録の画面まで進んでください。	
2	取り消したい科目の前の「消しゴム」部分をクリックし、「取消」に変わったら、[登録確認]ボタンをクリックし、履修登録方法の4・5の手順で変更を完了させてください。	

② 「履修届」による申込み

「履修届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「履修届」を作成し、教務課に提出してください。

(1)	履修届	(2)																																										
履修登録年度 平成 29 年度		提出年月日 平成 29 年 4 月 1 日																																										
学生番号 12131000	姓 氏名 日大花子	フリガナ ニチダイ ハナコ (必ず連絡のとれる電話番号を記入すること)																																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">科目コード</th> <th style="width: 60%;">科目名</th> <th style="width: 25%;">単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 B10700</td><td>哲学</td><td>4</td></tr> <tr><td>2 C10100</td><td>英語 I</td><td>2</td></tr> <tr><td>3 C10200</td><td>英語 II</td><td>2</td></tr> <tr><td>4 H10100</td><td>保健体育講義 I</td><td>1</td></tr> <tr><td>5 L30100</td><td>行政学</td><td>4</td></tr> <tr><td>6 K20100</td><td>憲法</td><td>4</td></tr> <tr><td>7 K20200</td><td>民法 I</td><td>4</td></tr> <tr><td>8 K20300</td><td>刑法 I</td><td>4</td></tr> <tr><td>9 J10150</td><td>体育実技 I</td><td>1</td></tr> <tr><td>10 B11700</td><td>政治学</td><td>4</td></tr> <tr><td>11 T10100</td><td>現代教職論</td><td>2</td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			科目コード	科目名	単位	1 B10700	哲学	4	2 C10100	英語 I	2	3 C10200	英語 II	2	4 H10100	保健体育講義 I	1	5 L30100	行政学	4	6 K20100	憲法	4	7 K20200	民法 I	4	8 K20300	刑法 I	4	9 J10150	体育実技 I	1	10 B11700	政治学	4	11 T10100	現代教職論	2	12			13		
科目コード	科目名	単位																																										
1 B10700	哲学	4																																										
2 C10100	英語 I	2																																										
3 C10200	英語 II	2																																										
4 H10100	保健体育講義 I	1																																										
5 L30100	行政学	4																																										
6 K20100	憲法	4																																										
7 K20200	民法 I	4																																										
8 K20300	刑法 I	4																																										
9 J10150	体育実技 I	1																																										
10 B11700	政治学	4																																										
11 T10100	現代教職論	2																																										
12																																												
13																																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">科目コード</th> <th style="width: 60%;">科目名</th> <th style="width: 25%;">単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>14</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			科目コード	科目名	単位	14			15			16			17			18			19			20			21			22			23			24			25					
科目コード	科目名	単位																																										
14																																												
15																																												
16																																												
17																																												
18																																												
19																																												
20																																												
21																																												
22																																												
23																																												
24																																												
25																																												
記入例 0123456789 合計 28 単位 年間 48 単位まで登録できます。 教職生および 2 学年以上の教職コース登録者は 年間 60 単位まで登録できます。																																												
(3) (4) (5)																																												
日本大学通信教育部																																												

書き損じた場合は、修正テープ又は修正液で訂正してください。
訂正線で訂正する場合は、訂正印は不要です。

(1) 登録年度

本履修届にて履修登録する場合は、前期生は「平成 29 年度」、後期生は「平成 28 年度」と記入してください。

(2) 学生番号・氏名・提出年月日・電話番号

電話番号は、記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください。

(3) 科目コード・科目名

科目コード及び科目名は、『学修要覧』又は『コース履修の手引』を確認し、科目コード（6ヶタ）を記入してください。不備がある場合は受理できませんので注意してください。

(4) 単位

各科目の所定単位を記入してください。

(5) 合計単位

必ず合計単位数を記入してください。

【よくある不備】

- ・科目コード及び科目名の記入漏れ
- ・科目コードと科目名の不一致
- ・不配当科目の記入（例：3 学年から履修登録できる科目を 2 学年で「履修届」に記入する。）
学部や入学年度によって名称が異なる科目や登録できない科目があります。
特に教職コースの科目は注意が必要です。
- ・「卒業論文」、「博物館実習Ⅱ」及び「博物館実習Ⅲ」、「教育実習」及び「教育実践指導」及び「教育実習事前・事後指導」、「教職実践演習」は登録する必要がありません。
- ・「履修届」とは別の手続きとなります。『学修要覧』及び『コース履修の手引』を確認してください。
- ・履修登録済みの科目的記入
一度履修登録した科目は在学中有効ですので、再度履修登録することはできません。
もし記入された場合は、『履修登録エラーアイコン』に『すでに履修登録済みの科目です。』と表記されます。
- ・スクーリング等で所定単位が 4 単位の科目で、2 単位分修得している科目は登録できません。履修登録済と同様の扱いとなります。
- ・単位修得済み科目的記入
単位修得済み科目的登録はできません。
もし記入された場合は、『履修登録エラーアイコン』に『修得済みのため再履修できません。』と表記されます。
- ・年間登録単位を超過
年間 48 単位（教職生及び 2 学年以上の教職コース履修生は 60 単位）まで履修できます。
もし超過して記入された場合は、『履修登録エラーアイコン』に『履修制限単位を超えた履修登録はできません。』と表記されます。

③ 履修登録上の注意

- 「履修届」の不備内容によっては、受理せず返却する場合があります（不受理）。したがって、科目修得試験やスクーリング併用試験方式等の履修登録締切日以前に「履修届」が大学に到着していても、不受理の場合は履修登録にならず、試験の申し込みができません。
- 履修登録を行っただけでは、教科書の配本はありません。配本申請を別途行う必要があります。
- 履修済みの科目の変更、取消しは同一履修年度かつ学修を行っていない（リポート未提出、スクーリング申込みなし等）場合のみ可能です。追加は上限に達していない場合、Web 履修登録や巻末の「履修届」をコピーして使用してください。

2 講座を申し込む

申し込み上の注意事項

「ポータルサイト」と「受講届」の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。

① 「ポータルサイト」による申込み

●申込みの前に

1	申込みには、ID とパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード = 自分の西暦生年月日（半角数字8桁）
2	申込みには、パソコンのメールアドレスの登録が必要です。 登録していない場合は、「ポータルサイト」にある「NU-AppsG（在学生専用メールアカウント）」を参照して登録してください。
3	事前に履修登録が必要です。履修登録を行っていない科目は表示されません。 ●ページ参照

●申込方法

1	通信教育部公式ホームページ（URL: http://www.dld.nihon-u.ac.jp ）の「在学生ログイン」をクリックしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「スクーリング申請・取消」をクリックしてください。	

3	<p>「未申請スクーリング一覧」から申請したいスクーリングのチェックボックスを選択し、申請ボタンをクリックしてください。</p> <p>※履修登録を行った科目のみ表示されます。 必ず事前に履修登録を行ってください。</p>	<p>スクーリング申請一覧</p> <p>■ 申請済みスクーリング一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>期間</th> <th>講座コード</th> <th>講座名</th> <th>コード</th> <th>スクーリング名</th> <th>受講希望方式</th> <th>申請期限</th> <th>開講日程</th> <th>開催場所</th> <th>申請年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>是</td> <td>84B6</td> <td>倫理学実践</td> <td>013D100120</td> <td>倫理学</td> <td></td> <td>2015/04/01</td> <td>04/09~01/29</td> <td>日本大学通信教育部</td> <td>2015/02/26</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 未申請スクーリング一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>期間</th> <th>講座コード</th> <th>講座名</th> <th>コード</th> <th>スクーリング名</th> <th>申請期限</th> <th>開講日程</th> <th>開催場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>是</td> <td>84B6</td> <td>倫理学実践</td> <td>013D100130</td> <td>倫理学</td> <td>2015/04/01</td> <td>04/09~01/29</td> <td>日本大学通信教育部</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>否</td> <td>01CE</td> <td>哲学 A</td> <td>01CEB10700</td> <td>哲学</td> <td>2015/04/01</td> <td>04/09~01/29</td> <td>日本大学通信教育部</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>否</td> <td>01BN</td> <td>英語 B</td> <td>043D100430</td> <td>英語Ⅲ</td> <td>2015/04/01</td> <td>04/09~01/29</td> <td>日本大学通信教育部</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 申請</p>	選択	期間	講座コード	講座名	コード	スクーリング名	受講希望方式	申請期限	開講日程	開催場所	申請年月日	<input type="checkbox"/>	是	84B6	倫理学実践	013D100120	倫理学		2015/04/01	04/09~01/29	日本大学通信教育部	2015/02/26	選択	期間	講座コード	講座名	コード	スクーリング名	申請期限	開講日程	開催場所	<input type="checkbox"/>	是	84B6	倫理学実践	013D100130	倫理学	2015/04/01	04/09~01/29	日本大学通信教育部	<input type="checkbox"/>	否	01CE	哲学 A	01CEB10700	哲学	2015/04/01	04/09~01/29	日本大学通信教育部	<input type="checkbox"/>	否	01BN	英語 B	043D100430	英語Ⅲ	2015/04/01	04/09~01/29	日本大学通信教育部
選択	期間	講座コード	講座名	コード	スクーリング名	受講希望方式	申請期限	開講日程	開催場所	申請年月日																																																		
<input type="checkbox"/>	是	84B6	倫理学実践	013D100120	倫理学		2015/04/01	04/09~01/29	日本大学通信教育部	2015/02/26																																																		
選択	期間	講座コード	講座名	コード	スクーリング名	申請期限	開講日程	開催場所																																																				
<input type="checkbox"/>	是	84B6	倫理学実践	013D100130	倫理学	2015/04/01	04/09~01/29	日本大学通信教育部																																																				
<input type="checkbox"/>	否	01CE	哲学 A	01CEB10700	哲学	2015/04/01	04/09~01/29	日本大学通信教育部																																																				
<input type="checkbox"/>	否	01BN	英語 B	043D100430	英語Ⅲ	2015/04/01	04/09~01/29	日本大学通信教育部																																																				
4	<p>昼間・土曜スクーリングは併用試験方式での単位修得はできないため、スクーリング申請確認画面で「併用」欄が空欄になっています。他の短期集中型のスクーリングと同時に申込む際は、注意してください。</p>	<p>スクーリング申請確認</p> <p>■ スクーリング申請確認</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>講座コード</th> <th>講座名</th> <th>コード</th> <th>スクーリング名</th> <th>併用</th> <th>申請期限</th> <th>開講日程</th> <th>開催場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>是</td> <td>AB01</td> <td>英語A</td> <td>AB01CH1000</td> <td>英語Ⅰ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>2016/04/21</td> <td>04/12~07/29</td> <td>日本大学通信教育部</td> </tr> </tbody> </table> <p>まだ登録が完了していません。完了するには申請実行ボタンを押してください。</p> <p>■ 申請実行 ■ 戻る</p>	期間	講座コード	講座名	コード	スクーリング名	併用	申請期限	開講日程	開催場所	是	AB01	英語A	AB01CH1000	英語Ⅰ	<input type="checkbox"/>	2016/04/21	04/12~07/29	日本大学通信教育部																																								
期間	講座コード	講座名	コード	スクーリング名	併用	申請期限	開講日程	開催場所																																																				
是	AB01	英語A	AB01CH1000	英語Ⅰ	<input type="checkbox"/>	2016/04/21	04/12~07/29	日本大学通信教育部																																																				

●受付完了

申請受付が完了すると、登録されているパソコンのメールアドレスに申請受付メールが配信されます。配信されない場合は、「スクーリング・メディア授業申請・取消」内の「申請済みスクーリング一覧」に該当講座があることを確認してください。

スクーリング申請一覧

■ 申請済みスクーリング一覧

選択	期間	講座コード	講座名	コード	スクーリング名	併用	申請期限	開講日程	開催場所	申請年月日
<input type="checkbox"/>	是	AB01	英語A	AB01CH1000	英語Ⅰ	<input type="checkbox"/>	2016/04/21	04/12~07/29	日本大学通信教育部	2016/02/25

■ 取消

●申込確認

隨時、「ポータルサイト」で確認することができます。

1	申込方法の1の手順で、ログインしてください。																					
2	「学生メニュー」を選択し、「スクーリング・メディア授業情報一覧」をクリックしてください。	<p>HOME 学生メニュー 授業情報 MYプロフィール 質問／相談 アンケート リンク</p> <p>Menu</p> <p>メニュー</p> <p>履修</p> <p><input type="checkbox"/>履修登録 <input type="checkbox"/>履修・修得科目 <input type="checkbox"/>単位数累計表 <input type="checkbox"/>履修登録確認</p> <p>■ スクーリング申請・取消 ■ スクーリング情報一覧</p>																				
3	申込みをしたスクーリング・メディア授業の一覧が表示されますので、内容を確認してください。	<p>スクーリング情報一覧</p> <p>■ スクーリング情報一覧</p> <p>開講年度: <input type="radio"/> 2015 <input type="radio"/> 全て 検索</p> <p>■ スクーリング</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開講年度</th> <th>期間</th> <th>開催地</th> <th>講座コード</th> <th>講座名</th> <th>コード</th> <th>スクーリング名</th> <th>受講希望方式</th> <th>開講日程</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015</td> <td>夏!</td> <td>東京</td> <td>COA1</td> <td>保健体育講義Ⅰ</td> <td>COA1H10100</td> <td>保健体育講義Ⅰ</td> <td></td> <td>08/01~08/02</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	開講年度	期間	開催地	講座コード	講座名	コード	スクーリング名	受講希望方式	開講日程	評価	2015	夏!	東京	COA1	保健体育講義Ⅰ	COA1H10100	保健体育講義Ⅰ		08/01~08/02	
開講年度	期間	開催地	講座コード	講座名	コード	スクーリング名	受講希望方式	開講日程	評価													
2015	夏!	東京	COA1	保健体育講義Ⅰ	COA1H10100	保健体育講義Ⅰ		08/01~08/02														

《記入例》(講座「英語 C」において「英語Ⅲ」を選択した場合)

講 座 コ ー ド	開講講座名	担当講師名	充 当 科 目	
			科 目 コ ー ド	科 目 名
●●●●	英語 B	○○ ○○	C10100	英語 I
			C10200	英語 II
			C10300	英語 III
			C10400	英語 IV
▲▲▲▲	英語 C	○○ ○○	C10100	英語 I
			C10200	英語 II
			C10300	英語 III
			C10400	英語 IV

(イ) (ア)

(工) (ウ)

- (ア) 希望する講座として「英語 C」を選択。
- (イ) 「英語 C」を選択したことによって講座コードは「▲▲▲▲」となる。
- (ウ) その講座で充当する科目として「英語Ⅲ」を選択。
- (工) 「英語Ⅲ」を選択したことによって充当科目コードは「C10300」となる。
- (オ) 「受講届」の記入は、講座コードに「▲▲▲▲」、充当科目コードに「C10300」と記入します。また講座名に「英語 C」と記入します。
- ※「・・・演習」という講座も同様で、例えば「英語学演習」の場合、「英語学演習 I」、「英語学演習 II」及び「英語学演習 III」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語学演習 I ~ III」のどの科目に充当させるかを「受講届」に記入する充当科目コードによって各自が大学に申告してください。

記入上の注意事項

- 黒のボールペンを使用し、楷書で正確に記入してください。
- 「受講届」提出締切後の追加、変更はできません。
- 記入誤り、記入漏れによる追加変更は一切いたしません。
- 次の場合、大学の判断により事務的な処理にて講座の決定を行いますので、希望講座を受講できない可能性があります。
 - ・乱雑な記入
 - ・記入誤り、記入漏れ
 - ・記入した講座コード、講座名、充当科目コードの不一致

(3) 「受講届」を提出する（提出締切日は表紙を参照）

「受講届」の記入が終わったら、申込内容の控えをとり、「受講届」を教務課に提出してください。
提出方法は以下の2通りです。

ア 教務課窓口に直接提出

教務課前に設置のポスト（白色）に投函してください。【提出期限は事務取扱時間内】

イ 郵送で提出する

「受講届」を封筒に入れ、切手貼付の上、郵送してください。【提出締切日必着】

郵送提出においての注意事項

天災や郵便の遅延・未着そのほかの事故については、いかなる配慮も行いません。

「受講届」が教務課に届かなかった場合、受講ができなくなりますので、特定記録郵便・簡易書留・書留を強くお勧めします。

特定記録郵便の場合、大学での受領記録が残りませんので、「スクーリング受講資格審査結果通知書」が届くまで、郵送した際の受領証を必ず保管してください。紛失の場合、郵便追跡確認ができなくなります。

また、リポート等、他の書類と一緒に送付するとその間にはさまってしまい、事故の原因になります。「受講届」は単体で送付してください。

3 受講講座の変更・追加

① 受講講座変更届の作成

用紙で受講講座の変更・追加をする場合は、本誌巻末の「受講講座変更届」を使用し、以下の記入例を参考に作成してください。

※変更・追加のために、複数の「受講届」用紙を使用した場合や他のスクーリングの「受講届」を使用した場合は、正しい申込みが判別不能となり、申込みが「無効」となりますので、決して使用しないでください。

② 記入事項

変更・追加する事項の記入を行うほかに変更前の申込講座の「スクーリング名称」、「開催期」、「講座コード」、「講座名」及び「充当科目コード」を明記してください。また、学生番号・氏名も忘れずに記入してください。

※記入する講座がら講座以上の場合にはコピーして使用してください。

③ 提出先・提出方法

「受講届」提出と同様です。

④ 提出締切

「受講届」提出の締切日と同一（4月20日（木））です。別途の日程はありません。

※郵送の場合は受講届の提出と同様に提出締切日までの必着です。

《記入例》

平成 29 年 4 月 20 日								
日本大学通信教育部 御中								
平成 29 年度スクーリング受講講座変更届								
標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたしました。 本書面をもってお願ひいたします。								
記								
(当時の受講講座)								
スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード					
火曜 1 時限	AB11	政治学	B11700					
火曜 2 時限	AB21	心理学 B	B12100					
火曜 3 時限	AB31	英語 A	C10100					
(変更後の受講講座)								
スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード					
火曜 1 時限	AB11	政治学	B11700					
火曜 4 時限	AB41	哲学 A	B10700					
火曜 5 時限	AB51	英語 B	C10100					
上記のとおり相違ありません。								
学 生 番 号	2	2	1	7	3	9	9	9
フ リ ガ ナ	ニチ ダイ タ ロウ							
氏 名	日 大 太 郎							
自宅電話番号	03-5275-8911							
緊急時電話番号								
				教務課受付印				
提出締切日：【窓口】4月20日（木）事務取扱時間内厳守 【郵送】4月20日（木）必着								

VII 申込講座の許可と不許可

1 受講許可を確認する

申込内容に基づき大学が受講資格審査を行い、その結果を受講資格審査結果通知により通知します。ポータルサイトでの申請者には送付されません。ポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて同様の通知をPDFファイルで閲覧できますので、確認してください。

《受講資格審査結果通知書例》

スクーリング受講資格審査結果							
受講が許可された場合は、「○」が表示されます。				2017年 5月12日 スクーリング種別： 昼間・土曜（前期） 開催地： 東京			
講座コード	講座名	担当講師	受講許可	併用	充当科目	充当科目名	単位
英語 B	小澤 賢司	○	—	C10400	英語IV	1	
<p>〒102-8005 東京都千代田区九段南 4-8-28</p> <p>日大 太郎 様 22173999 (スクーリング受講資格審査結果通知)</p> <p>日本大学通信教育部 東京都千代田区九段南4-8-28 電話：03-5275-8911</p> <p>なお、異議のある場合は、教務課（試験係）まで問い合わせてください。 ポータルサイトと受講届（はがき）の両方から申込みがあった場合、「希望日程重複」のメッセージが表示されますが、一方で受講許可が「○」になっていれば問題ありません。</p>							

① 充当科目コードの確認

必ず充当科目コード・単位を確認してください。

「充当科目コード」及び「開講単位数」欄に記載された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。

「英語」や「演習」などのように「I, II, III…」の区別のあるものや、科目の名称が類似している科目がありますので、十分注意してください。

スクーリング併用試験方式で申込みをした科目であっても、単位数はスクーリング開講単位が記載されています。

② 講座コード・講座名・時間割の確認

必ず講座コード・講座名・時間割を確認してください。

「講座コード」欄に記載された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。受講申込者数により講座が分割されている場合があります。

【主な不備理由一覧】

○履修なし

受講届のみ提出している場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。

○希望日程重複

ポータルサイトと受講届の両方で申込みを行った場合に表示されます。スクーリングの受講は可能です。

○科目修得試験方式確定

科目修得試験にすでに合格している場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。

2 講座振り分け及び受講不許可について

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者が定員を超えた場合、以下の①から③のいずれかで対応させていただきます。

① 超過した人数分の学生を他講師担当の同一科目講座へ振り分ける

② 新たに他講師担当の同一科目講座を増設し、超過した人数分の学生をその講座へ振り分ける

※①及び②の場合、振り分けられた講座を受講することになります。担当講師、授業内容は振り分けられた講座の内容に変更されますのでご注意ください。

③ 超過した人数分の学生を受講不許可にする

※希望した講座が受講できることになります。また、新たに代わりの講座を申し込むこともできません。あらかじめご了承ください。

振り分けられた講座の受講を辞退する場合には、「3 許可講座を辞退する」を参照し、辞退手続を行ってください。なお、①及び②についても受講辞退後、新たに代わりの講座を申し込むことはできません。あらかじめご了承ください。

3 許可講座を辞退する

この手続は、振込用紙を受け取った後、やむを得ない理由等により受講許可講座の全部又は一部の受講ができなくなった場合、その講座の辞退を行う手続です。

ただし、この辞退手続はスクーリング受講料等納入前であることが条件となります。スクーリング受講料等納入後に受講辞退の意思表示があったとしても受講料等は一切返還しません。

また、一部辞退を行わないまま、希望する講座を受講しようとした場合、受講申込講座全ての受講料をお支払いいただくことになります。

講座の辞退を行う場合には以下により手続を行ってください。

① 手続書類

以下の(1)及び(2)を教務課試験係まで提出してください。

- (1) 「受講申込辞退願」【各種用紙】
- (2) 振込用紙
- (3) 362 円分郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号、住所及び氏名を明記）

※(3)は、一部の講座を辞退する場合のみ必要です。

② 手続期限 いかなる場合でも期限後は手続できません。

5月 19 日（金）《事務取扱時間内必着》

③ 提出先 教務課試験係

事務取扱時間内であれば窓口での提出もできます。

※この手続は他の講座への変更・追加申込みではありませんので注意してください。

受講許可の下りた講座に対し、振込用紙を送付します。
申込講座の辞退がない場合、受講料を期限までに納入してください。

1 受講料：1講座 10,000 円×受講講座数
「情報概論」のみ 13,000 円（コンピュータ等実習料を含むため）

2 振込用紙発送予定日：5月 12 日（金）

3 納入期限：5月 26 日（金） 銀行窓口 ※当日取扱時間まで

4 納入方法

必ず、大学から送付される振込用紙により銀行窓口から振り込んでください。

注 意 事 項

① 納入に際しての注意事項

- (1) 銀行（ゆうちょ銀行を除く）窓口のみの取扱いとなります。会計課窓口及び郵送での納入はできません。
- (2) 自動振込機（ATM）及びネットバンキングからの納入は受付けません。
銀行係員が勧めても使用しないでください。
- (3) 振込用紙に記載された事項を訂正したものは受け付けできません。

② その他の注意事項

- (1) 発送予定日から5日経過しても振込用紙が届かない場合は、至急会計課に連絡してください。
また、期日までに納入できない事情が発生した場合は、至急教務課に連絡してください。
- (2) 領収書（銀行領収印の押印されているもの）は、受講時及び試験時に提出を求められる場合があります。
受講期間中は、学生証と共に常に携帯してください。
- (3) 受講料等を納入したのちに受講申込辞退の意思表示があったとしても、受講料等の返還は行いません。

1 使用教材の入手

スクーリングは集中講義形式の授業ですので予習なしでの受講は学修効果が期待できません。受講許可後、本誌のシラバス（教科書、参考書）で使用教材が、『通信教育教材』か『市販教材（市販本）』かを確認の上、以下の要領で教材を入手してください（教科書等の価格・送料はシラバスに記載されています）。

教材購入方法の見分け方は、後掲の「③教材購入方法の見分け方」を参照してください。

注意事項

すでに所持している『通信教育教材』であっても、教材改訂によりシラバスに記載されている「教科書」や「参考書」と異なる場合がありますので、科目名のみによらず、シラバスに掲載されている「教材コード」と所持する『通信教育教材』の教材コードとを照合し、不一致の場合は、教材を入手してください。

なお、教材購入後の変更・取消及び費用の返還はできませんので注意してください。

① 使用教材が『通信教育教材』の場合

通材 印が付されている教材は、本誌「各種用紙」の「教材配本申請書」を使用し配本申請または「教材購入願」を使用し購入してください。既に今回の使用教材を入手している場合は、改めて「教材配本申請書」によって配本申請または「教材購入願」によって購入する必要はありません。教材の送付先は、すべて大学に登録されている各自の住所への発送となります。教材が手元に届くまでは手続完了後、約1週間を要しますので、受講許可を確認した後、速やかに手続きを行ってください。

※本手引掲載の教材価格は平成29年度の教材価格です。

なお、『通信教育教材』について不明な点は、研究事務課（電話03-5275-8890）にお問い合わせください。

② 使用教材が『市販教材（市販本）』の場合

『市販教材（市販本）』は、一般書店で購入してください。住居地周辺の書店で購入できない場合、**丸沼**印のついている本については、丸沼書店で購入できます。

（書店名）（株）丸沼書店

（所在地）〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-8-12

（電話）03-3261-4540

（FAX）03-3261-0118

（営業時間）9:00～20:00（日曜日：10:00～19:00）

（購入方法）直接店頭（143ページを参照）で購入のほか以下（1）～（3）の方法で通信販売も可能です。

（1）代金引換（手数料260円が別途かかります）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、上記あてに郵送又はFAXをしてください。

（2）為替（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格+送料の合計金額分の定額小為替又は普通為替を同封して上記あてに郵送してください。

（3）現金書留（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格+送料の合計金額を同封して上記あてに郵送してください。

不明な点は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

『市販教材（市販本）』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。改訂等により金額が変わることもあります。あらかじめご了承ください。

③ 教材購入方法の見分け方

※事前資料送付・当日資料配布については、教務課（電話 03-5275-8911）にお問い合わせください。

④ スクーリング受講に伴う六法の携行及び指定の六法

法律系の科目を受講する場合、特にシラバスに記載がなくとも『六法』は必携となりますので、各自用意の上、授業に臨んでください。

通信教育部指定の六法について

スクリーニング試験時に参考が許可される『六法』は、次の9種類に限ります。ただし、担当講師から別途指示がある場合は、この限りではありません。

《試験時に参照が許可される六法》

岩波書店 『コンパクト六法』 『ヤレクト六法』 『基本六法』

有斐閣『六法全書』『ポケット六法』

第一法規『司法試驗用六法』、『旧司法試驗用六法』、『新司法試驗用六法』

二 省堂『デイリー六法』

注意事項：

- (1) 上記指定の『六法』に、書き込み等がある物は、参照物として認められません。したがって、『六法』は学修時に使用するものと試験時に使用するものとで別に用意してください。

(2) 判例・解説つきのもの（『六法』付録の小冊子等を含む）は参照物としては認められません。

2 通学定期券の購入手続

通学定期券は、正科生がスクーリング受講を目的として通学する場合に限り購入できます。通学定期券購入の手続き等は、以下のとおりです。

学生証裏面シールへの記入	① 「学生番号」、「氏名」、「現住所」を黒のボールペンで記入してください。 ② 「通学区間」欄に対象区間及び経由（乗り換え駅）を記入してください。また、定期券が2枚に分かれる場合は2行に分けて記入してください。
学生課窓口で記入する所定用紙について	① 通学定期乗車券発行控（全員必要）[本誌巻末 141 ページ参照] ② 通学証明書（都営地下鉄、都電、各路線バス等を利用する場合及び三崎町キャンパスに通学する場合に必要） ③ 滞在先届（スクーリング期間中に現住所以外から通学する場合に限り必要）
対象区間	自宅（又は滞在先）の最寄駅から以下「通信教育部最寄駅」までの最短経路
購入手続き	① 上記「通学定期乗車券発行控」を記入の上、学生証持参で事務取扱時間内に学生課窓口にて「在籍確認」印の押印を受けてください。 ② 通学定期券取扱駅の窓口にて定期券購入用紙に必要事項を記入し、押印済の学生証を提示することで通学定期券が購入できます。
その他注意事項	① 通学区間が変更となった場合は、学生課に届け出してください。 ② 年度内に学生証裏面シールの「通学定期乗車券発行控」欄が不足となった場合は、学生課へ届け出してください。 ③ 「在籍確認」印は、年度内に限り有効です。

【通信教育部最寄り駅】

鉄道会社	最寄駅（市ヶ谷キャンパス）
JR東日本	総武線 市ヶ谷駅
都営地下鉄	新宿線 市ヶ谷駅
東京メトロ	有楽町・南北線 市ヶ谷駅

※最短経路とは所要の時間が最短、交通費が最安、乗換が最少である等の合理的な経路のことをいいます。

※途中経路や迂回経路は一切認められません。

注意事項

通学定期券を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、鉄道会社等の営業規則に基づき定期運賃の数倍の罰則金等が科せられます。また、大学自体も通学定期券発行の指定から外され、他の学生に多大な迷惑をかけることになります。不正使用は絶対に行わないでください。

【不正使用の例】

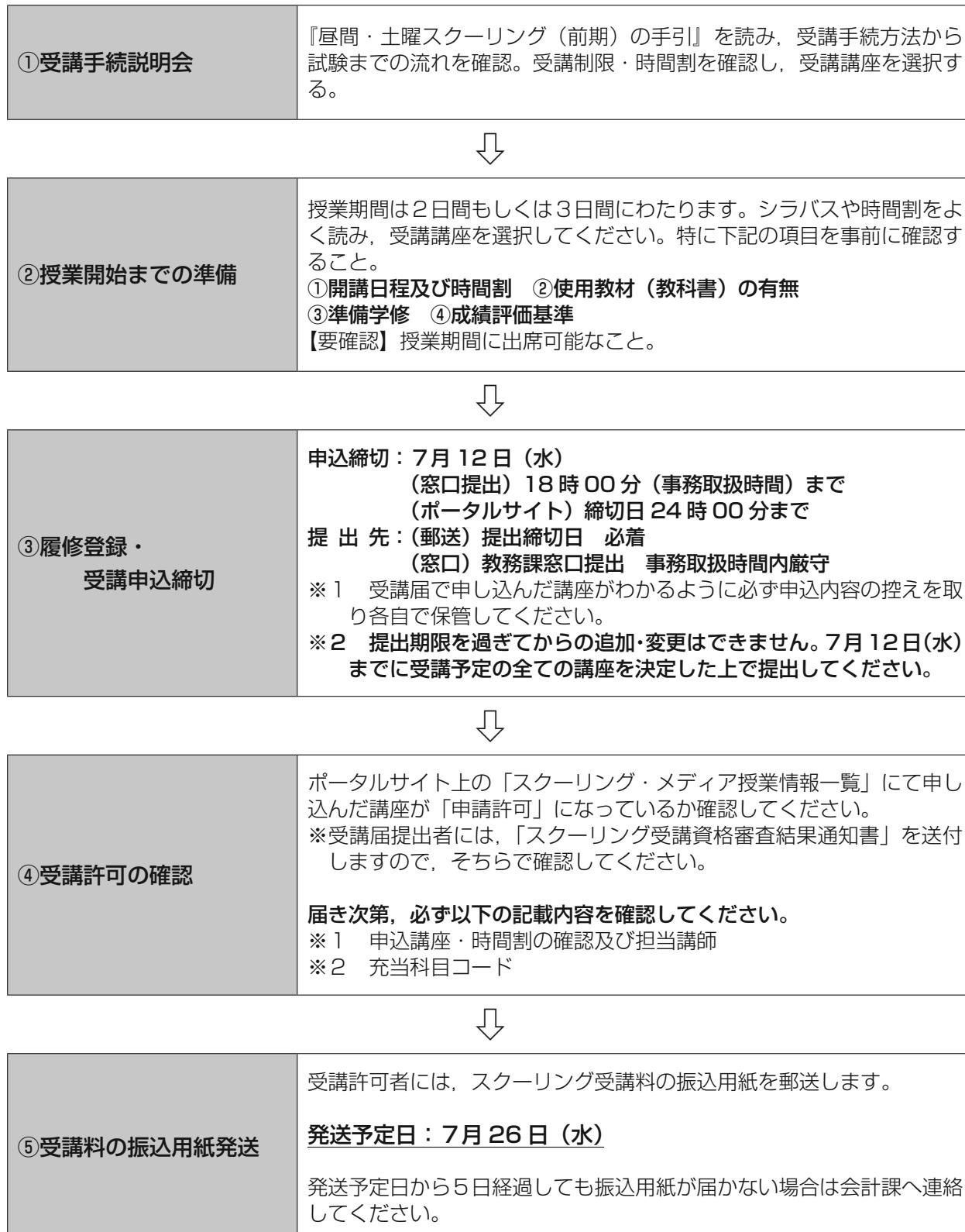
① 現住所及び通学区間を偽ること。	③ 他人に譲渡・貸与すること。
② 記名人以外が使用すること。	④ その他、不正に使用すること。

MEMO

X 保健体育講義Ⅰ, 体育実技の受講について

保健体育講義Ⅰ及び体育実技は他の講座と異なり、日本大学文理学部にて実施されます。申込締切日程、授業時間等も異なりますので、以下の事項をよく確認してください。

1 受講申込から受講料納入までの流れ





許可講座の辞退

手続期限：8月3日（木）
 提出書類：①受講申込辞退願
 ②振込用紙
 ③返信用封筒（362円分の切手貼付）
 ※③は一部講座辞退手続き者のみ



⑥受講料の納入

ポータルサイト（又はスクーリング受講資格審査結果）及び「振込用紙」に記載された事項を確認の上、受講料を下記の納入期限までに納入してください。
受講料納入期限：8月14日（月）
銀行窓口のみ ※当日取扱時間まで
 ※ 受講料（1講座 10,000円）



⑦手続完了

保健体育講義・体育実技の手続は完了です。
 領収書は、スクーリング受講中は必ず携行してください。

2 開講講座表・シラバス

曜日 時間	講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オーブン 講
					科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年	受 講 条 件	
別 日 程	AT11	保健体育講義 I	高橋 正則	1	H10100	保健体育講義 I	×	1年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
	AT12	体育実技 I・II	高橋 正則	1	J101S0	体育実技 I	×	1年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 ・I, IIのどちらに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。	
					J102S0	体育実技 II				

◆健康・体力の維持増進について考える

【保健体育講義Ⅰ】

9/7, 9/8

担当者：高橋 正則

◆学修到達目標 生涯を通じて最も大切な健康とは何か、また、健康・体力の維持増進のために何が必要かについて、基本的な知識を身につけます。この授業では、それらの知識が実際に自らの生活習慣に結びつくための基礎づくりをねらいとしています。

◆授業方法 講義形式の授業ですが、資料はパワーポイントによってスクリーンに示しながら、それに沿って授業を進めます。また、必要な場合には、配布資料を準備する予定です。授業の最後に、講義内容からレポートや課題を出す場合があります。

◆準備学修 新聞やテレビなどのマスコミを通して、健康・体力に関する情報に日頃から注目するよう心がけてください。

◆授業計画

1日目	午前：ガイダンス（スケジュール、受講時の注意等） コミュニケーションスキル、体力の定義を理解する 午後：体力トレーニングとトレーナビリティー、効果的な運動学習とは (講義の順番等は変更する場合があります)
2日目	午前：メンタルヘルスをチェックする、オリンピズムとは何か？ 午後：スポーツ・体育の歴史、まとめおよび試験 (講義の順番等は変更する場合があります)

◆教科書 使用しない（授業時、必要に応じて資料を配布します）

◆参考書 使用しない

◆成績評価基準 授業への取り組みおよびレポート・試験結果によって総合的に評価します。

◆運動・スポーツに親しむ

【体育実技Ⅰ・Ⅱ】

9/4～9/6

担当者：高橋 正則

◆学修到達目標 高齢社会を迎え、健康・体力の維持増進の必要性はますます重要になってきています。この授業では、運動・スポーツの実践を通して、その楽しさや重要性を認識し、適度な運動習慣を日常生活習慣に取り込んでいくための基礎づくりをねらいとしています。

◆授業方法 原則として天候に左右されない体育館での授業とし、小グループで色々な運動やスポーツ（卓球やバドミントンなどのネット型競技を中心）を体験しますが、年齢相応、体力相応の参加の仕方を理解します。また、体力測定を通して、体力の現状を自覚し、その維持増進についての認識を高めます。

◆準備学修 1日20分以上の連続歩行と、軽い柔軟運動の実施を心がけてください。

◆授業計画

1日目	ガイダンス（施設の使用方法および注意事項等）、グループ分け、準備運動、レクリエーション、体力測定（握力、長座体前屈、上体起こし、反復横跳び等）、自己評価、体力の維持増進についての解説 班別スポーツ種目の展開（1）卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等 (施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります)
2日目	班別スポーツ種目の展開（2）卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等 班別スポーツ種目の展開（3）卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等 (施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります)
3日目	班別スポーツ種目の展開（4）卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等 班別対抗ソフトバレー大会 (施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります)

◆教科書 使用しない

◆参考書 使用しない

◆成績評価基準 授業への取り組みおよび自己の体力に合った運動への理解と遂行の程度によって総合的に評価します。

3 日程・会場等

① 日程

【雨天決行】

講座名	日 程	授業時間
保健体育講義 I	9月7日・9月8日	10:00～16:30
体育実技 I・II	9月4日～9月6日	9:00～17:30

※上記すべての日程に出席すること。

② 実施会場

保健体育講義 I：日本大学文理学部 3 号館

体育実技：日本大学文理学部総合体育館及び百周年記念館

住 所 東京都世田谷区桜上水 3-25-40

交通案内 京王線下高井戸駅及び桜上水駅下車徒歩約 10 分

…次頁案内図参照

③ 持参物

- ・運動のできる服装（トレーニングウェア等） ←
- ・室内用運動靴 ← 「保健体育講義 I」のみの受講生は不要
- ・健康保険証 ←
- ・学生証
- ・筆記用具
- ・スクーリングの手引
- ・領収書（初回出席時は必携のこと）

④ 体育実技の集合場所・集合時間

日本大学文理学部総合体育館入口 8:45 から受付開始

※毎回、総合体育館入口に集合し、遅くとも授業開始 5 分前までに出席確認を受け、更衣後、実施会場に移動してください。

⑤ 受講について

体育実技は必修科目となっていますが、疾病及び身体等の障害により実技を行うことが困難であると思われる方は、受講申込前に教務課までお問い合わせください。

⑥ 注意事項

- (1) 保健体育講義、体育実技の単位は9月卒業の単位には算入できません。
- (2) 体育実技はジーンズや普段着での受講はできません。
- (3) 文理学部周辺は住宅地で付近に食事をする場所が少なく、また、当日、文理学部内の食堂は利用できない可能性があるため、食事は事前に済ませるか、持参することをお勧めいたします。
- (4) 体育実技の更衣室は文理学部総合体育館及び百周年記念館内にあります。ただし、更衣室内のロッカーは使用できないため、更衣後、荷物は受講会場へ持参してください。
- (5) 貴重品は各自で管理してください。
- (6) 体育実技は授業開始 15 分前から出席をとります。受付及び更衣の時間を考慮の上、必ず遅れることのないようにしてください。

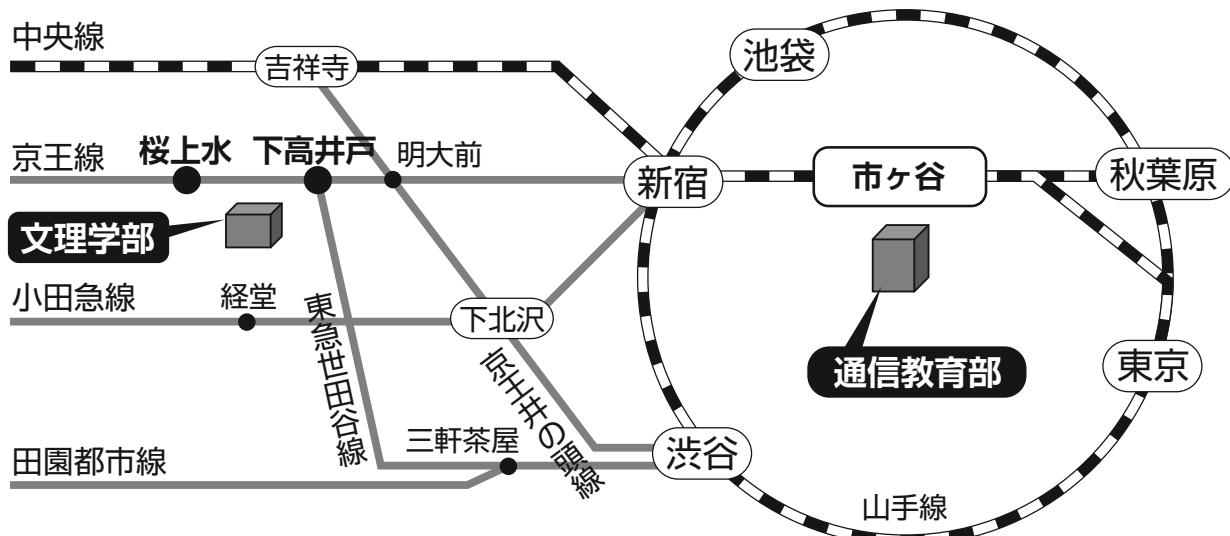
文理学部までの交通

○ JR 市ヶ谷駅から

JR 総武線・中央線各駅停車（新宿・中野方面）で新宿駅下車。京王線各駅停車、快速及び急行のいずれかに乗り換え、下高井戸駅及び桜上水駅下車徒歩約 10 分。通信教育部から約 45 分。

○ 都営地下鉄新宿線市ヶ谷駅から

新宿・笹塚方面、笹塚駅下車。京王線各駅停車、快速及び急行のいずれかに乗り換え、下高井戸駅及び桜上水駅下車徒歩約 10 分。通信教育部から約 40 分。



4 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は、教務課から平成29年度授業料及びスクーリング受講料を納入した学生に対し、ポータルサイトまたは郵送にて通知します。

電話・郵便による問合せには一切応じることができません。また、「スクーリング結果通知書」の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延・未着や、その他の事故に対していかなる配慮も行えませんので、「スクーリング結果通知書」を紛失した場合などはポータルサイトの単位修得状況確認で確認、又は「単位照合票」等の交付を受け、確認してください。

結果発表時期	平成29年10月上旬
--------	------------

※9月卒業の単位には算入できません。

① 結果の表示

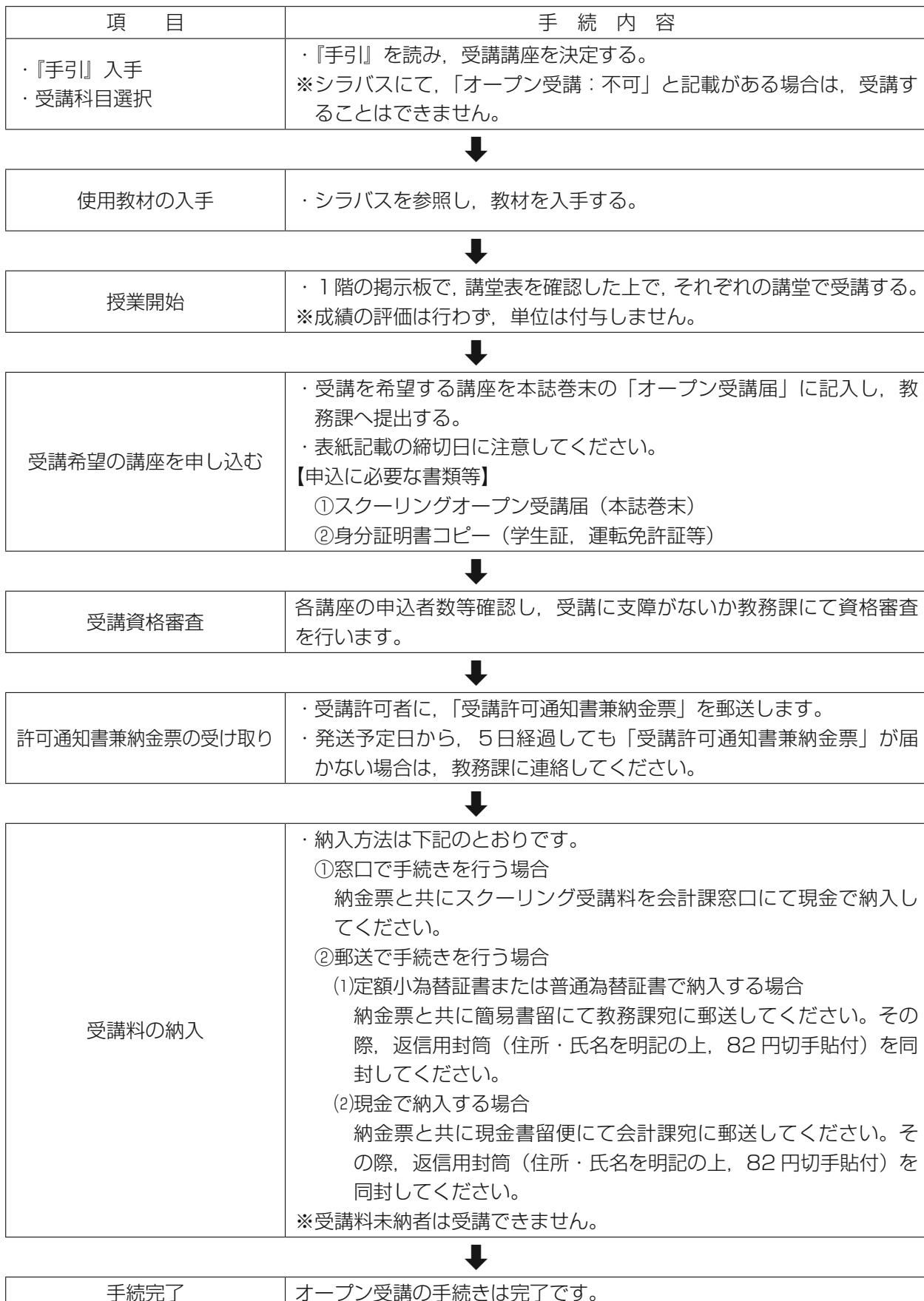
結果は、「合格」、「不合格」、「未受講」で発表します。

受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし、単位は修得できません。

② 単位数

結果が「合格」の場合、シラバスに記載されている開講単位数を修得したことになります、また同時にスクーリング単位も修得したことになります。

通信教育部の在学生で既に修得した科目の受講を希望する場合もしくは社会人等（卒業生を含む）で受講を希望する場合、オープン受講の申込をすることで受講することができます。下記、流れに従い、手続きを行ってください。



肺結核等の感染症予防を目的として、「胸部X線間接撮影」を実施しています。大学では集団感染を防止する義務があるので、必ず受診してください。また、毎年受診が必要です。

1 対象者

対象者	①昼間・土曜スクーリング受講者 ②夜間スクーリング受講者
受診対象から除く者	<p>上記①②対象者であっても、次に該当する場合は受診対象から除く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に教育実習又は介護等体験を受講する場合。 ・検査実施日の6か月以内に医療機関において検査を受けている場合。該当する場合は、検査の結果を証明できる診断書（コピー可）を提出する。 ・妊娠等の理由により検査を受けることができない場合。該当する場合は任意の理由書を提出する。 ・就職活動用の健康診断を受診予定の場合。

2 受診日及び時間

平成29年5月23日(火)～5月26日(金)4日間(予定)

10時00分～18時30分（13時00分～14時00分を除く）

※男女別に受診時間を分けて実施いたします。

3 場所及び受診方法

1階学生ホールに受付を設置します。事前申込は不要。各自都合の良い日・時間に受診してください。

4 受診料

無料（大学負担）

5 痘痘結果

全員に通知します。なお、受診・健康診断証明書は一切発行しません。

6 その他注意事項

女性は下着の金属類が写ってしまうため、白無地のTシャツ等を用意してください（検診車内で着替え可）。その他、相談は学生課（03-5275-8921）までお問い合わせください。

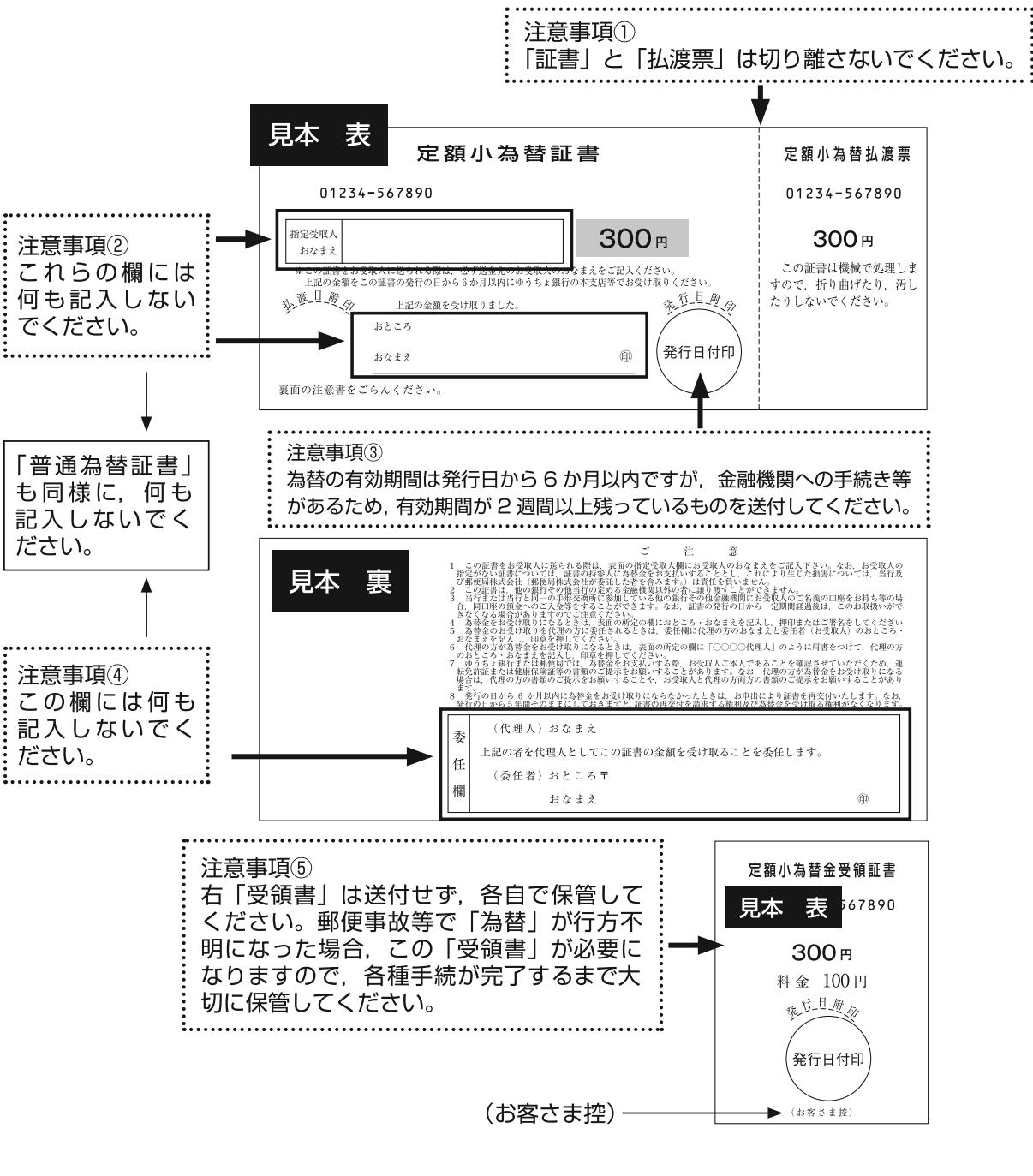
MEMO

- ・履修届
- ・昼間・土曜スクーリング（前期）受講届
- ・昼間・土曜スクーリング（前期）保健体育講義Ⅰ・体育実技受講届
- ・オープン受講届（在学生用）
- ・オープン受講届（社会人等（卒業生用））
- ・スクーリング受講講座変更届
- ・受講申込辞退願
- ・保健体育講義Ⅰ・体育実技受講申込辞退願
- ・教材配本申請書
- ・教材購入用紙（丸沼書店用）
- ・教材購入願（通信教育教材用）
- ・通学定期乗車券発行控

「為替」送付時の注意事項

「証明書交付願」「教材購入願」等の各種手続において、手数料等を郵送にて「定額小為替証書」又は「普通為替証書」で納入する場合には、以下のことに注意してください。

なお、「定額小為替証書」又は「普通為替証書」をゆうちょ銀行又は郵便局窓口で購入する際は、手数料がかかります（詳細は郵便局窓口でご確認ください）。



履修登録年度 平成 年度

履修届

提出年月日 平成 年 月 日

学生番号	氏名	フリガナ
------	----	------

学生番号	氏名	フリガナ	電話番号	(必ず連絡のとれる電話番号を記入すること)
------	----	------	------	-----------------------

科目コード	科目名	単位	科目コード	科目名	単位
1		14	15		
2		16	17		
3		18	19		
4		20	21		
5		22	23		
6		24	25		
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					

記入例 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

合計 単位 ←

年間 48 単位まで登録できます。
教職生および 2 学年以上の教職コース登録者は
年間 60 単位まで登録できます。

□ 内をすべて記入してください。

提出年月日 平成 年 月 日

昼間・土曜スクーリング（前期）受講届

学生番号							フリガナ						
							氏名						

種別コード A 1

	曜日	時限	講座コード			講 座 名			充当科目コード					
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														

合計 講座（14講座まで登録できます。）

＜記入例＞

	曜日	時限	講座コード			講 座 名			充当科目コード						
1	火	1	A	B	1	1	政治学			B	1	1	7	0	0

※ 書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。

※ 本票で他のスクーリングの受講申込はできません。

事務局使用欄

提出締切日：【窓口】4月20日（木）事務取扱時間内厳守
【郵送】4月20日（木）必着

保健体育講義 I 体育実技

□ 内をすべて記入してください。

平成 年 月 日

平成 29 年度昼間・土曜スクーリング（前期） (保健体育講義 I ・ 体育実技) 受講届

受講希望欄 (○をつけてください)	講座名 (講座コード)	充当科目名 (充当科目コード)
	保健体育講義 I (AT11)	保健体育講義 I (H10100)
	体育実技 (AT12)	体育実技 I (J101S0) 体育実技 II (J102S0)



体育実技を受講希望する場合は、
充当科目をどちらか選択し、○を
つけてください。

- 提出締切日 〔7月 12 日（水）必着〕
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、昼間・土曜スクーリング（保健体育講義 I ・ 体育実技）の受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。**
- 平成 29 年9月卒業の単位には算入できません。
- 本票は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

学 生 番 号	□ □ □ □ □ □ □
フ リ ガ ナ	
氏 名	
自 宅 電 話 番 号	
緊 急 時 電 話 番 号	

平成 年 月 日

スクーリングオープン受講届

下記のとおり、スクーリングのオープン受講を希望します。

学部・学科	学部	学科 専攻 ()
学 年	年	学生番号
フ リ ガ ナ		
氏 名		

【希望スクーリング】

スクーリング 種 別	開催地	
講 座 名	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
受 講 希 望 理 由		

学生証コピー貼付欄

【提出書類】

- スクーリングオープン受講届
- 学生証コピー

事務局使用欄

スクーリングオープン受講届

下記のとおり、スクーリングのオープン受講を希望します。

卒業時 学部・学科	学部	学科 専攻 ()	学 外
住所等	〒 -	Tel : - -	
フリガナ			
氏 名			

【希望スクーリング】

講 座 名	スクーリング 種 別		開催地
	講座コード	講座名	
受 講 希 望 由 理			

身分証明書コピー貼付欄

【提出書類】

- スクーリングオープン受講届
- 身分証明書コピー

事務局使用欄

※ 身分証明書として「マイナンバーカード」は、原則として使用できません。不明な点は、確認してください。

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成29年度スクーリング受講講座変更届

標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたしました、本書面をもってお願ひいたします。

記

(当初の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード

(変更後の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード

上記のとおり相違ありません。

学 生 番 号							
フ リ ガ ナ							
氏 名							
自 宅 電 話 番 号							
緊 急 時 電 話 番 号							

教務課受付印

提出締切日： [窓口] 4月20日（木）事務取扱時間内厳守
[郵送] 4月20日（木）必着

併せて提出するもの
全講座辞退→振込用紙
一部講座辞退→振込用紙
返信用封筒（長形3号、362円切手貼付）

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成29年度昼間・土曜スクーリング（前期）受講申込辞退願

1 学生番号 _____

2 氏名（フリガナ） _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____

- 4 辞退内容 全講座辞退
 （□にチェック） ⇒ 振込用紙記載講座すべてを辞退する場合
 一部講座辞退
 ⇒ 振込用紙記載講座の一部を辞退する場合、**「辞退講座のみ」**を
 以下へ記入

講座コード	講座名	講座コード	講座名

5 辞退理由（詳述）

※ 提出期限【教務課必着】5/19（金）※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ この「辞退願」は「平成29年度昼間・土曜スクーリング（前期）」専用です。他のスクーリングの辞退手続には使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合、362円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料を貼付した長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自分の郵便番号・住所・氏名を明記）を同封すること。

※ 辞退手続は1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの
全講座辞退→振込用紙
一部講座辞退→振込用紙
返信用封筒（長形3号, 362円切手貼付）

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成29年度昼間・土曜スクーリング（前期） (保健体育講義I・体育実技) 受講申込辞退願

1 学生番号 _____

2 氏名(フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____ - _____

- 4 辞退内容 全講座辞退
 (□にチェック) ⇒ 振込用紙記載講座すべてを辞退する場合
 一部講座辞退
 ⇒ 振込用紙記載講座の一部を辞退する場合, 辞退講座のみ を
 以下へ記入

講座コード	講座名

5 辞退理由(詳述)

- ※ 提出期限【教務課必着】8/3(木)
 ※ 提出期限以降の辞退手続きはできません。
 ※ 振込用紙と一緒に送付すること。
 ※ この「辞退願」は「平成29年度昼間・土曜スクーリング（前期）保健体育講義I・体育実技」専用です。他のスクーリングの辞退手続には使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。
 ※ 一部講座辞退の場合、362円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料を貼付した長形3号(A4判三つ折の用紙が入る大きさ)の返信用封筒(自分の郵便番号・住所・氏名を明記)を同封すること。
 ※ 辞退手続は1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

配本申請（無料）

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先: 研究事務課)

教 材 配 本 申 請 書

学 生 番 号						氏 名
連絡先電話番号						- - -

(太線枠内にボールペンで記入してください)

No	教材コード (科目コードではありません)			教 材 名	配 本 単位数
1	0	0			単位
2	0	0			単位
3	0	0			単位
4	0	0			単位
5	0	0			単位
6	0	0			単位
7	0	0			単位
8	0	0			単位
9	0	0			単位
10	0	0			単位
合 計					単位

ポータルサイト「教材発送照会」の「配本申請」から申請できます。

ポータルサイトから申請できない方は、この用紙を使用してください。

※年度内2回まで、計32単位分まで教材の申請ができます。

※科目履修生は申請できません。「教材購入願」にて購入してください。

※消えないボールペンを使用し、記入してください。

※書ききれない場合には、用紙をコピーして2枚用いてください。

※「教材コード」は『教材要綱』『各種スクーリング手引』で確認し、記入してください。
い。「教材コード」と「科目コード」は異なりますので注意してください。

※2冊組教材はセットコードを記入してください。

※スクーリング等で指定する丸沼表記の教材は、対象外です。

事務局使用欄

—「教材配本申請書」,「教材購入願」—

研究事務課

通信教育部教材を入手する場合は、以下のとおり、手続きしてください。

1 教材の入手方法について

通信教育部で扱う教材は、「通信授業」(在宅学修)を目的とした教材です。

一部のスクーリング等で、通信教育部教材（**通材**と表記）を使う場合も、対象となります。

通信教育部で扱う教材の入手方法は、2通りあります。

なお、教材コード・販売価格等は『ポータルサイト』・『スクーリングの手引』に掲載されます。

① 「教材配本申請書」による配本（無料）

正科生のみ対象となります。年度内2回まで合計32単位分まで申請できます。

所定の「教材配本申請書」で申請してください。

一度提出した書類の追加・変更はできません。

ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「配本申請」からも申請できます。

② 「教材購入願」による購入（有料）

教材を有料で購入することができます。

科目履修生の教材入手や、「教材配本申請書」の回数・単位数の上限を超えた場合、
その他の理由で教材を入手したい場合には、有料で購入することができます。

教材を購入する場合、「教材購入願」に必要事項を記入し、次の手続により購入してください。

ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「教材購入」からも用紙を作成・出力できます。

(1) 窓口の場合

会計課窓口にある「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口で手続をしてください。

(2) 郵送の場合

『スクーリングの手引』巻末の「教材購入願」に必要事項を記入し、費用と併せて会計課に郵送してください（「教材購入願」裏面の注意事項を確認してください）。

ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「登録（購入）」からも用紙を作成・出力できます。

2 注意事項

- ① 教材は「通信教育部教材」に限り購入できます。スクーリング等で指定する市販教材（丸沼表記の教材）は、対象外です。
- ② 手続後の変更・取消し、納入金額の返還はできません。
- ③ 印刷教材は、大学登録住所あてに送付します。教材が手元に届くまで約1週間を要しますので、余裕をもって手続をしてください。
- ④ 窓口での教材配本はできません。

丸沼

教材購入用紙 (丸沼書店用)

市販教材 (市販本) 購入用

※**丸沼**印の教材を郵送にて購入の際は、この用紙で申し込んでください。
詳細は、「使用教材の購入」のページを参照してください。

(送付先) 丸沼書店

平成29年度 昼間・土曜スクーリング			
申込日	平成 29 年 月 日		
科目名	書名	教材費(税込)	送料
小計		円	円
合計		円	
購入方法 (いずれかに○)	①代金引換 ②定額小為替・普通為替 ③現金書留		

※下記の住所、氏名の欄は返信用に使用しますのではっきり書いてください。

送 り 先	住 所	〒 -
	氏 名	
	電話番号	()

※この用紙で『通信教育教材』は購入できません。
※不足する場合は複写の上、使用してください

購入方法は裏面を参照してください。

【購入方法】

(1) ~ (3) の方法で通信販売も可能です。

(1) 代金引換払 (手数料 250 円が別途かかります)

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、下記宛てに郵送又はFAXをしてください。

(2) 為替（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を同封して下記へ郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額を同封して下記へ郵送してください。

不明な場合は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

※送料について

送料は書籍の総重量で変わります。それぞれの書籍の組み合わせにより送料が異なりますので、郵便為替・現金書留の場合、ご注文各書籍の送料の合計をお送りください。余った送料については、返金いたします。また、代金引換払の場合、書籍代 + 送料（実費）+ 手数料（250 円）を受取時にお支払いください。

(書店名) (株) 丸沼書店
(所在地) 〒101-0061
東京都千代田区三崎町 2-8-12
(電話) 03-3261-4540
(FAX) 03-3261-0118
(営業時間) 9:00 ~ 20:00
(日曜日: 10:00 ~ 19:00)

通材

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先:会計課)

教材購入願 (通信教育教材用)

学 生 番 号						氏 名	フリガナ
連絡先電話番号						- - -	

教材コード	科 目 名	金 額	スクーリング種別
			講 座 名
1 0 0 0			
2 0 0 0			
3 0 0 0			
4 0 0 0			
5 0 0 0			
6 0 0 0			
合計科目数		合計金額	
_____		_____	円

(太線枠内にボールペンで記入してください)

※ボールペンで記入してください。

※「教材コード・科目名・金額」は『ポータルサイト』『スクーリング手引』で確認し、必ず記入してください。

「教材コード(6桁)」と「科目コード」は異なりますので、注意してください。

※「スクーリング種別・講座名」にはスクーリング・メディア授業において『通信教育教材』を使用する場合にのみ記入してください。

※『スクーリングの手引』における各講座の教科書(参考書)欄で指定されているもの、例えば、「**通材**『政治学 B11700』通信教育教材(教材コード 000279)」と記載されている教材を購入する場合は「政治学」を科目名として記入してください(受講科目ではなく**指定された教材の科目名**を記入)。

会計課領収印

「通信教育教材」の購入について

『通信教育教材』は「配本申請」または「教材購入」で入手できます。

「教材購入」をする場合、「教材購入願」を使用し、以下の手続きにしたがって教材を入手してください。また「教材購入願」で購入できる教材は、『通信教育教材』のみです。

スクーリング等で教科書・参考書に指定された『市販教材（市販本）』は丸沼書店又はお近くの書店で購入してください。

1 購入手続

① 窓口手続

「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口へ提出してください（なるべく釣り銭のないようにしてください）。

② 郵送手続

現金書留又は為替が利用できます。

(1) 現金書留での購入

「教材購入願」と合計金額分の「現金」を現金書留封筒にて会計課あてに送付してください。その際、必ず釣り銭のないようにしてください。

注意：普通郵便の中に現金を封入することは、郵便法によって禁止されています。

また、郵便事故による補償もありませんので、必ず現金書留を利用してください。

(2) 為替での購入

「教材購入願」と合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を会計課あてに送付してください。

注意：郵便事故防止のため、なるべく簡易書留や特定記録郵便を利用してください。為替には何も記入せず送付してください。

2 注意事項

① 手続後の変更・取り消しはできません。また、返金もいたしませんので注意してください。

② 教材は大学に登録されている住所へ発送し、窓口ではお渡しません。

教材が手元に届くまでに約1週間要しますので、特にスクーリング、メディア授業で使用する場合は「受講資格審査結果通知書」を確認した後、速やかに購入手続きをしてください。

通学定期乗車券発行控

平成 年 月 日

学 科		学 年	学 生 番 号
大 学 院			

フリガナ		性 別	年 齡
氏 名		男・女	才

現 住 所	
電 話	()

通学区間	会社線名:		
	駅～	駅	経由
会社線名:	駅～	駅	経由

※記入後、学生課に提出すること。

日本大学通信教育部長 殿

平成29年度スクーリング受講に係る通学定期券の使用について

私は、平成29年度 以下のスクーリングを受講する予定です。

つきましては、当該スクーリングを受講しなくなつた場合には、学生課に申し出た上、通学定期券の使用を中止いたします。

なお、万一、不正使用した場合は、学則に基づく処分を受けることを誓約いたします。

また、本件について、大学から呼び出しされた場合は、その指示に従うことを併せて誓約いたします。

受講スクーリング:

学生番号 _____

氏 名 _____

以 上

※現住所・通学区間等に変更が生じた場合は学生課に届けること。

※現住所・通学区間等に偽りがあった場合には、学則により懲戒を行う。

XIV 付 錄

校舎案内

市ヶ谷キャンパス

【所在地】〒102-8005 東京都千代田区九段南4-8-28



JR 中央・総武線（各駅停車）市ヶ谷駅下車 徒歩 3 分

都営地下鉄新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A2 出口から 徒歩 2 分

丸沼書店案内図



JR 中央・総武線（各駅停車）、都営地下鉄三田線 水道橋駅東口から 徒歩 2 分

都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A4 出口から 徒歩 5 分

MEMO

スクーリング手続 チェックシート

このシートは、受講届の記入からスクーリングを受講するまでの確認用です。

チ ェ ッ ク 項 目	参 照
◆受講届の記入	
<input type="checkbox"/> 希望する科目の履修登録は済んでいますか	VII-1 履修登録をする表紙 (③履修登録締切日)
<input type="checkbox"/> 申し込む「受講届」用紙の選択に間違いはありませんか	卷末「受講届」
<input type="checkbox"/> [] 内の必要事項の記入漏れはありませんか (講座コード・講座名・充当科目コード・学生番号・氏名・電話番号)	VII-2 講座を申し込む ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 講座コード・講座名・充当科目コードは一致していますか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 希望科目的受講条件は満たしていますか (配当学年・適用カリキュラム・その他受講条件)	IV-1 「開講講座表」の見方 ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 申し込む開講曜日、開講时限は間違って記入していませんか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 修得済科目を申し込んでいませんか	・単位照合表 ・単位修得状況確認 (ポータルサイト)
◆受講届の提出	
<input type="checkbox"/> 提出締切日に間に合いますか (郵送の場合は締切日必着)	表紙 (③受講届申込締切日) VII-2 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉 申込内容の控えはありますか (受講届のコピー)	
<input type="checkbox"/> 申込完了のメールは届いていますか(ポータルサイトからの申込の場合のみ)	
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉 特定記録郵便で発送しましたか	VII-2 講座を申し込む
◆受講料の納入	
<input type="checkbox"/> ポータルサイト「スクーリング・メディア情報一覧」又は、受講資格審査結果通知の内容と振込用紙の内容に間違いはありませんか	VII-1 受講許可を確認する
<input type="checkbox"/> 受講料の納入期限は厳守していますか	VII 受講料等の納入



各種連絡先

- | | |
|---------------------------------------|---|
| ○スクーリングの手続等に関する事項
教務課 03-5275-8911 | ○各種学修相談に関する事項
学修支援センター 03-5275-8857 |
| ○受講料の振込に関する事項
会計課 03-5275-8925 | ○通学定期・学割・滞在先届に関する事項
学生課 03-5275-8921 |
| ○教材（教科書）に関する事項
研究事務課 03-5275-8890 | |

DISTANCE LEARNING DIVISION, NIHON UNIVERSITY

編集兼発行人 関 正晴 〒102-8005 東京都千代田区九段南4-8-28 日本大学通信教育部